

幼児教育学科教育課程

(令和元年度入学生に適用)

区分	授業科目	講義 演習 実習 の別	単位数		担当教員名 ()内は 非常勤講師	毎週授業時間数				資格取得に 必要な単位数			備考			
			必修	選択 (注1)		1 学 年		2 学 年		幼 免	保 育 士	社 会 福 祉 主 事 任 用				
						前 期 必 選	後 期 必 選	前 期 必 選	後 期 必 選							
教 養 科 目	日 本 国 憲 法	講	2		(彼 谷)	2					2	2				
	国 際 情 勢	講		2	(才 田)						2	2		A		
	自 然 と 人 間	講		2	(岩 坪)						2	2		B		
	国 語 表 現	講	2		(奥 野)		2				2	2				
	コミュニケーションと情報	講	2		吉 牟 田			2			2	2				
	現代社会と人間	講		1	森井泉・小平	1										
	英 語 I	演	1		望 月		2				1	1				
	英 語 II	演	1		望 月 (シユリー・スキャンラン)			2			1	1				
	キャンパス&ホームステイプログラム	演		2	望 月											
	体 育 講 義	講	1		大 森	1						1				
涯 ス ポ ー ツ	実技	1		大森・立島	2					2	1					
基 礎 演 習	演習	1		高木(三) (専任教員全員)	2											
計			11	7		7	1	4	0	4	0	0	4	12	12	
専 門 科 目	保 育 の 本 質 ・ 目 的 に 関 す る 科 目	保 育 原 理	講	2		石 動	2					2	2	2		
		教 育 原 理	講	2		高木(三)	2					2	2	2		
		子 ども 家 庭 福 祉	講	2		明 柴	2					2	2	2		
		社 会 福 祉	講	2		(村 上)	2					2	2	2		
		保 育 者 論	講	2		明柴・高木(三) 嶋野				2		2	2			
		子 ども 家 庭 支 援 論	講		2	石 動					2		2			
		社 会 的 養 護 I	講	2		明 柴		2				2	2			
	保 育 の 対 象 の 理 解 に 関 す る 科 目	保 育 の 心 理 学	講	2		嶋 野	2					2	2			
		子 ども 家 庭 支 援 の 心 理 学	講	2		嶋 野		2					2			
		教 育 心 理 学	講		2	樋 口				2		2	2			
		子 ども の 保 健	講	2		松 居	2					2	2			
		子 ども の 健 康 と 安 全	演		1	松 居			2				1			
		幼 児 理 解	講		2	嶋 野				2		2	2			
		教 育 相 談	演		1	嶋 野					2	1	1			
		子 ども の 食 と 栄 養 I	演	1		深 井	2					1	1			
		子 ども の 食 と 栄 養 II	演	1		(大 掛)		2				1	1			
		子 ども の 理 解 と 援 助	演		1	嶋 野				2		1	1			
	保 育 の 内 容 ・ 方 法 に 関 す る 科 目	教 育 課 程 論	講	2		石 動		2				2	2			
		保 育 内 容 総 論	演		1	梅 本			2			1	1			
		子 ども と 健 康	演	1		大 森			2			1	1			
		保 育 内 容 (健 康) 指 導 法	演		1	大 森					2	1	1			
		子 ども と 人 間 関 係	演	1		石 動			2			1	1			
		子 ども と 環 境	演	1		(長 尾)			2			1	1			
子 ども と 言 葉		演	1		梅 本		2				1	1				
保 育 内 容 (言 葉) 指 導 法		演		1	梅 本				2		1	1				
子 ども と 音 楽 表 現		演	1		難 波		2				1	1				
保 育 内 容 (音 楽 表 現) 指 導 法		演		1	難波・(大村)				2		1	1				
子 ども と 造 形 表 現		演	1		中 山		2				1	1				
保 育 内 容 (造 形 表 現) 指 導 法		演		1	中 山				2		1	1				
子 ども と 遊 び		演	1		石動・梅本・中山 難波・大森					2	1	1				
子 育 て 支 援		演		1	明 柴						1	1				
乳 児 保 育 I		講		2	石動・松居	2						2				
乳 児 保 育 II		演		1	石 動			2				1				
特 別 支 援 論 I	演	1		(河 崎)		2					1					
特 別 支 援 論 II	演	1		明柴・(河崎)				2			1					
社 会 的 養 護 II	演		1	明 柴					2		1					
教 育 方 法 論	講		1	高木(三)						1	1	1				

区分	授業科目	講義 演習 実習 の別	単位数		担当教員名 ()内は 非常勤講師	毎週授業時間数								資格取得に 必要な単位数			備考			
			必修	選択 (注1)		1 学 年				2 学 年				幼 免	保 育 士	主 事 任 用 社 会 福 祉				
						前 期		後 期		前 期		後 期								
						必 選	選	必 選	選	必 選	選	必 選	選							
専 門 科 目	保育 の 表 現 技 術	音楽表現技術Ⅰ	演	1	難波(武藤・大村・大林・玉井)	2								1	1					
		音楽表現技術Ⅱ	演	1	難波(武藤・大村・大林・玉井)			2						1	1					
		音楽表現特講	演		1	難波(堀江・大村・大林)					2									
		造形表現技術Ⅰ	演	1		中山	2							1	1					
		造形表現技術Ⅱ	演	1		中山			2					1	1					
		子どもの運動	演	1		大森			2					1	1					
	保 育 実 習	保育 実 習	教育実習Ⅰ	実	2	難波・高木・大森 嶋野・石動	5※							2			※	学内幼稚園実習		
			教育実習Ⅱ	実	2	大森・嶋野					※			2			※	学外幼稚園実習		
			教育実習指導	実	1	専任教員全員					1	1	1					「教育実習Ⅰ・Ⅱ」終了後に認定		
			保育実習Ⅰ-1	実	2	梅本・中山				※					2			※	保育所実習	
			保育実習Ⅰ-2	実	2	松居・明柴				※					2			※	施設実習	
			保育実習指導Ⅰ	演	2	専任教員全員		2	2						2			「保育実習Ⅰ」終了後に認定		
			保育実習Ⅱ	実	2	中山・梅本					※				2			C	※	保育所実習 「保育実習Ⅱ」終了後に認定
			保育実習指導Ⅱ	演	1	中山・梅本					2※				1					
			保育実習Ⅲ	実	2	松居・明柴					※				2			C'	※	施設実習 「保育実習Ⅲ」終了後に認定
		保育実習指導Ⅲ	演	1	松居・明柴					2※				1						
		総 合 演 習	保育・教職実践演習	演	2	梅本・高木 明柴・松居								2	2	2				
			総合演習	演	2	専任教員全員					2	2	2	2	2	2			通年	
		計			37	42		18	9	22	8	6	23	5	15	54	73	8		
総計			48	49		25	10	26	8	10	23	5	19	66	85	8				

〔注〕1. 上記教養科目のA, B, 2科目の中から1科目以上(計1科目2単位以上)を選択するものとする。

〔注〕2. 保育士資格取得希望者はC・C'いずれか1科目を履修すること。

〔注〕3. 「保育士資格取得に必要な単位数」欄に単位数が記入されている授業科目については、学則第12条の6(外国の短期大学における授業科目の履修等)の規定は適用しない。

なお、学則第12条の3(他の短期大学又は大学における授業科目の履修等)、第12条の4(短期大学又は大学以外の教育施設等における授業科目の履修等)、第12条の5(入学前の既修得単位の認定)及び第21条(転学)の規定については、「指定保育士養成施設指定基準」(平成15年12月9日雇児発第1209001号厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知)に定める範囲内において通用することがある。

授業科目名	保育原理			科目コード	C111-10				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 教育・保育			担当教員名	石動 瑞代				
実務経験									
開講時期	1年前期			授業の方法	講義				
必修・選択	必修			単位数	2単位				
前提科目(知識)				後継科目	保育者論 子どもと社会				
関連科目	教育原理 教育課程論 保育内容総論								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格 社会福祉主事任用資格								
授業の概要	保育の特性や保育内容・方法に関する知識を学びながら、保育の基本的考え方を理解する。また、保育思想や歴史、諸外国での保育について学ぶとともに、日本の保育の現状を見つめ、現代の課題とその解決について考える。課題シートやグループ討議等を通して学び、自らの子ども観や保育観の形成につなげていくことをめざす。								
学習目標	保育の意義及び保育の基本理念について理解する。 保育の内容と方法の基本構造を学び、実際の保育場面を通して理解する。 保育の思想や歴史的変遷を学び、現代の保育について考察する。								
キーワード	子ども観と保育観、養護と教育、子どもの最善の利益								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『実践を創造する保育原理 第二版』豊田和子編（みらい） 参考図書：『保育所保育指針解説書』厚生労働省編（フレーベル館）、『幼稚園教育要領解説』文部科学省編（フレーベル								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 保育の基本的な事項や制度に関する用語等を理解し、筆記試験で正しく回答することができる。保育の意義を説明することができる。								
LO-2	【技能】 保育事例を、保育の基本的視点に沿って読み取ることができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 保育の基本理念を通して、自らの子ども観・保育観について、考えを深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 保育の現状を的確に把握し、社会のニーズをふまえた保育のあり方・課題について、自ら考えようとする。								
LO-5	【人間性・社会性】 他者の意見（子ども観・保育観等）を受容し、自らの意見に反映しようとする。自らの保育観や子ども観を、他者に表明することができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70	10	10			10			100
LO-1	50	10							60
LO-2	10								10
LO-3	10								10
LO-4			10			5			15
LO-5						5			5
備考	その他 A は、受講態度とする。 提出課題に対しては口頭及び紙面にてコメントを行う。小テストは返却、定期試験は模範解答を示す。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション(授業のねらい、方法、評価等の説明) 保育とは何か ~ 保育、教育という語が意味する内容を知り、保育の要素をさぐる。	
	【予習】シラバスに目を通し、授業のねらいや内容を確認する。	10分
	【復習】講義内容をノートにまとめる。 テキスト第1章を読み、内容を理解する。	60分
第2回	保育とは何か ~ 養護と教育の具体的な意味を知る。 保育が養護と教育が一体的に展開されるものであることを理解する。	
	【予習】P11の内容をノートに書いておく。 テキスト第2章『現代社会と子どもの育ち』のp30まで読んでおく。	100分
	【復習】講義内容をノートにまとめる。 テキスト第8章の関連部分を読み、内容を理解する。	80分
第3回	子ども観と保育観 子ども観の変遷を知る。自らの子ども観をふりかえる。	
	【予習】前回の講義中に提示されたテーマについて、自分の考えをまとめて、文章で表す。	80分
	【復習】講義内容をノートにまとめる。 他者の意見を聞いて感じたことをまとめて、文章化する。	60分
第4回	子ども観と保育観 子ども観と発達観、保育観の関連について理解する。	
	【予習】 テキスト第7章を読み、内容をまとめる。	40分
	【復習】参考文献、資料等を読んで、子ども観・発達観・保育観についてまとめる。	120分
第5回	集団施設保育の意義と役割 保育所・幼稚園・認定こども園等の機能を理解し、その社会的役割を考える。	
	【予習】テキスト 第3章の制度と現状を読み、分かりにくい語句などを調べておく。	60分
	【復習】集団保育施設の制度等を整理してまとめる。 教科書第2章現代社会と子どもの育ちのp30~ を読んで、まとめる。	120分
第6回	保育のめざす姿とは 保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領のねらいを理解する。	
	【予習】保育所保育指針第1章総則、幼稚園教育要領 第1章幼稚園教育の基本を読んでおく。	30分
	【復習】指針や要領等に書かれている内容と保育のめざす姿との関連を再確認しておく。 教科書第8章『保育の基本』を読み、内容をまとめておく	30分
第7回	保育の内容と方法 保育所保育指針・幼稚園教育要領の構造を理解する。保育の内容と方法について知る。	
	【予習】指針や要領、教育・保育要領を読み、章立てを理解する。 指針第3章、要領第2章、教育・保育要領第2章を読む。	40分
	【復習】講義内容をノートにまとめるとともに、指針・要領等の重要語句を覚える。 小テストにむけて、準備のための学習をする。	240分
第8回	保育の内容と方法 保育の内容と方法の関連を、具体的な事例を通して学ぶ。 小テスト実施	
	【予習】前回のノートや指針・要領の重要語句を再確認しておく。	60分
	【復習】小テストの結果を確認し、理解が不十分な点について、テキスト・ノート等で確認する。 教科書第10章『保育の方法と進め方』第11章『保育の計画と保育の質の向上』を読む。	50分
第9回	保育の歴史と思想 西欧の保育の歴史を学ぶ コメニウス-フレーベルの思想から	
	【予習】テキスト第5章『世界の保育の歴史に学ぼう』を読む。	40分
	【復習】コメニウス-フレーベルまでの主要な思想家の思想と著書等を整理してまとめる。	150分
第10回	保育の歴史と思想 西欧の保育の歴史を学ぶ モンテッソーリとシュタイナーの思想から	
	【予習】配布資料を読んでおく。	30分
	【復習】モンテッソーリ保育について、理念や保育方法の特徴をまとめる。 シュタイナー保育について、理念や保育方法の特徴をまとめる。	120分

第11回	保育の歴史と思想 日本における保育の歴史と思想	
	【予習】配布資料を十分に読んでおく。 テキスト第6章を読む。	40分
	【復習】講義内容をまとめる。主要な人物とその背景を整理する。	120分
第12回	保育の歴史と思想 倉橋惣三の保育論を中心に、保育者像を考える	
	【予習】配布資料を十分に読んでおく。 テキスト第4章『保育者に求められるもの - 資質と専門性 -』を読む。	40分
	【復習】講義中に提示されたテーマについて、自らの意見をまとめて文章化する。 小テストにむけて、これまでの学習内容を整理してまとめる。	240分
第13回	諸外国における保育の取り組み 諸外国の保育制度について学び、日本における保育制度の課題を探る。 小テスト実施	
	【予習】テキスト第13章『海外の保育に目を向けてみよう』を読み、疑問や質問を文章化しておく。 インターネットで、諸外国の保育制度について調べる。	60分
	【復習】課題プリントを仕上げる（海外の取り組みから、日本の保育制度の課題を考え、レポート用紙に書く） 小テストの出題内容について、再確認しておく。	180分
第14回	家庭における保育 家庭における保育の実情を知る。家庭生活と子どもの発達との関連について考える。	
	【予習】テキスト12章『大切な保護者支援と地域連携』を読む。	40分
	【復習】テキスト、資料などの内容から保育所等における子育て支援の在り方について、レポートを作成する。	180分
第15回	現在の保育における課題 小学校との連携、保育の質の向上	
	【予習】テキスト第14章『保育をめぐるこれからの課題について』を読む。	40分
	【復習】これまでの講義内容のまとめ 定期試験のための準備学習	240分

授業科目名	保育者論			科目コード	C111-11				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 教育・保育		担当教員名	明柴 聡史 高木 三郎 嶋野 珠生					
実務経験									
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	保育原理 教育原理 子ども家庭福祉 社会的養護		後継科目						
関連科目	(専門科目全般)								
資格等 取得との関連	保育士資格 幼稚園教諭二種免許状								
授業の概要	保育者の役割や専門性、職務内容等について、保育現場(幼稚園・保育所・施設・その他)の実践者等の講義も交えて学び、進路選択に役立てるとともに、めざす保育者像を探究する。								
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育者の役割と倫理(職務・子どもや保護者との関わりなど)について理解する。 2. 保育者の制度的な位置づけ(資格・養成など)について理解する。 3. 保育者の専門性について考察し、理解する。 4. 保育者の協働(職場の人間関係など)について理解する。 								
キーワード	保育者 役割 倫理 制度 専門性 協働 専門職 成長								
テキスト・ 参考書等	(適宜、資料を配布します)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 保育者の役割と倫理、制度的位置づけ、専門性、職務内容、協働、専門的成長等、保育者のあり方について理解している。								
LO-2	【技能】 保育者の専門性を分析し、必要な技能を理解し、自己課題とする力を身につけている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 社会のニーズを踏まえ、保育者としてのあり方や保育専門職の課題解決のための方策について、考察を深めることができる								
LO-4	【関心・意欲・態度】 保育者として成長し続けるために、自らを省察し、資質の向上に努めようとする。								
LO-5	【社会性・人間性】 価値観の多様性を認め、他者の意見を尊重しながら、自己の意見を適切に主張することができる。課題解決のために、他者と協働することができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			55			45			100
LO-1			20			5			25
LO-2			5			5			10
LO-3			20			5			25
LO-4			5			15			20
LO-5			5			15			20
備考	その他Aは平常点(授業参加態度及び適宜提出する小レポートの評価)評価の内容等について個別質問に対応する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「オリエンテーション」：授業方針・計画の説明 本授業の概要を把握し、授業のねらいや授業計画を理解する 保育者のあり方の基本について学ぶ	
	【予習】シラバスを読み、本授業内容を把握する	30分
	【復習】授業の全体像について確認する / 保育者のあり方の基本について、授業内容を確認し、理解を深める	60分
第2回	「保育者の意義・役割・課題などについて(1)」 実習経験を振り返り、保育者のあり方について検討する（「実習ガイドブック」原稿検討のためのグループ討議）	
	【予習】「実習ガイドブック」の担当箇所の原稿下書きを作成する	30分
	【復習】保育者のあり方について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第3回	「保育者の意義・役割・課題などについて(2)」 実習経験を振り返り、保育者のあり方についてまとめる（「実習ガイドブック」原稿の作成）	
	【予習】「実習ガイドブック」の原稿を清書する	30分
	【復習】保育者のあり方のグループでの検討結果、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第4回	「保育者の意義・役割・課題などについて(3)」 実習経験を振り返り、保育者のあり方について、まとめた内容を発表する（「実習ガイドブック」グループ発表）	
	【予習】「実習ガイドブック」の担当部分の発表の準備・練習をする	30分
	【復習】保育者のあり方の検討結果の全体について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第5回	「保育者の意義・役割・課題などについて(4)」 実習経験を振り返り、保育者のあり方について、まとめた内容を発表する（「実習ガイドブック」グループ発表）	
	【予習】「実習ガイドブック」の担当部分の発表の準備・練習をする	30分
	【復習】保育者のあり方の検討結果の全体について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第6回	「幼稚園教諭の現状と課題」 （外部講師予定） 幼稚園教諭の職務内容を理解するとともに進路選択に役立てる	
	【予習】幼稚園教諭の職務内容等について、これまでの学びを振り返る	30分
	【復習】幼稚園教諭の現状と課題について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第7回	「障がい児施設の現状と課題」 （外部講師予定） 障がい児施設の職務内容を理解するとともに進路選択に役立てる	
	【予習】障がい児施設の職務内容等について、これまでの学びを振り返る	30分
	【復習】障がい児施設の現状と課題について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第8回	「子どもを取り巻く環境の現状と課題」 （外部講師予定）	
	【予習】子どもを取り巻く環境について、これまでの学びを振り返る	0分
	【復習】子どもを取り巻く環境の現状と課題について、授業内容を振り返り、理解を深める	0分
第9回	「富山県の児童虐待の現状と課題」（外部講師予定） 県内の児童虐待や非行少年の現状を知り、地域福祉の課題を探索	
	【予習】児童相談所などの職務内容等について、これまでの学びを振り返る	30分
	【復習】児童相談所などの現状と課題について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第10回	「地域共生の現状と課題」 （外部講師予定）	
	【予習】地域共生について、これまでの学びを振り返る	0分
	【復習】地域共生の現状と課題について、授業内容を振り返り、理解を深める	0分

第11回	「子育て支援の現状と課題」 (外部講師予定)	
	【予習】子育て支援について、これまでの学びを振り返る	30分
	【復習】子育て支援の現状と課題について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第12回	「保育者の制度的位置づけ、保育制度の動向と課題」	
	【予習】保育者の制度的位置づけについて、これまでの学びを振り返る	30分
	【復習】保育者の制度的位置づけ、保育制度の動向と課題について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第13回	「保育者の専門性と専門職的成長」	
	【予習】保育者の専門性について、これまでの学びを振り返る	30分
	【復習】保育者の専門性と専門職的成長について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第14回	事例から学ぶ保育者像	
	【予習】これまでの実習で出会った事例を振り返る	30分
	【復習】各グループの事例と考察から、保育者としての最善の援助を考える	60分
第15回	「まとめ - めざす保育者像」	
	【予習】めざす保育者像を考えるために、これまでの学びを振り返る	30分
	【復習】授業全体を踏まえて、めざす保育者像について考察を深める	60分

授業科目名	教育原理			科目コード	C111-20				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 教育・保育		担当教員名	高木 三郎					
実務経験	富山県高等学校勤務24年。								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	なし		後継科目	児童社会					
関連科目	保育原理 児童家庭福祉 社会福祉								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格、社会福祉主事任用資格								
授業の概要	(幼児)教育の基礎・基本的な理論・歴史・制度等から、現代学校教育の成り立ちと変遷を理解し、現代の教育の課題や教師(保育士)のあり方等の教育の本質に関する理論的・実践的知識の基礎を学ぶ。								
学習目標	1 (幼児)教育の歴史や思想を基に、教育(保育)に関する基礎的な理論を理解する。 2 幼稚園教育と小学校教育の連続性を視点に、教育課程の内容・意義・編成の方法を理解する。 3 日本や諸外国の教育制度について理解する。								
キーワード	子ども観、教育観、発達観、教育史、教育思想、教育方法、教育内容、教育課程、教育制度、教育行政、生涯学習、特別支援教育								
テキスト・ 参考書等	テキスト:『子どもの教育の原理～保育の明日をひらくために～』編著 古橋和夫 萌文書林								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	(幼児)教育の基礎・基本的な理論・歴史・制度等について理解を深め、教育に関する基礎的な知識を身につけている。								
LO-2	(該当しない)								
LO-3	学修した知識を総合して、教育の基本について適切な判断ができ、説明することができる。								
LO-4	教育の課題について関心をもって意欲的に把握することに努め、学びを深めることができる。								
LO-5	(該当しない)								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70		10			20			100
LO-1	50								50
LO-2									
LO-3	20								20
LO-4			10			20			30
LO-5									
備考	その他 A は平常点(受講態度等) 提出を求めるレポートについては、コメントをつけて返却する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 授業の目的、評価などについて	
	【予習】シラバスを読み、授業内容を把握する。	45分
	【復習】授業の全体像を確認する。	45分
第2回	教育の理念と子ども観	
	【予習】テキストの該当部分（p 1 2 - p 2 7）を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】「教育とは何か」「子どもとは何か」について確認し、自分の子ども観や教育観について考える。	90分
第3回	幼児教育を築いた人々	
	【予習】テキストの該当部分（p 2 8 - p 3 9）を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】西洋の主な教育理論や日本の教師（保育士）に影響を与えた教育者とその理論を確認する。	90分
第4回	幼児教育を築いた人々	
	【予習】テキストの該当部分（p 4 0 - p 5 1）を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】西洋の主な教育理論や日本の教師（保育士）に影響を与えた教育者とその理論を確認する。	90分
第5回	わが国の教育史の概要	
	【予習】テキストの該当部分（p 5 2 - p 6 8）、及び子育てに関わる諺や伝承を調べておく	90分
	【復習】日本の近代以前の教育の特徴、及び近代以降の教育の変遷について確認する	90分
第6回	わが国の幼児教育と保育の歴史	
	【予習】テキストの該当部分（p 5 9 - p 6 9）を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】わが国戦後における幼児教育と保育の変遷を確認する	90分
第7回	教育と児童福祉における目的と目標（その1）	
	【予習】テキストの該当部分（p 1 0 6 - p 1 1 4）を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】幼稚園及び保育所の目的と目標を確認する	90分
第8回	教育と児童福祉における目的と目標（その2） 具体的事例を通して理解を深める	
	【予習】テキストの該当部分（p 1 1 4 - p 1 1 9）を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】幼稚園及び保育所の目的と目標を確認する	90分
第9回	わが国の幼児教育・保育の制度	
	【予習】テキストの該当部分（p 1 2 0 - p 1 2 6）を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】日本の幼児教育・保育の制度を確認する。	90分
第10回	外国の幼児教育・保育の制度	
	【予習】テキストの該当部分（p 1 2 7 - p 1 4 0）を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】外国の幼児教育・保育の制度を確認する。	90分

第11回	子どもの発達の特徴と遊び(その1)	
	【予習】テキストの該当部分(p162-p174)を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】0-2歳児の各年齢の発達の特徴と遊びを整理し、保育者のかかわりのポイントを確認する	90分
第12回	子どもの発達の特徴と遊び(その2)	
	【予習】テキストの該当部分(p175-p189)を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】3-5歳児の各年齢の発達の特徴と遊びを整理し、保育者のかかわりのポイントを確認する	90分
第13回	教育課程・保育課程の編成と教育評価	
	【予習】テキストの該当部分(p142-p161、p190-211)を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】教育課程・保育課程の意義と作成方法、および教育評価の方法を確認する	90分
第14回	現代の教育課題について(生涯学習社会、家庭、地域との関わり、特別支援教育)	
	【予習】テキストの該当部分(p226-p237)を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】生涯学習社会における幼児教育の意義、家庭や地域が教育に果たす役割、及び特別支援教育の考え方を確認する	90分
第15回	これからの保育者に求められるもの	
	【予習】自分の理想とする保育士像を確認する	90分
	【復習】自分の理想とする保育士像について改めて確認する	90分

授業科目名	子どもと社会			科目コード	C111-21				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 教育・保育		担当教員名	高木 三郎					
実務経験									
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	教育原理、保育原理、子ども家庭福祉		後継科目						
関連科目	保育者論、子ども家庭支援論								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	子どもを取り巻く社会環境における現代的なトピックをとりあげ、その現状と課題について考える。また、そのような社会の中で、子どもの人権・福祉が守られ、心身ともに健やかに育つために必要とされる、教育・福祉に関する理念や法制度、さらには行財政の仕組みなどへの理解を深める。講義の中には外部講師による解説や、グループによる課題探究活動、討議・発表を織り込む。								
学習目標	保育者として、現代の子どもを取り巻く社会的問題への総合的な認識を深めるとともに、個々の問題への解決力を身につける。								
キーワード	法・制度 人権 福祉 社会的弱者 子ども								
テキスト・ 参考書等	<ul style="list-style-type: none"> 教科書は特に無し。各回の講義ごとにプリントを配布する。 保育所保育指針、幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	<ul style="list-style-type: none"> 保育について学ぶことへの構えを持っている。 教授内容を理解し、まとめる言語能力を持っている。 								
LO-2	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや感情を的確に文章や音声に表現できる技術を身につけている。 他者との望ましい人間関係を築くための技法を身につけている。 								
LO-3	<ul style="list-style-type: none"> 保育に関わる課題を論理的にとらえ、的確に表現することができる。 情報を批判的にとらえ、主体的に判断することができる。 								
LO-4	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価、相互評価をとおして、自らの成長に生かすことができる。 新聞、書物などの読書、資料収集をとおして、保育者としての生き方を深めることができる。 								
LO-5	<ul style="list-style-type: none"> 班別の協議、発表、作業に積極的にに関わり、自らを表現することにより、他者との協働を図ることができる。 他者との共感性をもって関わることができる。 								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			35	35	20	10			100
LO-1			15	15					30
LO-2			10	10	10				30
LO-3			10	10	10				30
LO-4						5			5
LO-5						5			5
備考	<ul style="list-style-type: none"> その他Aは班別作業への参加。 成果発表については、コメントを返す。 提出されたレポートや作品については、優秀なものを学生に提示する。 								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（授業概要と授業の進め方）	
	【予習】シラバスを確認しておく	60分
	【復習】保育所・幼稚園の抱える課題を書き出し、まとめる。	90分
第2回	・子どもの育ちを支える法・制度（1回目） 保育所に関する制度と課題を理解する。	
	【予習】保育所に関わる新聞記事を切り抜き、その要点をまとめる。	90分
	【復習】保育所に関する制度と課題を整理しておく。	90分
第3回	・子どもの育ちを支える法・制度（2回目） 幼稚園に関する制度と課題を理解する。	
	【予習】幼稚園に関わる新聞記事を切り抜き、その要点をまとめる。	90分
	【復習】幼稚園に関する制度と課題を整理しておく。	90分
第4回	・子どもの育ちを支える法・制度（3回目） 認定こども園及び子育て支援新制度に関する制度と課題を理解する。	
	【予習】認定こども園及び子育て支援新制度に関わる新聞記事を切り抜き、その要点をまとめる。	90分
	【復習】認定こども園及び子育て支援新制度に関する制度と課題を整理しておく。	90分
第5回	・子どもの育ちを支える法・制度（4回目） 外国の保育制度について理解を深める。（とくに、スウェーデンとフランスを取り上げる）	
	【予習】スウェーデンとフランスについて知っていることをまとめておく。	90分
	【復習】外国の保育制度と日本の保育制度の相違点と共通点を整理しておく。	90分
第6回	・保育におけるリスクマネジメント（1回目） 保育現場の園長から講義を聞き、保育現場におけるリスクマネジメントの重要性を理解する。	
	【予習】保育実習中のヒヤリハットをまとめておく。	90分
	【復習】保育現場におけるリスクマネジメントの重要性についてまとめておく。	90分
第7回	保育におけるリスクマネジメント（2回目） 保育におけるリスクマネジメントの考え方に対する理解を深め、場面別の予防と対策を考える。	
	【予習】保育現場でリスクとなるものをまとめておく。	90分
	【復習】保育におけるリスクマネジメントの考え方をまとめておく。	90分
第8回	保育におけるリスクマネジメント（3回目） 保育におけるリスクコミュニケーションの重要性を理解し、ワークショップで理解を深める。	
	【予習】保育における保護者対応の留意点を、保育所保育指針で確認しておく。	90分
	【復習】リスクコミュニケーションの重要性を、保育所保育指針と結びつけてまとめておく。	120分
第9回	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	子ども家庭福祉			科目コード	C113-10				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 福祉	担当教員名	明柴 聡史						
実務経験									
開講時期	1年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	必修	単位数	2単位						
前提科目(知識)	社会福祉	後継科目	社会的養護						
関連科目	社会福祉								
資格等 取得との関連	保育士資格 幼稚園教諭二種免許 社会福祉主事任用資格								
授業の概要	「子ども家庭福祉の意義と歴史」「子ども家庭福祉の制度と実施体制」「子ども家庭福祉の現状と課題」を柱として、子ども家庭福祉全体について現実を踏まえながら考察を進める。テキストを基本としつつ、最新の資料や参考文献等を随時提示する。履修者一人ひとりが、現状の課題とその克服のための方策について、自ら考察を深めることを希望する。								
学習目標	児童のウェルビーイング（幸せ）を実現するための活動の総体である児童家庭福祉の理念・制度・方法について学び、児童家庭福祉専門職としての保育士に必要な基本的事項について理解することを目標とする。								
キーワード	子ども、家庭、ひとり親家庭、子どもの権利、児童虐待、社会的養護								
テキスト・ 参考書等	テキスト：立花直樹・波田埜英治編著『児童家庭福祉論』（ミネルヴァ書房） 参考書：『保育福祉小六法』（みらい）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 子ども家庭福祉の理念や制度について基本的事項を理解し、主な施策分野毎の現状と課題を説明することができる。								
LO-2	【技能】児童福祉の対象者にかかわる技能(寄り添うなど)を学ぶ								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 児童家庭福祉の動向や展望を踏まえ、問題解決のための方策について、考察を深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 児童のウェルビーイング（幸せ）や権利保障に高い関心を持ち、自らもその実現に向けて努力しようとする。								
LO-5	【社会性・人間性】 価値観の多様性を認め、他者の意見を尊重しながら、自己の意見を適切に主張することができる。課題解決のために、他者と協働することができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		30			20			100
LO-1	30		10						40
LO-2			10						10
LO-3	20								20
LO-4						10			10
LO-5			10			10			20
備考	その他Aは平常点（授業参加態度及び毎回の出席カードによる質問・意見・感想の評価） 定期試験については、実施後模範解答を示し、設問について解説する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「オリエンテーション」：授業方針の説明 本授業の概要を把握し、授業のねらいや授業計画を理解する 児童家庭福祉の基本構造について学ぶ オリエンテーション、自己紹介	
	【予習】シラバスを読み、本授業内容を把握する / テキスト序章を読み、児童家庭福祉の視点について確認する	30分
	【復習】授業の全体像について確認する / 児童家庭福祉の基本構造や視点について、授業内容を確認し、理解を深める 用語の定義を整理する 子ども家庭福祉に関する呼称の定義	60分
第2回	児童家庭福祉とは 子ども・家庭・福祉とは何か 授業資料	
	【予習】児童と家庭を取り巻く現状の概要をテキスト第1章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童と家庭を取り巻く現状について、授業内容を確認し、理解を深める / 第1章<まとめてみよう>	90分
第3回	児童と家庭・社会～子育てのいま・未来 子どもの権利とは	
	【予習】児童と家庭を取り巻く現状の概要をテキスト第1章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】子育ての今後の課題を振り返る	90分
第4回	児童の権利に関する条約について 権利保障、権利擁護の取り組みを理解する。 添付：児童の権利に関する条約全文	
	【予習】児童家庭福祉の理念の中核である「子どもの権利保障」の概要をテキスト第2章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】子どもの権利保障について、授業内容を確認し、理解を深める / 第2章<まとめてみよう>	90分
第5回	児童家庭福祉の意義と歴史 児童家庭福祉の歴史 欧米の児童家庭福祉 日本の児童家庭福祉 イギリス・アメリカの子ども家庭福祉の歴史	
	【予習】児童家庭福祉の歴史の概要をテキスト第3章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童家庭福祉の歴史について、授業内容を確認し、理解を深める / 第3章<まとめてみよう>	90分
第6回	「児童家庭福祉の制度と実施体制」(1)：児童家庭福祉の制度と法体系 児童福祉法 / 児童家庭福祉に関する法律 わが国の子ども家庭福祉の歴史	
	【予習】児童福祉法と児童家庭福祉関係法律の概要をテキスト第4章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童福祉法及び関係法律と制度について、授業内容を確認し、理解を深める / 第4章<まとめてみよう>	90分
第7回	「児童家庭福祉の制度と実施体制」(2)：児童家庭福祉行政と実施機関 児童家庭福祉の行政 / 児童家庭福祉の実施機関と施設	
	【予習】児童家庭福祉行政と実施機関の概要をテキスト第5章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】児童家庭福祉行政と実施機関について、授業内容を確認し、理解を深める / 第5章<まとめてみよう>	90分
第8回	児童家庭福祉の行政と実施機関	
	【予習】子育て支援サービスと健全育成施策の概要をテキスト第6章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】 子育て支援サービスと健全育成施策の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第6章<まとめてみよう>	90分
第9回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：母子保健サービス 母子保健の理念 / 母子保健サービスの実施と体系 / 母子保健の取り組み	
	【予習】母子保健サービスの概要をテキスト第7章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】母子保健サービスの現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第7章<まとめてみよう>	90分
第10回	子ども子育て支援資料編「児童家庭福祉施設の利用と措置、保育・教育施設と幼保一体化」保育サービス 少子化と働き方改革 保育サービス・子育て支援サービス	
	【予習】保育サービスの概要をテキスト、参考文献等で確認する	60分
	【復習】保育サービスの現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / <まとめてみよう> 保育所の設備及び運営に関する基準(最低基準)を見定める。	90分

第11回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：児童虐待とDV（ドメスティック・バイオレンス） 児童虐待 DV（ドメスティック・バイオレンス）	
	【予習】児童虐待とDV（ドメスティック・バイオレンス）の概要をテキスト第9章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】児童虐待とDV（ドメスティック・バイオレンス）の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第9章 <まとめてみよう>	90分
第12回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：社会的養護 社会的養護とは 代替的養護 社会的養護の状況と今後	
	【予習】社会的養護の概要をテキスト第10章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】社会的養護の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第10章 <まとめてみよう>	90分
第13回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：ひとり親家庭への福祉 ひとり親家庭の現状と生活状況 ひとり親家庭福祉サービスの概要	
	【予習】ひとり親家庭への福祉の概要をテキスト第11章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】ひとり親家庭への福祉の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第11章 <まとめてみよう>	90分
第14回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：障害のある子どもの福祉 「障害」観 障害児の定義と現状 障害児への福祉施策	
	【予習】障害のある子どもの福祉の概要をテキスト第12章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】情緒障害・少年非行問題の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第13章 <まとめてみよう>	90分
第15回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：情緒障害・少年非行問題 情緒障害 少年非行	
	【予習】情緒障害・少年非行問題の概要をテキスト第13章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】情緒障害・少年非行問題の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第13章 <まとめてみよう>	90分

授業科目名	社会的養護			科目コード	C113-11				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 福祉		担当教員名	明柴 聡史					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	子ども家庭福祉		後継科目	子ども家庭支援論					
関連科目	社会福祉 保育実習 -2								
資格等 取得との関連	保育士資格、幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	社会的養護について、「意義と歴史」「子ども家庭福祉との関連性及び児童の権利擁護」「制度と実施体系」「施設養護の実際」を柱に、現実を踏まえながら理解を深めます。テキストを基本としつつ、最新の資料や参考文献等を随時提示します。履修者一人ひとりが、現状の課題とその克服のための方策について、自ら考察を深めることを希望します。								
学習目標	社会的養護の意義と歴史、制度、施設養護の実際、現状と課題について理解するとともに、児童福祉施設における援助者としての保育士の役割や援助について理解し、保育実習 の2(施設)に備えることを目標とします。								
キーワード	社会的養護・養育 家庭養護 家庭的養護 施設養護 児童福祉施設 児童養護施設 乳児院 里親 小規模化 地域分散化 高機能化								
テキスト・ 参考書等	テキスト：辰己隆・波田埜英治編『保育士をめざす人の社会的養護』（みらい） 参考書：『保育福祉小六法』（みらい）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 社会的養護の意義や歴史、制度、施設養護の実際について基本的事項を理解するとともに、施設養護における保育士の役割や援助について理解している。								
LO-2	【技能】 社会的養護の対象に向けた援助の技能について理解している。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 社会的養護の動向や方向性を踏まえ、問題解決のための方策について、考察を深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 社会的養護における児童の権利擁護や発達援助、自立支援について高い関心をもち、施設養護の援助者としての実践力の向上に努める。								
LO-5	【社会性・人間性】 価値観の多様性を認め、他者の意見を尊重しながら、自己の意見を適切に主張することができる。課題解決のために、他者と協働することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		30			20			100
LO-1	30								30
LO-2			10						10
LO-3	20		10						30
LO-4			10			10			20
LO-5						10			10
備考	その他Aは平常点（授業参加態度及び毎回の出席カードによる質問・意見・感想の評価） 定期試験：教科書は持ち込み不可 / 小六法・ノート・配布プリントは持ち込み可 定期試験実施後、模範解答を示し、誤答の多い設問について解説する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「オリエンテーション」「社会的養護の意義」 本授業の概要を把握し、授業のねらいや授業計画を理解する / 社会的養護の意義について学ぶ	
	【予習】シラバスを読み、本授業内容を把握する / テキストを読み、社会的養護の意義について確認する	90分
	【復習】授業の全体像について確認する 社会的養護の意義、理念、視点について、授業内容を把握し、理解を深める / 第1章 <まとめてみよう>	90分
第2回	「児童家庭福祉と社会的養護 子どもと家庭を取り巻く環境 / 児童養護問題（時代の変化と社会的養護のニーズ）」	
	【予習】児童家庭福祉と社会的養護について、テキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童家庭福祉と社会的養護について、授業内容を把握し、理解を深める / <まとめてみよう>	90分
第3回	「社会的養護の歴史の変遷」 日本における社会的養護の歴史 / 欧米諸国における社会的養護の歴史と現状 / 子ども観の変遷	
	【予習】社会的養護の歴史の変遷について、テキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】社会的養護の歴史の変遷について、授業内容を把握し、理解を深める / 第3章 <まとめてみよう>	90分
第4回	「児童の権利擁護と社会的養護」 基本的人権と子どもの権利 / 「児童の権利に関する条約」 / 権利擁護 子どもの権利条約	
	【予習】2018作成：児童の権利に関する条約 ~ 児童の権利擁護と社会的養護について、テキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童の権利擁護と社会的養護について、授業内容を把握し、理解を深める / 第4章 <まとめてみよう> ユニセフによる権利条約要約	90分
第5回	「社会的養護の制度と法体系」 社会的養護に関する法律 / 児童福祉施設の設備及び運営に関する基準	
	【予習】社会的養護の制度と法体系について、テキスト第5章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】社会的養護の制度と法体系について、授業内容を把握し、理解を深める / 第5章 <まとめてみよう>	90分
第6回	「社会的養護の仕組みと実施体制」 社会的養護の体系 / 施設養護 / 家庭養護 / 相談機関と支援体制	
	【予習】社会的養護の仕組みと実施体制について、テキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】社会的養護の仕組みと実施体制について授業内容を把握し理解を深める / 第6章 <まとめてみよう> 次の動画を見て、社会的養護のあり方について考えてみよう	90分
第7回	「施設養護の特質と基本原則」 施設養護とは（基本原理） / 施設養護の展開過程 / 施設養護のインケアの実際	
	【予習】施設養護の特質と基本原則について、テキスト第7章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】施設養護の特質と基本原則について、授業内容を把握し、理解を深める / 第7章 <まとめてみよう>	90分
第8回	「施設養護の実際」(1)：児童養護系施設 乳児院 / 母子生活支援施設 / 児童養護施設	
	【予習】児童養護系施設における施設養護の実際について、テキスト第8章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童養護系施設における施設養護の実際について、授業内容を把握し、理解を深める / 第8章 <まとめてみよう>	90分
第9回	「施設養護の実際」(2)：障害児系施設 その1 ~ 肢体不自由児・重症心身障害児 ~ 障害児入所施設 / 児童発達支援センター	
	【予習】障害児系施設における施設養護の実際について、テキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】障害児系施設における施設養護の実際について、授業内容を把握し、理解を深める / 第9章 <まとめてみよう>	90分
第10回	「施設養護の実際」(2)：障害児系施設 その2 ~ 知的障害児 ~ 障害児入所施設 / 児童発達支援センター	
	【予習】障害児系施設における施設養護の実際について、テキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】障害児系施設における施設養護の実際について、授業内容を把握し、理解を深める / 第9章 <まとめてみよう>	90分

第11回	「知的障害者のための施設」 知的障害の理解 / 知的障害者のための施設と支援	
	【予習】知的障害者のための施設における支援について、参考文献等で確認する	90分
	【復習】知的障害者のための施設における支援について、授業内容を把握し、理解を深める	90分
第12回	「施設養護の実際」(3): 治療・行動系施設 情緒障害児短期治療施設 / 児童自立支援施設	
	【予習】治療・行動系施設における施設養護の実際について、テキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】治療・行動系施設における施設養護の実際について、授業内容を把握し、理解を深める / 第10章 <まとめてみよう>	90分
第13回	「里親養育の基本原則と実際」 里親制度 / 養子縁組 / ファミリーホーム"	
	【予習】里親養育の基本原則と実際について、テキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】里親養育の基本原則と実際について、授業内容を把握し、理解を深める / 第11章 <まとめてみよう>	90分
第14回	「社会的養護とソーシャルワーク」 社会的養護にかかわる専門職 / 社会的養護にかかわる専門機関	
	【予習】社会的養護とソーシャルワークについて、テキスト第13章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】社会的養護とソーシャルワークについて、授業内容を把握し、理解を深める / <まとめてみよう>	90分
第15回	「社会的養護の動向と方向性」 社会的養護の施策の動向 / 社会的養護の課題	
	【予習】社会的養護の動向と方向性について、テキスト第15章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】社会的養護の動向と方向性について、授業内容を把握し、理解を深める / <まとめてみよう>	90分

授業科目名	社会福祉			科目コード	C113-20				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 福祉	担当教員名	村上 満						
実務経験									
開講時期	1年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	必修	単位数	2単位						
前提科目(知識)	児童家庭福祉	後継科目	保育実習指導 相談援助						
関連科目	日本国憲法 保育実習指導								
資格等 取得との関連	保育士資格、幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	「社会福祉の理念・概念」「社会福祉の対象理解」「社会福祉の法制度」「社会福祉の実践方法」を柱として、それぞれの各論を説明しながら、社会福祉全体について現実を踏まえて授業を進める。その際、テキストを基本としながら、最新の資料や参考文献等を随時提示していく。履修者一人ひとりが、現状の課題とその克服のための方策について独自に考察できるよう授業を組み立てていく。								
学習目標	「人々の幸せを目指す社会的努力」としての社会福祉の理念・概念、対象理解、法制度・実践方法を理解する。 保育と社会福祉の関係について、保育者の視点から具体的に説明できるようになる。 社会福祉を自分の身近な問題として捉えることができるとともに、特に保育や子育てをめぐる生活課題について具体的に取り上げることができる。								
キーワード	ノーマライゼーション、ソーシャルワーク、保育ソーシャルワーク、相談援助								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『保育と社会福祉』橋本好市・宮田徹編 みらい 参考書：『保育福祉小六法』みらい								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】社会福祉の理念・概念、対象理解、法制度・実践方法について理解できるとともに、特に保育と社会福祉の関係について、保育者の視点から具体的に説明できるようになる。								
LO-2	該当しない								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】社会福祉を自分の身近な問題として捉えるだけでなく、その社会的背景や解決すべき方策について論理的に考察し、学びを深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】社会福祉は生活に極めて密着した学問であることを的確に把握できるとともに、特に保育者としての視点から、子どもをめぐる生活課題等に関心を持って過ごすことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】バイステックの原則を理解しながら、福祉マインドあふれる関わり方や他者との適切なコミュニケーションをすることが、保育者として持つべき資質であると理解して過ごすことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	80		20						100
LO-1	20								20
LO-2									
LO-3	20		10						30
LO-4	20								20
LO-5	20		10						30
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション(講義のねらいや授業計画について、 社会福祉の理念と概念、 社会福祉の分野で働く専門職とは、 ソーシャルワークについて、 我が国における社会福祉の特徴と課題)	
	【予習】保育と社会福祉：テキストの16ページから25ページまでを読んでみることににより、我が国の社会福祉の現状について興味を持つ。	20分
	【復習】保育と社会福祉：社会福祉とは何かについて自分の言葉で説明できるとともに、テキストの16ページから25ページまでを改めて読んでみることににより、我が国の社会福祉の現状について、レジュメを確認する。	30分
第2回	社会福祉の考え方と役割(1)：社会福祉の意味・定義(社会福祉の概念・構造や基本的な考え方について、その理念・目標、範囲など)	
	【予習】社会福祉の意味・定義：テキストの16ページから36ページまでを読んでみることににより、我が国の社会福祉の現状から社会福祉の考え方と役割について興味を持つ。	30分
	【復習】社会福祉の意味・定義：社会福祉とは何かについて自分の言葉で説明できるとともに、テキストの16ページから36ページまでを改めて読んでみることににより、我が国の社会福祉の現状と社会福祉の考え方と役割について、レジュメを確認する。	50分
第3回	社会福祉の考え方と役割(2)：保育と社会福祉の関係(保育の意味と社会福祉を学ぶ意義について)	
	【予習】保育と社会福祉の関係：テキストの16ページから38ページまでを読んでみることににより、我が国の社会福祉の現状から保育の意味と社会福祉を学ぶ意義について興味を持つ。	30分
	【復習】保育と社会福祉の関係：保育の意味と社会福祉を学ぶ意義とは何かについて自分の言葉で説明できるとともに、テキストの16ページから38ページまでを改めて読んでみることににより、我が国の社会福祉の現状から保育の意味と社会福祉を学ぶ意義について、レジュメを確認する。	50分
第4回	社会福祉の歴史(1)：欧米の社会福祉の歴史(イギリス・アメリカ・スウェーデンにおける社会福祉の歴史)	
	【予習】欧米の社会福祉の歴史：テキストの42ページから48ページまでを読んでみることににより、我が国の社会福祉だけでなく、海外の社会福祉について興味を持つ。	30分
	【復習】欧米の社会福祉の歴史：海外の社会福祉、特にイギリス、アメリカ、スウェーデンの歴史について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの42ページから48ページまでを改めて読んでみることににより、我が国の社会福祉の現状だけでなく、海外の社会福祉について、レジュメを確認する。	50分
第5回	社会福祉の歴史(2)：日本の社会福祉の歴史(戦前と戦後における社会福祉の展開、新しい社会福祉の理念と新しい展開、慈善事業、社会事業、戦後の福祉施策の流れ)	
	【予習】日本の社会福祉の歴史：テキストの48ページから53ページまでを読んでみることににより、我が国の社会福祉について興味を持つ。	40分
	【復習】我が国の社会福祉の歴史：我が国の社会福祉の歴史について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの48ページから53ページまでを改めて読んでみることににより、我が国の社会福祉の歴史について、レジュメを確認する。	50分
第6回	社会福祉の法と実施運営体制(1)：我が国における社会保障の概念と体系(社会保険・公的扶助)の概念と体系について	
	【予習】社会保障の概念と体系：前回の日本の社会福祉の歴史をふまえたながら、テキストの56ページから68ページまでを読んでみることににより、我が国における社会保障の概念と体系について興味を持つ。	40分
	【復習】社会保障の概念と体系：我が国における社会保障の概念と体系について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの56ページから68ページまでを改めて読んでみることににより、我が国における社会保障の概念と体系について、レジュメを確認する。	50分
第7回	社会福祉の法と実施運営体制(2)：社会福祉の制度・法体系(日本国憲法・社会福祉法、高齢者福祉・障がい者福祉の法制度)	
	【予習】社会福祉の制度・法体系：前回の我が国における社会保障制度をふまえながら、テキストの72ページから84ページまでを読んでみることににより、我が国における社会福祉の制度・法体系について興味を持つ。	50分
	【復習】社会福祉の制度・法体系：我が国における社会福祉の制度・法体系、特に高齢者、障がい者福祉制度について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの72ページから84ページまでを改めて読んでみることににより、我が国における社会福祉の制度・法体系について、レジュメを確認する。	60分
第8回	社会福祉の法と実施運営体制(3)：社会福祉施設の実施機関と行財政(国・都道府県、市町村の福祉行政機関、福祉の計画・財源について)	
	【予習】社会福祉施設の実施機関と行財政：前回の我が国における社会福祉の制度・法体系をふまえながら、テキストの86ページから96ページまでを読んでみることににより、我が国における社会福祉施設の実施機関と行財政について興味を持つ。	50分
	【復習】社会福祉施設の実施機関と行財政：我が国における社会福祉施設の実施機関と行財政について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの86ページから96ページまでを改めて読んでみることににより、我が国における社会福祉施設の実施機関と行財政について、レジュメを確認する。	60分
第9回	社会福祉の法と実施運営体制(4)：社会福祉の施設(社会福祉施設の概要、社会福祉施設の運営)	
	【予習】社会福祉の施設：前回の我が国における社会福祉の実施機関と行財政をふまえながら、テキストの98ページから104ページまでを読んでみることににより、我が国における社会福祉の施設、特に社会福祉施設の概要と社会福祉施設の運営について興味を持つ。	50分
	【復習】社会福祉の施設：我が国における社会福祉の施設について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの98ページから104ページまでを改めて読んでみることににより、我が国における社会福祉の施設、特に社会福祉施設の概要と社会福祉施設の運営について、レジュメを確認する。	60分
第10回	児童家庭福祉：子どもの人権と児童福祉の理念(児童家庭福祉の実施と動向、保育施策の動向)	
	【予習】子どもの人権と児童福祉の理念：前回の我が国における社会福祉の実施機関(特に児童家庭福祉に関する実施機関)をふまえながら、テキストの106ページから119ページまでを読んでみることににより、我が国における子どもの人権と児童福祉の理念について興味を持つ。	60分
	【復習】子どもの人権と児童福祉の理念：我が国における子どもの人権と児童福祉の理念について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの106ページから119ページまでを改めて読んでみることににより、我が国における子どもの人権と児童福祉の理念について、レジュメを確認する。	60分

第11回	社会福祉の専門職と倫理：社会福祉専門職の専門性（社会福祉の専門職、社会福祉専門職の専門性と倫理）	
	【予習】社会福祉専門職の専門性：前回の我が国における子どもの人権と児童福祉の理念をふまえながら、テキストの122ページから137ページまでを読んでみることに により、我が国における社会福祉専門職の専門性について興味を持つ。	60分
	【復習】社会福祉専門職の専門性：我が国における社会福祉専門職の専門性について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの122ページから137ページまでを改 めて読んでみることににより、我が国における社会福祉専門職の専門性について、レジュメを確認する。	60分
第12回	相談援助の意味と方法：相談援助・ソーシャルワークの意味（相談援助・ソーシャルワークの視点、相談援助・ソーシャルワークの動向）	
	【予習】相談援助・ソーシャルワークの意味：前回の我が国における社会福祉専門職の専門性をふまえながら、テキストの140ページから155ページまでを読んでみる ことににより、我が国における相談援助・ソーシャルワークの意味について興味を持つ。	60分
	【復習】相談援助・ソーシャルワークの意味：我が国における相談援助・ソーシャルワークの意味について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの140ページ から155ページまでを改めて読んでみることににより、我が国における相談援助・ソーシャルワークの意味について、レジュメを確認する。	60分
第13回	福祉サービスの利用支援と第三者評価：措置制度から契約・利用制度へ（福祉サービスの適切な利用支援、第三者評価・権利擁護・苦情解決）	
	【予習】措置制度から契約・利用制度へ：前回の我が国における相談援助・ソーシャルワークの意味をふまえながら、テキストの158ページから184ページまでを読 んでみることににより、我が国における福祉サービスの適切な利用支援、第三者評価・権利擁護・苦情解決制度について興味を持つ。	60分
	【復習】措置制度から契約・利用制度へ：我が国における契約・利用制度について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの158ページから184ページまでを改 めて読んでみることににより、我が国における福祉サービスの適切な利用支援、第三者評価・権利擁護・苦情解決制度について、レジュメを確認する。	60分
第14回	地域の福祉の意味と推進方法：地域福祉の理念（地域福祉の担い手、地域福祉の方法）	
	【予習】地域福祉の理念：前回の我が国における福祉サービスの適切な利用支援、第三者評価・権利擁護・苦情解決制度をふまえながら、テキストの186ページから1 95ページまでを読んでみることににより、我が国における地域福祉の担い手、地域福祉の方法について興味を持つ。	60分
	【復習】地域福祉の理念：我が国における地域福祉の理念について自分の言葉で説明できるとともに、テキストの186ページから195ページまでを改めて読 んでみることににより、我が国における地域福祉の担い手、地域福祉の方法について、レジュメを確認する。	60分
第15回	まとめ：他分野との連携とネットワーク、社会福祉と保育士のこれから（社会福祉と主な関係分野との連携、社会福祉専門職としての保育士のあり方）	
	【予習】まとめ：これまでの学習内容を確認しながら、他分野との連携とネットワーク、社会福祉と保育士のこれからについて、テキストの198ページから218ペ ージまでを読んでみることににより、我が国における社会福祉と主な関係分野との連携、社会福祉専門職としての保育士のあり方について興味を持つ。	60分
	【復習】まとめ：我が国における他分野との連携とネットワークや社会福祉と保育士のこれからについて自分の言葉で説明できるとともに、テキストの198ページ から218ページまでを改めて読んでみることににより、我が国における社会福祉専門職としての保育士のあり方について、レジュメを確認する。	60分

授業科目名	子ども家庭支援論			科目コード	C113-30				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 福祉	担当教員名	石動 瑞代						
実務経験									
開講時期	2年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)	社会的養護	後継科目							
関連科目	社会福祉 子ども家庭福祉								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	子育て家庭に対する支援の意義・目的を理解したうえで、保育の専門性を活かした子ども家庭支援の基本知識を身につける。 また、子育て支援体制や子育て家庭の現状を知り、ニーズに応じた多様な支援内容についての理解を深める。								
学習目標	子育て家庭を取り巻く社会状況を知り、保育所等による支援の必要性を理解する。 子育て家庭への支援における、基本的な視点や援助方法を習得する。 多様な子育て家庭のニーズに応えるための、具体的支援方法と関係機関との連携について理解する。								
キーワード	子育て支援 保育所等の特性を生かした支援 地域 社会資源 連携								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『保育と子ども家庭支援』 石動瑞代 編(みらい) 『保育所保育指針解説書』 厚生労働省編(フレーベル館)、『幼稚園教育要領解説』 文部科学省(フレーベル館)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 家庭の機能や意義及び子育て家庭を支援する際の基本原理について理解し、説明することができる。								
LO-2	【技能】 保育所・幼稚園等の特性を生かした家庭支援技術を身につける。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】子育て家庭が抱える現代的課題をふまえて、必要な家庭支援について論理的に考察し、説明することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 子育て家庭をめぐる社会資源についての確に把握し、子育て家庭に対する支援方法を具体的に検討することができる。								
LO-5	【社会性・人間性】 事例研究・グループワークを通して、自分の意見を他者にわかりやすく伝えると同時に、他者の意見を受容し、自己覚知や自らの意見形成に反映させることができる。また、子育て家庭における保護者の心情等を共感的に理								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		40			10			100
LO-1	20								20
LO-2	10		20						30
LO-3	10		10						20
LO-4	10		10						20
LO-5						10			10
備考	その他 A は、授業中の課題への取り組み態度とする。 課題に対しては、口頭及び紙面でコメントを行う。試験については、紙面で説明する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	現代の社会状況と家族の実態	
	【予習】現代社会における家族像について、自分の意見をまとめておく。	40分
	【復習】教科書第1章、2章の内容を読み、講義内容とあわせて、ノートにまとめる。	100分
第2回	子どもの発達と家族の発達 - 家庭支援の視点	
	【予習】教科書第3章 - 第5章の内容を読む。	50分
	【復習】講義内容と教科書の内容を関連づけて、ノートに整理する。	100分
第3回	保育所等における家庭支援の実際 - 保育所の特性をいかす	
	【予習】教科書第9章の内容を、一読する。	40分
	【復習】保育所の特性をいかした援助技術についてまとめる。	120分
第4回	保育所等における家庭支援の実際 - 連絡帳のポイント	
	【予習】課題プリントを仕上げてくる。	80分
	【復習】講義内容をノートにまとめる。 講義中に配布された課題プリントを仕上げる。	120分
第5回	保育所等における家庭支援の実際 - 保育参加・懇談会・おたより	
	【予習】教科書第9章の該当部分を一読する。	40分
	【復習】課題プリント（おたより）を仕上げる。	120分
第6回	保育所における家庭支援の実際 - トラブルをめぐって	
	【予習】配布プリントを読んでおく。	40分
	【復習】家庭支援における「トラブル対処」と「発生予防」で重要なポイントを、ノートにまとめてくる。	100分
第7回	子どもの発達と地域社会のかかわり - 多様な子育て支援	
	【予習】自分が居住する地域の、子育て支援施策について調べる。 教科書第7章、第10章を読んでおく。	120分
	【復習】課題プリントを仕上げる。	100分
第8回	親子支援活動の計画	
	【予習】あらかじめ親子活動の案を考えてくる。	80分
	【復習】グループで決めた親子活動案の詳細を検討する。 担当する役割を確認し、必要な準備をする。	150分
第9回	親子支援の実際 - 行事を通しての親子・地域支援	
	【予習】リハーサルを実施する。	60分
	【復習】行事における親子活動(模擬)について、振り返りシートを完成させる。	60分
第10回	親子支援の実際 - 子育て支援センターでの親子活動	
	【予習】グループ内で、打ち合わせやリハーサルを行う。	80分
	【復習】子育て支援センター等での親子活動(模擬)について、振り返りシートを完成させる。	60分

第11回	家庭支援の留意点 - 価値観・倫理観	
	【予習】配布プリントを参考に、自分の価値観・倫理観について考える。	40分
	【復習】事例の課題プリントを完成する。	100分
第12回	家族との個別面接における基本態度 - 基本的配慮事項	
	【予習】これまで学んだ面接技術について、確認しておく	60分
	【復習】個別面接の基本的態度をノートにまとめる。	100分
第13回	事例研究 児童虐待・障害が疑われる事例	
	【予習】事例の課題プリントを完成する。	60分
	【復習】特別な配慮を要する家庭への支援についてポイントをまとめる。	100分
第14回	事例研究 異文化の家族に対する援助事例	
	【予習】課題プリントを仕上げてくる。	60分
	【復習】異文化の家族支援について、配慮のポイントをまとめる。	100分
第15回	保育士等が行う家庭支援のまとめ	
	【予習】これまで学んだ家庭支援の内容を整理する。	180分
	【復習】定期試験に向けて、学習する。	240分

授業科目名	保育の心理学			科目コード	C121-10				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 心理		担当教員名	嶋野 珠生					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	子どもの理解と援助 幼児理解 教育相談					
関連科目	子ども家庭支援の心理学 教育心理学								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	質の高い保育を実践するには、子どもの心についての理解、人の心についての理解が不可欠です。心理学は心についての学問ですが、とりわけ発達心理学は人間の加齢に伴う発達変化やその段階ごとの特質、問題点、また発達の障害などについても研究する分野です。さらに近年では虐待と愛着形成の問題への理解、親子の絆づくりへの支援についても、保育士として学びを深めることが必要です。保育と特に関わりのあるこれらの発達心理のテーマについて習得を目指します。								
学習目標	1. 保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達をとらえる視点について理解する。 2. 子どもの発達に関わる心理学の基礎を習得し、養護と教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子ども理解を深める。 3. 乳幼児期の子どもの学びの過程や特性について基礎的知識を習得し、保育における人の相互的関りや体験、環境の意義を理解する。								
キーワード	乳幼児の発達心理 乳幼児の学習心理 発達理論								
テキスト・ 参考書等	笑って子育て 物語で見る発達心理学 福田佳織編著(北樹出版) 参考書: 保育の心理学 編著(中央法規)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	〔知識・理解〕 乳幼児期の発達および学習に関する心理学の基礎的知識が習得できている								
LO-2									
LO-3									
LO-4	〔関心・意欲・態度〕 授業への意欲・関心をもって主体的に学んでいる								
LO-5	〔人間性・社会性〕 グループ作業での仲間との協働、協力を積極的に図ることができる								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60		20	20					100
LO-1	60		20						80
LO-2									
LO-3									
LO-4				10					10
LO-5				10					10
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション	
	【予習】シラバスを見て授業内容を確認	20分
	【復習】オリエンテーションを振り返り、半期間の授業予定の振り返り	90分
第2回	子どもの発達を理解することの意義	
	【予習】教科書を読んで授業内容を確認	90分
	【復習】授業中のノート・プリントを見直し・整理	90分
第3回	子どもの発達と環境	
	【予習】教科書を読んで授業内容を確認	90分
	【復習】授業中のノート・プリントを見直し・整理	90分
第4回	子どもの発達理論と子ども観/保育観の概要	
	【予習】教科書を読んで授業内容を確認	90分
	【復習】授業中のノート・プリントを見直し・整理	90分
第5回	子どもの発達過程：乳幼児の身体・運動発達	
	【予習】教科書を読んで授業内容を確認	90分
	【復習】授業中のノート・プリントを見直し・整理	90分
第6回	子どもの発達過程：社会情動的発達 アタッチメント 初期経験の重要性	
	【予習】教科書を読んで授業内容を確認	90分
	【復習】授業中のノート・プリントを見直し・整理	90分
第7回	子どもの発達過程：社会情動的発達 自己意識と感情の発達	
	【予習】教科書を読んで授業内容を確認	90分
	【復習】授業中のノート・プリントを見直し・整理	90分
第8回	子どもの発達過程：社会情動的発達 他者意識	
	【予習】教科書を読んで授業内容を確認	90分
	【復習】授業中のノート・プリントを見直し・整理	90分
第9回	子どもの発達過程：ことばの発達	
	【予習】教科書を読んで授業内容を確認	90分
	【復習】授業中のノート・プリントを見直し・整理	90分
第10回	子どもの発達過程：認知発達	
	【予習】教科書を読んで授業内容を確認	90分
	【復習】授業中のノート・プリントを見直し・整理	90分

第11回	エリクソンの心理社会的発達段階	
	【予習】教科書を読んで授業内容を確認	90分
	【復習】授業中のノート・プリントを見直し・整理	90分
第12回	発達障害の理解と支援	
	【予習】教科書を読んで授業内容を確認	90分
	【復習】授業中のノート・プリントを見直し・整理	90分
第13回	不適切養育と愛着の障害 ト라우マ	
	【予習】教科書を読んで授業内容を確認	90分
	【復習】授業中のノート・プリントを見直し・整理	90分
第14回	子どもの学びと学びの理論	
	【予習】教科書を読んで授業内容を確認	90分
	【復習】授業中のノート・プリントを見直し・整理	90分
第15回	子どもの発達を支援する園での取り組みの実際	
	【予習】これまでの授業の内容について教科書・プリント類を見直す	160分
	【復習】テストの見直し・講義ノートを見直し整理	90分

授業科目名	子ども家庭支援の心理学			科目コード	C121-11				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 心理		担当教員名	嶋野 珠生					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	保育の心理学		後継科目	子ども理解と援助 幼児理解 教育相談					
関連科目	教育心理学								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	人の発達における生涯発達視点と初期経験の重要性について理解するとともに、子どもの発達にとって重要な役割を果たす家族・家庭について知識を習得し、子育て家庭の現状と家族家庭にまつわる現代的課題について理解する。								
学習目標	1.生涯発達に関する心理学の基礎知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。 2.家族・家庭の意義や機能を理解するとともに親子関係や家族関係等について発達の観点から理解し、子どもとその家庭を包括的にとらえる視点を習得する。 3.子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解する。 4.子どもの精神保健とその課題について理解する。								
キーワード	生涯発達 初期経験 子育て家庭 家族関係 子どものこころの健康								
テキスト・ 参考書等	教科書：「子ども家庭支援の心理学」 青木紀久代編（株式会社みらい） 参考書：「子ども家庭支援の心理学」 白川桂子 福丸由香編著（中央法規）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	〔知識・理解〕子ども家庭支援に関する心理学の基礎的知識の習得ができる								
LO-2	〔技術〕子ども家庭支援に必要な基礎的心理技術を習得できている。								
LO-3	〔思考力・判断力・表現力〕学修した知識や技術を、身近な子ども・子育てにまつわる問題に関連させて思考することができる。								
LO-4	〔関心・意欲・態度〕授業への意欲・関心をもって主体的に学んでいる								
LO-5	〔人間性・社会性〕子ども、保護者、仲間を尊重する視点を持ち、授業内で仲間との協働作業を積極的に図ることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	20	40	20			20			100
LO-1	20	30							50
LO-2		10							10
LO-3			10						10
LO-4			10			10			20
LO-5						10			10
備考	Aは授業への参加態度								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 生涯発達の見点	
	【予習】シラバスを見て授業内容を確認	20分
	【復習】オリエンテーションを振り返り、半期間の授業予定の振り返り	90分
第2回	乳幼児期から学童期前期の発達	
	【予習】保育の心理学で学んだ該当箇所の振り返り	90分
	【復習】授業で使用した教科書、プリントの見直し	90分
第3回	学童期後期から青年期の発達	
	【予習】保育の心理学で学んだ該当箇所の振り返り 教科書に目を通す	90分
	【復習】授業で使用した教科書、プリントの見直し	90分
第4回	青年期から老年期の発達	
	【予習】保育の心理学で学んだ該当箇所の振り返り、教科書を読む	90分
	【復習】授業で使用した教科書、プリントの見直し	90分
第5回	家族・家庭の意義と機能	
	【予習】教科書の該当ページを読む	90分
	【復習】授業で使用した教科書やプリントの見直し	90分
第6回	親子関係・家族関係の理解	
	【予習】教科書の該当箇所を読む	90分
	【復習】授業で使用した教科書、プリントの見直し	90分
第7回	子育てを取り巻く社会状況	
	【予習】教科書の該当箇所に目を通す	90分
	【復習】授業で使用した教科書、プリントの見直し	90分
第8回	子育ての経験と親としての育ち	
	【予習】教科書の該当箇所に目を通す	90分
	【復習】授業で使用した教科書やプリントの見直し	90分
第9回	ライフコースと仕事・子育て	
	【予習】教科書の該当箇所に目を通す	90分
	【復習】授業で使用した教科書やプリントの見直し	90分
第10回	多様な家族とその理解	
	【予習】教科書の該当箇所に目を通す	90分
	【復習】授業で使用した教科書やプリントの見直し	90分

第11回	特別な配慮を要する家庭	
	【予習】教科書の該当箇所に目を通す	90分
	【復習】授業で使用した教科書やプリントの見直し	90分
第12回	子どものこころの健康にかかわる問題	
	【予習】教科書の該当箇所に目を通す	90分
	【復習】授業で使用した教科書やプリントの見直し	90分
第13回	子どもの生活と生育環境とその影響	
	【予習】教科書の該当箇所に目を通す	90分
	【復習】授業で使用した教科書やプリントの見直し	90分
第14回	1,2年合同授業「2年生の保育ロールプレイ発表」	
	【予習】事前資料に目を通す	90分
	【復習】授業で使用したプリントや資料の見直しと整理	90分
第15回	まとめと確認テスト	
	【予習】これまでの授業全体の振り返りと整理	160分
	【復習】確認テストの振り返りと整理	90分

授業科目名	教育心理学			科目コード	C121-20				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 心理		担当教員名	樋口 康彦					
実務経験									
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	高校卒業程度の一般的知識		後継科目						
関連科目	保育の心理学、子ども家庭支援の心理学、幼児理解								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許に必須								
授業の概要	人間の学習のメカニズムや学習指導の理論、知的発達や人格発達、教育の評価、教師と子どもの関係などについて、広く学んでいく。また、基礎知識の習得に加え、それらをふまえて「教育現場で、自分自身が子どもにどのように関わるべきか」を学生自身が常に問い続け、考え続けることを重視する。								
学習目標	教育活動に携わる上で重要な、人間の心のしくみや働き、また、その発達のプロセスを理解する。そのために、教育心理学の主要領域を概観し、基礎的理解を深めることを目的とする。教育に携わる際に必要となる、人間の心の仕組みや働き、その発達のプロセスをきちんと理解していること。								
キーワード	心理学、子ども、学校								
テキスト・ 参考書等	テキストは特になし。 参考書は、「やさしい教育心理学」(有斐閣)、「教育心理学 第3版 ベーシック現代心理学6」(有斐閣)。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	教育に携わる際に必要となる、人間の心の仕組みや働き、その発達のプロセスをきちんと理解していること。								
LO-2	(該当しない)								
LO-3	(該当しない)								
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70					30			100
LO-1	70					30			100
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考	定期試験70%、その他A(30)は、積極性などの授業態度で評価する。 レポートは採点后、コメントをつけて返却する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション。教育心理とは何か。幼児期における心身の発達に対する外的・内的要因の相互作用。発達に関する代表的理論について。	
	【予習】シラバスを見て、授業内容を確認する。	15分
	【復習】オリエンテーション内容を振り返り、半期間の授業予定を確認する。	15分
第2回	発達を促す。児童期における心身の発達に対する外的・内的要因の相互作用。	
	【予習】「発達」と「成長」の意味を調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。テストの正答を確認する。	135分
第3回	発達の概念および教育における発達理解の意義。	
	【予習】教育心理学における発達について調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。	135分
第4回	乳幼児期から青年期における運動発達、言語発達について。	
	【予習】言語能力の発達について調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。	135分
第5回	乳幼児期から青年期における認知発達、社会性発達について。	
	【予習】対象永続性、保存の概念の意味を調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。テストの正答を確認する。	135分
第6回	レスポナント条件づけ、オペラント条件づけ、試行錯誤、モデリング、洞察について理解する。	
	【予習】「学習」の意味を調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。	135分
第7回	様々な学習の形態や概念およびその過程を説明する代表的な理論について。	
	【予習】モデリング、学習の能率について調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。	135分
第8回	動機づけ、集団づくり、学習評価の在り方について発達の特徴と関連付けて理解する。	
	【予習】内発的動機づけ、外発的動機づけ、学級経営の意味を調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。テストの正答を確認する。	135分
第9回	やる気を高める工夫。学級集団の機能、学級集団の理解、学級集団の指導。学級集団の構造と教師の影響について。	
	【予習】効果的な学級経営について調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。	135分
第10回	幼児・児童・生徒の心身の発達を踏まえ、主体的な学習活動を支える指導の基礎となる考え方について理解する。	
	【予習】内発的動機づけを高めるための方法について調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。	135分

第11回	レディネス、学習の転移、様々な学習法について理解する。	
	【予習】レディネスの意味を調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。また、最終テストに向けて総復習を始める。	180分
第12回	知能の理論。知能の発達。流動性知能と結晶性知能。知能の恒常性。知能の週末低下。	
	【予習】知能の意味を調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。また、最終テストに向けて総復習を始める。	180分
第13回	性格の理論。性格形成の要因(遺伝と環境の要因)。親の養育態度が性格に与える影響。きょうだい関係が性格に与える影響。	
	【予習】性格形成の要因について調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。テストの正答を確認する。また、最終テストに向けて総復習を始める。	180分
第14回	欲求について。欲求階層説。ホメオスタシスとは何か。生理的適応と行動的適応。欲求不満耐性。	
	【予習】マズロー、欲求不満について調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。また、最終テストに向けて総復習を始める。	180分
第15回	記憶のしくみ。記憶と忘却。エビングハウスの忘却曲線。長く記憶するための条件。フラッシュバルブ記憶について。テストの説明。	
	【予習】記憶のしくみについて調べる。	420分
	【復習】今回のプリントの内容を復習する。これまでの授業を振り返り、章ごとに重要点をまとめる。	120分

授業科目名	幼児理解			科目コード	C121-30				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 心理		担当教員名	嶋野 珠生					
実務経験									
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	保育の心理学 子ども家庭支援の心理学		後継科目	教育相談					
関連科目	子どもの理解と援助 教育心理学								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	幼児や保護者を理解するためには、自己理解を深めること、他者理解を深めることが不可欠となる。自己の感情に敏感に気付けるようになることや他者の視点に立って感じ考えることができるようになることを目標に体験型ワークと保育者によるエピソード記述の読み込みを行う。								
学習目標	幼児理解について知識を身につけ、考え方や基本的態度を理解する。 幼児理解の方法を具体的に理解する。相手の立場に立って感じる、考えることを体験的に学ぶ。								
キーワード	自己理解 他者理解								
テキスト・ 参考書等	教科書： 鯨岡峻・鯨岡和子(2009)「エピソード記述で保育を描く」ミネルヴァ書房 参考書：村山正司「自分&こころまなBOOK」 丹治光浩「自己理解ワーク」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	〔知識・理解〕自己理解、他者理解、感情に関する理解を深める。								
LO-2	〔技能〕自己理解・他者理解、他者の視点に立つためのさまざまな手法について理解する。								
LO-3	〔思考力・判断力・表現力〕学んだ知識や技能を使って、実際の場面で他者の視点に立って考えることができる。								
LO-4	〔関心・意欲・態度〕授業に関心を持ち、自ら意欲的に取り組む。								
LO-5	〔人間性・社会性〕グループでの活動に協力し、お互いに学び合えるように役割を果たす。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30			60	10		100
LO-1			5			20			25
LO-2			5			20			25
LO-3			10			20			30
LO-4			10						10
LO-5							10		10
備考	その他のAは、毎授業毎のワークシートと振り返りシートの記述内容から評価する。 Bはグループ活動と発表の協力度、態度、スキルより評価する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「オリエンテーション 質問紙から自己理解をしてみよう」 第1回授業jスライド 不安怖さ楽しいことご飯睡眠やりたいこと	
	【予習】シラバスを見て、授業内容を確認する。	15分
	【復習】オリエンテーション内容を振り返り、半期間の授業予定を確認する。質問紙とお話づくりのプリントは郵送で提出する。	15分
第2回	「自己理解ワーク エゴグラム 自分の強みを探そう」 2-4第2回授業に参加する 【予習】2-4パスワード:Youji2-4-2 2-3パスワード:Youji2-3-2	0分
	授業の前にプリントアウトして準備しておくこと。 【復習】課題： まとめシートを完成させて写真を撮って提出課題1にアップロード。 締め切り期日：5月8日 9時まで	30分
	「自己理解ワーク リフレーミング 肯定的なものの見方」	
第3回	2-4第3回授業に参加する 【予習】 2-4パスワード:Youji2-4-3	0分
	【復習】課題1：第3回提出課題をダウンロードしてWordで作成して提出課題4にアップロードする。 提出期限：5月14日木曜 19時まで	30分
	「他者の視点に立つワーク 立場が変わると見方が変わる 「4人の体験」」	
第4回	2-4第4回授業に参加する 【予習】 2-4パスワード:Youji2-4-4 2-3パスワード:Youji2-3-4	0分
	【復習】今日の課題 課題1：第4回振り返りシートをダウンロードしてWordで作成し、提出課題4にアップロードする。 提出期限：5月21日(木)19時まで	30分
	「他者の視点に立つワーク ロールレタリング1」	
第5回	4組第5回授業に参加する 【予習】パスワード： 4組：Youji2-4-5 3組：Youji2-3-5	10分
	事前学習：ワークシートの詩「手紙-拝啓 十五の君へ-」をできれば読んで、味わっておく。 【復習】授業中のワークの参考に。子どものとき大人にしてもらってうれしかったこと 漫画、エッセー 課題1：スマホへの手紙をダウンロードしてWordで作成、提出課題4にアップロード。	45分
	「他者の視点に立つワーク ロールレタリング2」	
第6回	【予習】パスワード 事前学習： 【復習】課題1：絵本「ひとりでいたいの」をダウンロードして読み、「こぶたくんのお母さんへの手紙」をダウンロードしてWordで作成する。提出課題4へアップロードする。	15分
	【復習】課題1：絵本「ひとりでいたいの」をダウンロードして読み、「こぶたくんのお母さんへの手紙」をダウンロードしてWordで作成する。提出課題4へアップロードする。	30分
	エピソード記述を読む 子どもの思いを受け止める	
第7回	【予習】	0分
	【復習】授業で使用したプリント・資料・教科書を再読み整理する。振り返りシートを作成して提出。	30分
	エピソード記述を読む 子どもの思いを受け止める	
第8回	【予習】	0分
	【復習】授業で使用したプリント・資料・教科書を再読み整理する。振り返りシートを作成して提出。	30分
	エピソード記述を読む 家族関係の中の子どもの思い	
第9回	【予習】	0分
	【復習】授業で使用したプリント・資料・教科書を再読み整理する。振り返りシートを作成して提出。	30分
	エピソード記述を読む 関係の中の子どもの思い	
第10回	【予習】	0分
	【復習】授業で使用したプリント・資料・教科書を再読み整理する。振り返りシートを作成して提出。	30分

第11回	エピソード記述を読む 障害児と向き合う	
	【予習】	0分
	【復習】授業で使ったプリント・資料・教科書を再読し整理する。振り返りシートを作成して提出。	30分
第12回	エピソード記述を読む 障害児と向き合う	
	【予習】	0分
	【復習】授業で使ったプリント・資料・教科書を再読し整理する。小レポート課題の提出。	30分
第13回	きもちの本を使った気持ちを知るワーク	
	【予習】	0分
	【復習】授業で使ったプリント・資料・教科書を再読し整理する。ロールプレイの準備作業をしておく。	30分
第14回	きもちの本を子どもに読み聞かせるロールプレイ グループ練習	
	【予習】	0分
	【復習】グループ練習をして仕上げておく。	30分
第15回	きもちの本を子どもに読み聞かせるロールプレイ グループ発表 質問紙とお話づくり	
	【予習】	0分
	【復習】期末課題レポートを仕上げて提出。	60分

授業科目名	教育相談			科目コード	C121-31				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 心理			担当教員名	嶋野 珠生				
実務経験									
開講時期	2年後期			授業の方法	演習				
必修・選択	選択			単位数	1単位				
前提科目(知識)	保育の心理学 子ども家庭支援の心理学 幼児理解			後継科目					
関連科目	子ども理解と援助 教育心理学								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	教育相談の意義と理論を学び、教育相談を進める際に必要な臨床心理学の基礎知識と技法を理解する。ロールプレイや事例検討などのグループワークを通して、教育相談の具体的な進め方や、組織的な取り組み、連携の方法を習得する。								
学習目標	1保育教育相談の意義と理論を理解する。 2教育相談を進める際に必要な基礎知識を理解する。 3教育相談の具体的な進め方やそのポイント、組織的な取り組みや連携の必要性を理解する。								
キーワード	教育相談 保護者支援 カウンセリングマインド 相談スキル 園内体制と連携 外部機関との連携								
テキスト・ 参考書等	教科書：杉崎雅子「スギ先生と学ぶ教育相談のきほん」萌文書林 参考書：大豆生田啓友「保護者支援の新ルール10の原則」メイト 鯨岡峻・鯨岡和子「エピソード記述で保育を描く」ミネルヴァ書房								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	〔知識・理解〕 教育相談の意義や方法、心理学的な基礎知識などを理解している。								
LO-2	〔技能〕 相談支援に必要な技術を身に付けている。								
LO-3	〔思考力・判断力・表現力〕								
LO-4	〔関心・意欲・態度〕 授業に対する関心・意欲があり、自ら学ぶ態度が見られる。								
LO-5	〔社会性・人間性〕								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			20			60	20		100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3			10			20			30
LO-4			10				10		20
LO-5							10		10
備考	その他 Aは、 毎授業最後に提出する振り返りシートの内容による評価。Bはグループ活動への積極的参加度、態度、スキルを評価。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 教育相談とは何か？	
	【予習】なし	0分
	【復習】教科書の該当箇所および配布されたプリントの重要点を自分なりにまとめる。	60分
第2回	保護者を理解する 保護者支援の10のルール	
	【予習】なし	0分
	【復習】教科書の該当箇所および配布されたプリントの重要点を自分なりにまとめる。	60分
第3回	保護者を理解する 目黒虐待死事件の母親の手記「結愛へ」を読む 課題レポート作成	
	【予習】事前配布プリントを読んでくる	30分
	【復習】レポート課題を仕上げる。	90分
第4回	相談にのるためのスキル 信頼関係を作るスキル	
	【予習】なし	0分
	【復習】教科書の該当箇所および配布されたプリントの重要点を自分なりにまとめる。	60分
第5回	相談にのるためのスキル 話を聴くスキル	
	【予習】なし	0分
	【復習】教科書の該当箇所および配布されたプリントの重要点を自分なりにまとめる。	60分
第6回	相談にのるためのスキル 肯定的に見方と伝え方	
	【予習】なし	0分
	【復習】教科書の該当箇所および配布されたプリントの重要点を自分なりにまとめる。	60分
第7回	相談にのるためのスキル 伝えるべき内容を的確に伝えるスキル	
	【予習】なし	0分
	【復習】教科書の該当箇所および配布されたプリントの重要点を自分なりにまとめる。	60分
第8回	相談にのるためのスキル 自分の考えを表明するスキル アサーショントレーニング	
	【予習】なし	0分
	【復習】教科書の該当箇所および配布されたプリントの重要点を自分なりにまとめる。	60分
第9回	相談にのるためのスキル 感情コントロールスキル	
	【予習】なし	0分
	【復習】教科書の該当箇所および配布されたプリントの重要点を自分なりにまとめる。	90分
第10回	ロールプレイと記録、評価 プロセスレコードの作成、振り返りと評価 記録の提出	
	【予習】なし	0分
	【復習】記録をまとめる	60分

第11回	園内教育相談体制 「エピソード記述で保育を描く」より園内研修会エピソードを読む	
	【予習】エピソード記述を読んでくる	30分
	【復習】教科書の該当箇所および配布されたプリントの重要点を自分なりにまとめる。	60分
第12回	外部機関との連携 野田市虐待死事件報告書を読む レポート課題	
	【予習】報告書レポートを読んでくる	60分
	【復習】 レポート課題の作成	90分
第13回	事例検討 不登園	
	【予習】事例を読んでくる	30分
	【復習】教科書の該当箇所および配布されたプリントの重要点を自分なりにまとめる。	60分
第14回	事例検討 虐待、ネグレクト、マルトリートメント	
	【予習】事例を読んでくる	30分
	【復習】教科書の該当箇所および配布されたプリントの重要点を自分なりにまとめる。	60分
第15回	事例検討 保幼小連携	
	【予習】事例を読んでくる	30分
	【復習】教科書の該当箇所および配布されたプリントの重要点を自分なりにまとめる。	60分

授業科目名	子どもの保健			科目コード	C123-10				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 保健		担当教員名	松居 紀久子					
実務経験	看護師として大学病院に15年勤務。介護支援専門員として福祉施設勤務。								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	子どもの健康と安全					
関連科目	保育の心理学 子どもの食と栄養								
資格等 取得との関連	保育士資格 幼稚園教諭2種免許								
授業の概要	子どもの健康と保健の意義を学び、健康に関する現状を統計に基づき課題を把握し、保育士として関係機関との連携方法を理解する。心身の発達や保健活動の実際と、保護者との関係について理解する。疾病の予防・対応を学び、心身の不調の早期発見や適切な具体的な対応を理解する。講義、意見交換から自ら考える学習を目指します。								
学習目標	子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解する。 子どもの心身的な発達・発達と保健について理解する。 子どもの健康状態とその把握の方法について理解する。								
キーワード	子どもの健康 保健活動 発達・発達 健康状態の観察 子どもの疾病								
テキスト・ 参考書等	テキスト：「授業で現場で役に立つ！子どもの保健テキスト」2018初版 診断と治療社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	(知識・理解)子どもの保健について理解し、試験で正しく答えられる。子どもの健康状態・対応を疾病等の根拠から説明できる。								
LO-2	(技能)子どもの健康状態の把握のための正確な技術を身につけている。								
LO-3	(思考力・判断力・表現力)専門職として子どもの健康を取り巻く状況を理解し、保健活動について考察・発表できる。								
LO-4	(関心・意欲・態度)最新の疾病・対応や保険制度の知見の把握に努め、意欲的に授業に参加し養護について学びを深める。								
LO-5	(人間性・社会性)子どもの生命を尊重し、愛情を持って関わり育むことができる。専門職として根拠と思いやりを持って養護できるように取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70	10	10			5	5		100
LO-1	30	10	10			5	5		60
LO-2	10								10
LO-3	10								10
LO-4	10								10
LO-5	10								10
備考	・定期試験：学習資料あり ・小テスト・レポート：随時単元により実施 ・その他A：授業態度 B：毎回のまとめ								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 保健活動の意義と目的	
	【予習】テキスト序文 - P 7を読む	30分
	【復習】 資料ファイルの作成 振り返り問題	60分
第2回	子どもの出生と母子保健の意義	
	【予習】テキスト P 14 ~ 1 8を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	120分
第3回	現代社会における子どもの健康に関する現状と課題	
	【予習】テキスト P 20 ~ 26を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	120分
第4回	子どもの身体発育と運動機能の発達	
	【予習】テキスト P 28 ~ 40を読む	0分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	0分
第5回	生理機能の発達と生活習慣	
	【予習】テキスト P 42 ~ 48を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	120分
第6回	地域における保健活動と子どもの虐待防止	
	【予習】テキスト P 51 ~ 57を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題 1 から 6 回の復習	120分
第7回	1 から 6 回の小テスト 子どもの健康状態の観察と体調不良時の把握	
	【予習】テキスト P 60 ~ 63を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	120分
第8回	子どもの免疫の発達と感染症の特徴	
	【予習】テキスト P 65 ~ 72を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	120分
第9回	感染症の予防および適切な対応	
	【予習】テキスト P 74 ~ 78を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題 感染症の課題作成、次回提出	120分
第10回	救急疾患の特徴と適切な対応	
	【予習】テキスト P 81 ~ 89を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	120分

第11回	新生児の病気、新生児期にわかる先天性の病気の特徴と対応	
	【予習】テキストP 91～96を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	120分
第12回	アレルギー疾患の特徴と適切な対応	
	【予習】テキストP 98～104を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	120分
第13回	慢性疾患の特徴と適切な対応	
	【予習】テキストP 106～116を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	120分
第14回	保護者との情報共有と家族の支援	
	【予習】テキストP 119～127を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題 期末試験対策課題	165分
第15回	子どもの健康診断と関連機関との連携	
	【予習】テキストP 129～136を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題 期末試験対策課題	165分

授業科目名	子どもの健康と安全			科目コード	C123-11				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 保健		担当教員名	松居 紀久子					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	子どもの保健		後継科目						
関連科目	子どもの家庭支援の心理学 子どもの食と栄養 乳児保育								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	保育環境や援助を保健的観点から、関係する各種ガイドライン等から、具体的に理解する。障害、感染症、アレルギー、事故、災害の最新の知見を学び、子どもの健康及び安全を守るための具体的な対応を実践的に身につける。保健指導を計画的に実践して、組織的体制づくりを理解する。小グループで課題達成に向け、事故の役割を理解し積極的に授業参加できるように展開する。								
学習目標	保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解する。 保育における衛生管理・事故防止及び安全対策・危機管理・災害対策、感染症対策について、具体的に理解する。 子どもの体調不良等に対する適切な対応について、具体的に理解する。 保育における保健的対応の基本的な考えを踏まえ、子どもの発達や状態等に即した適切な対応について、具体的に理解できる。 子どもの健康及び安全の管理に関わる、組織的取組や保健活動の計画及び評価等について、具体								
キーワード	安全な保育環境 事故災害防止 感染症対策 アレルギー対策 保健計画								
テキスト・ 参考書等	テキスト：子どもの健康と安全 学建書院 *前期の「子どもの保健」テキスト・資料の持参を適宜指示する								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	(知識・理解)子どもの健康と安全についてガイドライン等を理解し、試験で正しく答えられる。子どもの状況や対応を保健計画反映し保育士としての役割を理解・実践できる。								
LO-2	(技能)子どもの健康状態の把握、生命維持のための正確な技術を身につけている。								
LO-3	(思考力・判断力・表現力)専門職として各種ガイドラインを理解し、保健活動について考察・発表できる。								
LO-4	(関心・意欲・態度)最新の知見と現状分析の把握に努め、意欲的に授業に参加し安全確保について学びを深める。								
LO-5	(人間性・社会性)子どもの生命を尊重し、愛情を持って関わり育むことができる。専門職として他職種や関連機関と連携して養護できるように取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60				25	10	5		100
LO-1	20				5				25
LO-2	20				5	5	5		35
LO-3	10				5				15
LO-4	5				5	5			15
LO-5	5				5				10
備考	A：授業の取組、確かな技術の展開 B：普通救命 講習修了								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 子どもの健康と保育の環境	
	【予習】テキストを読む	15分
	【復習】・資料整理・テキスト復習	25分
第2回	個別対応と集団全体の健康	
	【予習】テキストを読む	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習	25分
第3回	衛生管理	
	【予習】テキストを読む	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習	25分
第4回	事故防止と安全対策	
	【予習】テキストを読む	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習	25分
第5回	災害の備えと危機管理	
	【予習】震災・災害関係の報道等の調査	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習	25分
第6回	体調不良や傷害時の対応	
	【予習】テキストを読む	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習	25分
第7回	救急処置および救急蘇生法	
	【予習】テキストを読む	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習	25分
第8回	感染症の予防と対応	
	【予習】テキストを読む	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習	25分
第9回	保育における保健的対応	
	【予習】テキストを読む	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習	25分
第10回	3歳未満児への適切な対応	
	【予習】テキストを読む	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習	25分

第11回	個別的な配慮を必要とする子どもへの対応	
	【予習】テキストを読む アレルギーについてエビベン動画を見ておく	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習	25分
第12回	障害のある子どもへの適切な対応	
	【予習】テキストを読む	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習	25分
第13回	職員間の連携・協働と組織的取組	
	【予習】テキストを読む	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習	25分
第14回	保育における保健計画及び評価	
	【予習】テキストを読む	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習 ・期末試験の学習課題	60分
第15回	子どもを中心とした家庭・専門機関・地域との連携 まとめ	
	【予習】テキストを読む	60分
	【復習】・資料整理・テキスト復習	60分

授業科目名	子どもの食と栄養			科目コード	C123-20				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 保健		担当教員名	深井 康子					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	子どもの食と栄養					
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	子どもを取り巻く食の現状と課題を理解し、子ども一人ひとりの心身の状態や発達過程を踏まえ、主に乳幼児期の食生活の意義について理解する。さらに栄養と食品に関する基本的知識を身につける。								
学習目標	子どもの食と栄養に関する基本的知識を習得する 乳幼児期の食事が果たす役割の大切さを理解する								
キーワード	子どもの食と栄養 発達過程 乳幼児 食生活の意義 栄養の基本的知識								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『改訂 子どもの食と栄養』 岡崎光子編著 光生館								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	保育の対象となる子どもの食と栄養に関する専門的な知識を習得し、子どもの育ちと乳幼児が育つ食環境を的確に把握し、社会のニーズに応じた食事に関わる実践力を備えている。								
LO-2									
LO-3									
LO-4	出席カードの質問、感想の内容など授業への積極的な授業態度がみられる。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	80					20			100
LO-1	80								80
LO-2									
LO-3									
LO-4						20			20
LO-5									
備考	その他：Aは、出席カードの質問、感想や授業態度などを総合して評価する。 前期末試験について誤答が多かった設問については模範解答を示して解説を行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	子どもの食と栄養の概要説明をし、子どもの健康と食生活の意義について解説する	
	【予習】テキストp.1～13を読んで要点を理解する	20分
	【復習】【演習課題】 p.13を解いて授業内容を整理し、最近の子どもを取り巻く現状について考えてみる	30分
第2回	栄養に関する基本的知識、炭水化物について解説する	
	【予習】テキストp.15～18を読んで要点を理解する	20分
	【復習】テキストとプリントにより要点を整理する	30分
第3回	脂質の種類と機能について解説する	
	【予習】テキストp.18～20を読んで要点を理解する	20分
	【復習】テキストとプリントにより要点を整理する	30分
第4回	たんぱく質の種類と機能について解説する	
	【予習】テキストp.20～21を読んで要点を理解する	20分
	【復習】テキストとプリントにより要点を整理する	30分
第5回	ビタミン、ミネラルと水分の機能について解説する	
	【予習】テキストp.21～24を読んで要点を理解する	20分
	【復習】テキストとプリントにより要点を整理する	30分
第6回	栄養素の消化と吸収について説明する	
	【予習】テキストp.24～26を読んで要点を理解する	20分
	【復習】テキストとプリントにより要点整理する	30分
第7回	日本人の食事摂取基準の意義とその活用、食事バランスガイドについて解説する	
	【予習】テキストp.26～29、p.186～202を読んで要点を理解する	20分
	【復習】テキストとプリントにより要点を整理する	30分
第8回	子どもの発育・発達と食生活について解説する	
	【予習】テキストp.33～41を読んで要点を理解する	20分
	【復習】【演習課題】 p.41を解いて授業内容を整理する	30分
第9回	妊娠・授乳期の食生活について解説する	
	【予習】テキストp.43～58を読んで要点を理解する	30分
	【復習】【演習課題】 p.58を解いて授業内容を整理する	30分
第10回	乳児期の食生活について解説する	
	【予習】テキストp.59～68を読んで要点を理解する	20分
	【復習】教科書とプリントにより要点を整理する	30分

第11回	離乳期の栄養について理解する	
	【予習】テキストp.77～93を読んで要点を理解する	30分
	【復習】【演習課題】 p.92を解いて授業内容を整理する	30分
第12回	幼児期の心身と食生活の特徴について解説する	
	【予習】テキストp.95～106を読んで要点を理解する	20分
	【復習】テキストとプリントにより要点を整理する	30分
第13回	幼児期の間食の意義と栄養上の問題について解説する	
	【予習】テキストp.107～117を読んで要点を理解する	30分
	【復習】【演習課題】 p.119を解いて授業内容を整理する	30分
第14回	学童期・思春期の食生活について解説する	
	【予習】テキストp.121～133を読んで要点を理解する	30分
	【復習】【演習課題】 p.133を解いて授業内容を整理する	30分
第15回	これまでの学習まとめと期末試験について解説する	
	【予習】テキストで期末試験範囲を読み、学習内容の問題点を考えておく	60分
	【復習】期末試験範囲の内容について十分理解し、ノートを整理する	120分

授業科目名	子どもの食と栄養			科目コード	C123-21				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 保健		担当教員名	大掛 恵美子					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	子どもの食と栄養		後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	保育士資格 幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	「子どもの食と栄養」で学んだ食と栄養に関する基本的知識に基づき、発育・発達時期の異なる食事や調理、食育の重要性、子どもの家庭における栄養指導について学ぶ。さらに食にかかわる保育実践や子ども集団全体の食事と栄養について理解を深め、柔軟に活用できる実践力を身につける。								
学習目標	子どもの食事活動を計画し、保育実践の場で活かせる指導力を育むこと。 調理の実習では身支度をしっかり整え、安全面や衛生面に気をつけて行うこと。 毎回のまとめとしてレポートを必ず提出すること。								
キーワード	発達・発育時期の食事 調理 食育 栄養								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『改訂 子どもの食と栄養』 岡崎光子編著 光生館								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	保育の対象となる子どもの食と栄養に関する専門的な知識を習得している								
LO-2	子どもの発達支援に必要な保育の表現技術を身につけており、家庭支援においてもその技術を応用できる								
LO-3	レポートから論理的な考察が見られ、自らを省察し、実践的に問題解決方法を見極めることができる								
LO-4	子どもの育ちと乳幼児が育つ食環境を的確に把握し、社会のニーズに応じた食事に関わる保育実践力を備えている								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60		30			10			100
LO-1	60								60
LO-2			15						15
LO-3			15						15
LO-4						10			10
LO-5									
備考	その他：Aは、授業時の積極性、質問や授業態度などを総合して評価する レポートにはコメントをつけて返却する								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業の全体概要について説明する 調理実習の実習心得と調理の基本について解説する 育児用粉乳の調乳・授乳方法を実際に体験する	
	【予習】テキストの「献立作成と調理の基本」p.28～31、「人工栄養」p.69～77を読んで要点を理解する	15分
	【復習】テキストを参考にして配布プリントの考察などを仕上げる	30分
第2回	離乳食の実習(1) 離乳時期(離乳形態)の異なるベビーフードを味わい、物性や栄養成分の違いから特徴を比較する	
	【予習】テキストの「ベビーフード」p.90～92を読んで要点を理解する	15分
	【復習】テキストとプリントにより要点を整理する	30分
第3回	離乳食の実習(2) 離乳食を調理し、調理方法、量や味付けなど特徴を学ぶ	
	【予習】テキストの「離乳食の栄養」p.77～90を読んで要点を理解する	15分
	【復習】テキストを参考にして配布プリントの考察などを仕上げる	30分
第4回	幼児期の実習(1) 幼児期の昼食を調理、盛付をし、量や工夫等について学ぶ	
	【予習】テキストの「幼児期の食生活」p.97～106を読んで要点を理解する	15分
	【復習】テキストを参考にして配布プリントの考察などを仕上げる	30分
第5回	保育実習を終えてブレインストーミングの手法を用いて「乳幼児の食」についてグループで意見を出し合い、討議する	
	【予習】2週間の保育実習を終えて「乳幼児の食」について体験したことを書き出してみる	15分
	【復習】テキストを参考にして配布プリントの考察などを仕上げる	30分
第6回	幼児期の実習(2) 子どもと一緒に楽しむ間食(おやつ)、食物アレルギー対応のおやつを実習する	
	【予習】テキストの「間食の意義とその実践」p.107～110,164～167を読んで要点を理解する	15分
	【復習】配布プリントの各項目をテキストを参考に仕上げる	30分
第7回	食育基本法と第3次食育推進基本計画の概要を解説し、保育所・幼稚園・学校における食育の目的、内容を考えてみる	
	【予習】テキストの「食育の基本と内容」p.135～142を読んで要点を理解する	15分
	【復習】学習内容を理解してまとめ、ノートに整理する	30分
第8回	食育のための環境づくり、食を通じた保護者への支援について解説する	
	【予習】テキストp.142～148を読んで要点を理解する	15分
	【復習】【演習課題】p.148を解いて授業内容を整理する	30分
第9回	食育媒体(食育カルタなど)を各班で作成する	
	【予習】図工セットを持参する	15分
	【復習】富山県内市町村の保育所における食育の取組について調べてみる	20分
第10回	家庭や児童福祉施設における食事と栄養について説明し、そのなかで保育士の果たす役割について考える 食中毒について解説する	
	【予習】テキストの「児童福祉施設における食生活」p.149～155、「食中毒」p.156を読んで要点を理解する	15分
	【復習】【演習課題】p.156を解いて授業内容を整理する	30分

第11回	正月料理の起こりや材料の繰起について解説し、正月料理を実習する	
	【予習】我が家の正月料理や雑煮について家族に聞いておく。	15分
	【復習】正月料理を実際に作ってみる	30分
第12回	妊娠期の食事を実習し、各期の特徴を理解する	
	【予習】テキストの「妊娠期の食生活」p.46～53を読んで要点を理解する	15分
	【復習】配布プリントの妊娠期の栄養と食生活における留意点についてテキストを参考に仕上げる	30分
第13回	子どもの疾病と障がいのある子どもの食生活について解説する	
	【予習】テキストの「子どもの疾病と食生活」p.159～176、「障がいのある子どもの食生活」p.177～179を読んで要点を理解する	15分
	【復習】【演習課題】p.175とp.179を解いて授業内容を整理する	30分
第14回	富山の郷土料理を実習し、地域の伝統食を知る。	
	【予習】富山の郷土料理にはどのような料理があるか調べてみる	15分
	【復習】家庭で実際に郷土料理を作り、その他の伝統食について調べる	30分
第15回	郷土料理や和食の特徴について最近の情報から解説する これまでの学習まとめと期末試験について解説する	
	【予習】学習してきた内容について振り返り、問題点を考えておく	15分
	【復習】期末試験範囲の内容について十分理解し、ノートを整理する	40分

授業科目名	子どもの理解と援助			科目コード	C125-10				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 家庭支援		担当教員名	嶋野 珠生					
実務経験									
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	保育の心理学 子ども家庭支援の心理学		後継科目	教育相談					
関連科目	幼児理解 教育心理学								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	子ども理解に基づく援助の意義について、発達の観点、環境と学びの観点、および保育者の基本的姿勢の観点から理解する。また、子ども理解の方法として、観察、記録、家庭連携、保育者同士の情報共有の視点を学習し、理解を深める。理解に基づく具体的援助については、さまざまな場面の事例をグループで多角的に検討することを通してその基本を学ぶ。								
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育実践において、実態に応じた子ども一人一人の心身の発達や学びを把握することの意義を理解する。 2. 子どもの体験や学びの過程において、子どもを理解する上での基本的な考え方を理解する。 3. 子どもを理解するための具体的な方法を理解する。 4. 子どもの理解に基づく保育士の援助や態度の基本について理解する。 								
キーワード	子ども理解 発達の観点 環境と学びの観点 観察 記録								
テキスト・ 参考書等	教科書：高嶋景子、砂上史子編著（2019）「子ども理解と援助」 ミネルヴァ書房 参考書：汐見稔幸監修「保育所保育指針ハンドブック」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	〔知識・理解〕 子ども理解に基づく援助の意義や観察・記録・情報共有等の子ども理解の方法を理解している。								
LO-2	〔技能〕 子ども理解に基づく援助に必要な技術を身に付けている。								
LO-3	〔思考力・判断力・表現力〕子どもの遊びや生活場面など実践的事例から、子ども理解に基づく具体的援助を考えることができる。								
LO-4	〔関心・意欲・態度〕授業に対して関心、意欲を持ち、主体的に学ぶ姿勢を持つ。								
LO-5	〔社会性・人間性〕								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			20			60	20		100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3			20			10			30
LO-4						10	10		20
LO-5							10		10
備考	その他 Aは、毎授業の最後に提出する小レポートから評価する。 Bはレポート発表、グループ発表の態度、スキルから評価する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 子ども理解の意義について 最初の質問最後の質問	
	【予習】シラバスを見て授業内容を確認	15分
	【復習】添付のスライドを見直して、授業を振り返り、振り返りシートを完成させてWebシラバス添付で提出する。 エピソード3については、時間がなく解説できなかったので、教科書PP.12-13を読んでおいてください。	30分
第2回	子ども理解の意義と原理 環境を通しての教育と子どもの理解 2-3第2回授業に参加する 【予習】2-3パスワード: Rikai2-3-2 2-4パスワード: Rikai2-4-2	15分
	該当する教科書ページpp21-38を読む 【復習】今日の課題 課題1: 第2回課題レポートを完成させて提出課題4にアップロードする。 提出期限: 3組 5月12日(火)19時まで	30分
	子ども理解の意義と原理 子どもを理解するための発達の観点	
第3回	2-3第3回授業に参加する 【予習】2-3パスワード: Rikai2-3-3 2-4パスワード: Rikai2-4-3	15分
	事前学習: 教科書pp.39-53「第3章 子ども理解における発達の観点」を読んでおく。 【復習】今日の課題 課題1: 第3回授業振り返りシートをダウンロードしてWordで作成し、課題提出4にアップロードする。	30分
	子ども理解の意義と原理 子どもを理解するための保育者の姿勢 7 Rules	
第4回	2-3第4回授業に参加する 【予習】2-3パスワード: Rikai2-3-4 2-4パスワード: Rikai2-4-4	15分
	事前学習: 該当する教科書ページ第4章pp.57-69を読んでおく。 【復習】今日の課題 課題1: 第4回授業振り返りシートに回答する。 提出期限: 2-3 5月25日19時まで 2-4 5月26日19時まで	30分
	子ども理解の方法 観察を通しての理解	
第5回	【予習】該当する教科書ページpp.75-81を読んでおく。	15分
	【復習】今日の課題 シラバスのアンケートに回答する。	30分
	子ども観察を通した理解 3歳児事例から考える	
第6回	【予習】該当する教科書ページ115-118を読んでおく。	15分
	【復習】授業での配布物や活動の振り返り	30分
	子ども観察を通した理解 4.5歳児事例から考える	
第7回	【予習】該当する教科書ページを読む	15分
	【復習】授業での配布物や活動の振り返り	30分
	子ども理解の方法 記録を通して理解する	
第8回	【予習】該当する教科書ページを読む	15分
	【復習】授業での配布物や活動の振り返り	30分
	子ども理解の方法 保育者同士の情報共有、保育カンファレンスを通して理解する	
第9回	【予習】該当する教科書ページを読む	15分
	【復習】授業での配布物や活動の振り返り	30分
	子ども理解に基づく援助 生活場面事例から考える	
第10回	【予習】該当する教科書ページを読む	15分
	【復習】授業での配布物や活動の振り返り	30分

第11回	子ども理解に基づく援助 個と集団の育ちを事例から考える	
	【予習】該当する教科書ページを読む	15分
	【復習】授業での配布物や活動の振り返り	30分
第12回	子ども理解に基づく援助 いざこざ場面事例から考える	
	【予習】該当する教科書ページを読む	15分
	【復習】授業での配布物や活動の振り返り	30分
第13回	子ども理解の方法 家庭との連携を通じた理解	
	【予習】該当する教科書ページを読む	15分
	【復習】授業での配布物や活動の振り返り	30分
第14回	保護者理解と援助の基本を考える	
	【予習】該当する教科書ページを読む	15分
	【復習】授業での配布物や活動の振り返り	30分
第15回	子ども理解を深める保育者の専門性とは何かを考える NHKプロフェッショナル 保育士 野島千恵子を視聴	
	【予習】該当する教科書ページを読む	15分
	【復習】授業での配布物や活動の振り返り	30分

授業科目名	教育課程論			科目コード	C131-10				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育方法	担当教員名	石動 瑞代						
実務経験									
開講時期	1年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	必修	単位数	2単位						
前提科目(知識)	なし	後継科目	教育方法論						
関連科目	保育原理 教育原理 保育内容総論								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	カリキュラムの基礎理論を知り、計画・評価の意義や保育の過程の循環が保育の質向上を図ることを理解する。また、保育における計画の構造を知り、全体計画と指導計画及びその他の計画をマネジメントする力を身に付ける。								
学習目標	教育課程の役割・機能・意義を理解する。 教育課程編成の基本原則及び保育実践に即した計画の編成方法を理解する。 園全体の計画を総合的にマネジメントする意義と方法を理解する。								
キーワード	カリキュラム 指導計画 PDCA 質の向上 カリキュラム・マネジメント								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『未定』 『保育所保育指針解説書』 厚生労働省編（フレール館）、『幼稚園教育要領解説』 文部科学省（フレール館）『幼								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 幼稚園教育要領等の性格や教育課程編成の目的、社会的役割、機能を理解し、筆記試験で正しく回答することができる。また、カリキュラムの基本原則についての確に述べることができる。								
LO-2	【技能】 指導計画の作成手順をふまえて、ねらいと内容を設定することができる。子ども理解につながる保育記録作成に努める。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 一連の保育の過程と関連づけながら指導計画を評価し、改善案を考えることができる。カリキュラム評価の基礎的な考え方ができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 教育課程が、地域社会や家庭・園環境と密接な関連があることを理解し、マネジメントの重要性について述べることができる。								
LO-5	【社会性・人間性】 保育事例等の討議に積極的に参加する。自らの意見を他者に表明するとともに、他者の意見を受容し、自らの意見に反映させることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50	20	20			10			100
LO-1	30	10							40
LO-2			10						10
LO-3	10	5	10						25
LO-4	10	5							15
LO-5						10			10
備考	その他Aは受講態度（グループ参加態度含む）とする。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	カリキュラムの意義について 保育所保育指針及び幼稚園教育要領における「カリキュラム」の位置づけ	
	【予習】保育所保育指針、幼稚園教育要領で「カリキュラム」に関する記述部分を読んでおく。	30分
	【復習】講義内容をノートをまとめる。 要領、指針等の重要語句を覚える。	60分
第2回	教育に関するカリキュラムの種類<教育課程、全体的な計画、指導計画（長期・短期）>とその内容	
	【予習】教科書の該当部分を読む	40分
	【復習】カリキュラムの種類とそれぞれの特徴について、整理してまとめる。 教科書の演習課題をまとめる。 指針等の重要語句を覚える。	80分
第3回	教育課程編成の基本原理	
	【予習】演習課題をまとめる。	40分
	【復習】教科書該当部分を読む。 小テストの出題範囲を確認し、十分に学習する。	240分
第4回	発達過程とカリキュラム - 発達の姿をとらえる視点 小テスト実施	
	【予習】教科書該当部分を読んでおく。	40分
	【復習】小テストの出題内容を再確認する。 参考資料（発達過程表及び平成11年版保育所保育指針のねらい）をよく読む。	120分
第5回	保育の過程（計画、実践、省察・評価、改善）について 保育の評価について 記録の重要性	
	【予習】教科書該当部分を読む。	30分
	【復習】演習内容をまとめる。 講義内容をノートにまとめる。	90分
第6回	保育の評価について 省察と改善	
	【予習】これまでの実習日誌を読み、自分の記録の課題についてまとめてくる。 これまでの実習日誌から、1日分を選び、再考察を記述する。	120分
	【復習】講義内容をノートにまとめる。 課題プリント(エピソード理解)を仕上げる。	120分
第7回	指導計画の作成と展開 縦断的な視点をもつ	
	【予習】課題プリント(エピソード理解)を仕上げる	120分
	【復習】教科書該当部分を読み、演習課題を仕上げる。	120分
第8回	指導計画の作成と展開 年間指導計画～月間指導計画へ 月間指導計画～週案へ	
	【予習】教科書第4章 74～107までを読む、。	30分
	【復習】教科書の演習課題及び配付された課題プリントを仕上げる。	60分
第9回	指導計画の作成と展開 日案から週案へ 週案から日案へ	
	【予習】教科書該当部分を読む	30分
	【復習】教科書及び講義中の資料について、日案と週案との関連をマーク付けする。 講義内容をノートにまとめる。	90分
第10回	指導計画の作成と展開 多様な指導計画の実際(異年齢、プロジェクト等)と園活動の評価 小テスト実施	
	【予習】配布プリントを読んでおく。 小テストの内容を十分に学習する。	40分
	【復習】課題プリントを仕上げる。	120分

	カリキュラム・マネジメントの実際	
第11回	【予習】配布プリントを読んでおく。	240分
	【復習】講義内容をノートにまとめる。 課題プリントを仕上げる。	120分
	小学校との連携 - 生活と発達の連続性をふまえた計画	
第12回	【予習】保育所保育指針・幼稚園教育要領で、「小学校の連携」に関する記述を読む。	30分
	【復習】講義内容をノートにまとめる。 課題プリントを仕上げる。	80分
	指導計画の作成と展開 実習指導計画の作成 部分・一日	
第13回	【予習】実習指導計画案を作成する。	40分
	【復習】実習指導計画を完成する。	80分
	指導計画の作成と展開 指導計画にもとづく模擬保育実践とふりかえり	
第14回	【予習】配布プリントを読んでおく。 実践に必要な準備を整える	120分
	【復習】課題プリントを仕上げる。 自らの指導計画を再構成する。	100分
	これまでの学習のまとめ 作成した実習指導計画が、他の様々な計画とどのような関連を持つか考える。	
第15回	【予習】配布プリントを十分に読んでおく。	40分
	【復習】カリキュラムマネジメントの意義や重要性についてレポートを書く。	240分

授業科目名	教育方法論			科目コード	C131-20				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育方法		担当教員名	高木 三郎					
実務経験									
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	教育原理		後継科目	なし					
関連科目	保育課程論、保育内容総論								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭 2 種免許、保育士資格								
授業の概要	幼児期にふさわしい教育の方法について、遊び活動、生活活動、課題活動、行事活動に分けて、事例を取り上げて理解を深める。また、小学校の教育との接続についても考える。								
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 保育の在り方、環境構成、援助の在り方を理解する。 2 保育所・幼稚園・小学校の教育方法の在り方について特徴を理解する。 3 自分の教育方法を改善していく営みを理解する。 								
キーワード	幼稚園教育要領、保育所保育士指針、小学校学習指導要領、								
テキスト・ 参考書等	テキスト：テキストは使用しない。 参考書：「幼稚園教育要領解説」文部科学省、「保育所保育指針」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	個々の幼児が成長の喜びと充実感をもって経験していけるような保育の方法について考えることができる。また、小学校の教育との接続についても考えることができる。								
LO-2	該当しない								
LO-3	現代の保育所・幼稚園・小学校の教育方法の課題について、その背景などについて多角的に把握し、学びを深めることができる。								
LO-4	「よりよい教育（保育）方法」に関する自己の学習課題を明確にし、課題解明のために継続的に学習に取り組み、保育実践力の向上に努める。								
LO-5	該当しない								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			50	20		30			100
LO-1			30						30
LO-2				20					20
LO-3						30			30
LO-4			20						20
LO-5									
備考	その他 A は平常点（出席及び受講態度等） 提出をを求めるレポートについては、コメントをつけて返却する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 授業の目的、評価などについて 幼児期にふさわしい教育の方法とは	
	【予習】シラバスを読み、授業内容を把握する。	90分
	【復習】授業の全体像を確認する。 幼児期にふさわしい教育方法の基本を整理する。	90分
第2回	遊び活動の指導方法	
	【予習】幼稚園教育要領・保育所保育指針における「総則」部分での遊びに関する記述を調べる。	90分
	【復習】遊びのなかではくまれる学びを整理する。	90分
第3回	生活活動の指導方法	
	【予習】保育実習や教育実習で見られた生活活動を整理する。	90分
	【復習】生活活動の指導方法について整理する	90分
第4回	課題活動の指導方法	
	【予習】保育実習や教育実習で見られた課題活動を整理する。	90分
	【復習】課題活動の指導方法を整理する	90分
第5回	遊具や用具の活用法	
	【予習】保育実践に必要な遊具や用具について考える	90分
	【復習】遊具や用具の活用法について整理する	90分
第6回	行事活動の指導方法	
	【予習】保育所・幼稚園で行う行事活動についてまとめる。	90分
	【復習】行事活動の指導方法を整理する	90分
第7回	幼小接続の考え方と指導方法 幼稚園教育において育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を理解する。	
	【予習】幼稚園教育要領の該当部分を確認しておく	90分
	【復習】幼小接続の考え方と指導方法を整理する	90分
第8回	幼児教育におけるICTの活用を考える。 ドキュメンテーションの意義と作成方法を理解する。	
	【予習】幼稚園教育要領における関係部分を確認しておく。	90分
	【復習】ドキュメンテーションの意義と作成ポイントをまとめておく。	90分

授業科目名	保育内容総論			科目コード	C133-10				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容		担当教員名	梅本 恵					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	保育内容（健康、言葉、音楽表現、造形表現）指導法					
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	保育内容が、乳幼児の遊びや生活として総合的に展開される過程を乳幼児の姿と関連付けながら学び、環境を構成し実践するために必要な知識を修得する。特に、乳幼児が遊びの中でどのような経験をしているのかを5領域のねらい及び内容とのつながりの中でとらえ、乳幼児が遊びを通して育つことを理解する。								
学習目標	保育・幼児教育の基本を踏まえた保育所・幼稚園・こども園における指導の考え方を理解する。 保育・幼児教育における指導計画の考え方を理解し、乳幼児の発達過程を見通した指導計画作成を理解する。 乳幼児の興味や関心、発達の状況や背景に応じた具体的な指導のあり方を理解する。								
キーワード	遊び 環境構成 ねらいと内容 養護と教育 指導計画								
テキスト・ 参考書等	参考書：『保育所保育指針解説書』厚生労働省編 フレーベル館 『幼稚園教育要領解説』文部科学省 フレーベル館								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の全体構造を理解し、保育のねらい及び内容について基礎的な知識を身につけている。								
LO-2	【技能】保育内容を総合的に展開するために必要な環境構成に関する基本的な技術を身につけている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】保育・幼児教育の基本を踏まえた遊びや生活の指導の仕方を理解理解している。								
LO-4	【関心・意欲・態度】配布プリントや資料を基に、問題意識を広げながら学習を深めることができる。								
LO-5	【人間性・社会性】グループワークなどに積極的に参加し、他者との協働を図ることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		20	20		10			100
LO-1	30								30
LO-2				20					20
LO-3	10		20						30
LO-4	10								10
LO-5						10			10
備考	その他A：グループワークへの取り組み姿勢 授業で配布されたプリント、資料などを活用し、ノートを作成すること。 提出課題に対しては、口頭及び紙面にてコメントを行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（授業のねらい、方法、評価等についての説明）	
	【予習】シラバスを読み、授業内容を把握する。	0分
	【復習】授業の全体像を確認する。	20分
第2回	「遊び」からとらえられる保育内容（1） 実際の遊びを体験する（グループワーク）。	
	【予習】	0分
	【復習】遊びの展開をワークシートにまとめる。	90分
第3回	「遊び」からとらえられる保育内容（2） 遊びを通して乳幼児が経験することを5領域から考察する。	
	【予習】	0分
	【復習】ワークシートを完成させる。	60分
第4回	保育における環境構成（1） 写真から、乳幼児がどのように環境に関わり生活しているのかを読み取り理解する。	
	【予習】『指針』『要領』『教育・保育要領』の「環境を通じた保育」について述べている部分を探し、読む。	45分
	【復習】授業で配布された資料を整理し、ノートにまとめる。	45分
第5回	保育における環境構成（2） 乳幼児が豊かな経験ができる遊びの環境について考察する。	
	【予習】子どもの遊んでいる姿をとらえた写真を文献から探す。	45分
	【復習】授業で配布された資料を整理し、ノートにまとめる。	45分
第6回	保育における5領域のねらい及び内容の関連性 5領域が関連しあった遊びを通して乳幼児が総合的に育つことを理解する。	
	【予習】『指針』『要領』『教育・保育要領』の「保育の内容」の章を読む。	45分
	【復習】授業で配布された資料を整理し、ノートにまとめる。	45分
第7回	保育・幼児教育の基本と保育内容 『指針』『要領』『教育・保育要領』に基づく保育の基本を理解する。	
	【予習】『指針』『要領』『教育・保育要領』の「総則」を読む。	45分
	【復習】授業で配布された資料を整理し、ノートにまとめる。	90分
第8回	養護と教育の一体的展開 事例を通して、養護と教育が一体的に展開する過程を理解する。	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布された資料を整理し、ノートにまとめる。	45分
第9回	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と活動のつながり（1） 保育・幼児教育と小学校教育の違いについて学ぶ。	
	【予習】『指針』『要領』『教育・保育要領』の「小学校との連携」に関する部分を読む。	45分
	【復習】授業で配布された資料を整理し、ノートにまとめる。	45分
第10回	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と活動のつながり（2） 模擬保育を行い、「育ってほしい姿」を視点に振り返る。	
	【予習】模擬保育の準備をする。	45分
	【復習】振り返りシートを完成させる。	45分

第11回	保育・幼児教育における保育課程・指導計画 実際の保育課程・指導計画を基に、指導法について学ぶ。	
	【予習】配布された保育課程・指導計画を読む。	45分
	【復習】授業で配布された資料を整理し、ノートにまとめる。	45分
第12回	行事に向けての長期指導計画・短期指導計画 写真・DVDから、行事のあり方と指導方法について考察する。	
	【予習】配布された教育課程・指導計画を読む。	30分
	【復習】授業で配布された資料を整理し、ノートにまとめる。	45分
第13回	行事（運動会）に向けての指導案の作成 乳幼児の姿の把握、目標、保育内容、保育者の役割、評価について学ぶ。	
	【予習】行事に向けた長期指導計画を読む。	30分
	【復習】行事に向けた指導案を完成させる。	60分
第14回	模擬保育と振り返り 指導案を基に、ねらい及び内容に沿って指導することを学ぶ。	
	【予習】模擬保育の準備をする。	60分
	【復習】模擬保育の振り返りを行い、指導案に記入する。	45分
第15回	保育における記録の意義と実際 ドキュメンテーションを作成する。	
	【予習】ドキュメンテーションに用いる写真を準備する。	45分
	【復習】授業で配布された資料を整理し、ノートにまとめる。	45分

授業科目名	子どもと健康			科目コード	C133-20				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容	担当教員名	大森 宏一						
実務経験									
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	保育内容総論 子どもの運動 体育講義 生涯スポーツ	後継科目	保育内容(健康)指導法						
関連科目	保育課程論								
資格等 取得との関連	保育士資格、幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	領域「健康」のねらいと内容について理解するとともに、子どもの健康な心身の発達と自ら健康で安全な生活を営む力を身につけていくための保育者の役割の基礎を学びます。								
学習目標	乳幼児の心と身体の育ちに関する基礎知識と現状について理解する。乳幼児にとっての運動遊びの意義をとらえる。子どもが自ら健康な生活習慣を形成していくための援助や指導法について学習する。集団援助の方法を学び実践できるようにする。運動遊びのレパートリーを増やし、さまざまなプログラムを指導できるようになる。運動遊びの楽しさを理解できるようになる。								
キーワード	健康 食育 運動発達 運動遊び 基本的な生活習慣 安全 保育者の援助								
テキスト・ 参考書等	テキスト：保育者を目指すあなたへ 子どもと健康 みらい 参考書：倉、大森編者「子どもが育つ運動遊び」みらい 保育所保育指針、幼稚園教育要領								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育所保育指針及び幼稚園教育要領に示された領域「健康」のねらい・内容について理解している。幼児期の運動遊びの大切さを理解し説明できる。								
LO-2	【技能】乳幼児の心と体の健やかな育ちに必要な保育を構想し、展開する技術を身につけている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】保育における現代的な課題(体力の2極化など)を「健康」の関連からとらえ、論理的に考察することができる。模擬保育や実習時の事例の振り返りから実践的な問題解決方法を検討し、学びを深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】子どもの健康と子どもが育つ環境を的確に把握し、社会のニーズに応じた保育実践力の向上に努めることができる。自分自身の健康に対して高い関心を持つことができさらに向上させようとしている。								
LO-5	【社会性・人間性】ディスカッションやグループ活動に積極的に参加し、他者との協働を図ることができる。子どもへの愛情をもって安心安全を前提とした指導計画を企画・立案し仲間と共同して運営することができる。								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		30	50		20				100
LO-1		30	20						50
LO-2					20				20
LO-3			20						20
LO-4			5						5
LO-5			5						5
備考	講義の内容はレポートと毎回の学びの記述で評価する。 課題提出はノート提出と内容によって評価する。 成果発表の中には、遊びの技能テストによる評価を行う。 LO-4 5点 と LO-5 5点 は								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション(授業のねらい、計画、評価、模擬保育等についての説明)、 1回目 4組 1回目 3組	
	【予習】シラバスを読み、授業の概要を確認する。 4組 3時間目 パスワード: ken2-4-1 (kは小文字です) 3組 4時間目 パスワード: ken2-3-1 (kは小文字です)	15分
	【復習】模擬保育についてグループのメンバーを確認するとともにメンバーとの共同作業の時間を確認する。	30分
第2回	再設定 5月8日 4限 3組さん 健康とはなにかをWHOの定義やウエルネス、SDGSなどの観点をもとに考える	
	【予習】テキスト第1章、保育所保育指針第3章、幼稚園教育要領第2章を読む。 3時間目 4組 パスワード: Ken2-4-2 Kは大文字です 4時間目 3組 パスワード: Ken2-3-2 Kは大文字です	15分
	【復習】様々な健康についての定義を考え自分なりの健康観を考える。領域「健康」はどのような保育内容を含んでいる領域なのか、具体的に考える。手指の発達について、動的トリポッド把握に至るまでの手の遊びをまとめておく	30分
第3回	再設定 しました 3組さん 5月15日 第3回目 4時間目 3組 5月15日 第3回目 3時間目 4組	
	【予習】子どもの発育発達について復習しておくこと 3時間目 4組 パスワード: Ken2-4-3 Kは大文字です 4時間目 3組 パスワード: Ken2-3-3 Kは大文字です	15分
	【復習】からだの健康について、整理する。発育発達についてまとめ年齢に応じた運動遊びのプログラムを考える。機能快について、ノートに記述しておくこと。	30分
第4回	3時間目 4組の学生へ 3限 再設定	
	【予習】テキスト第5章を読む。 4組の学生へ 再設定 パスワード 178955	15分
	【復習】運動遊び 体育 スポーツについて整理しておくこと キャッチボールができるまでの運動遊びについてまとめること あやとりの遊び方をノートに記述すること	30分
第5回	子どもと健康 5月29日(金) 3限-4組 4限-3組 クラス別ですが、同一リンクです。	
	【予習】テキスト第11章を読む パスワード : Ken (Kは大文字 3組4組もパスワードは同じです 時間は: 3限は4組 4限は3組です)	15分
	【復習】食育の意義と大切さについて整理しておく。	30分
第6回	子どもの事故防止と安全管理 指導計画の作成と提出(運動遊び) 上肢の運動、手首の回内回外運動、リズム運動を行います	
	【予習】テキスト第6・14章を読む。 制作にあたって必要な道具をそろえること。また運動できる服装のこと。シューズは不要です。	15分
	【復習】リスクとハザードについて整理しておく。 本日の内容をノートに記述しておくこと	30分
第7回	具体的な保育内容について(保育活動)と小テスト	
	【予習】第6回までの内容を整理しておく。運動遊びを種類ごとにノートに整理しておく。	30分
	【復習】さまざまな運動遊びを整理しておく	15分
第8回	運動能力を高める具体的な保育内容について 幼児期運動指針について	
	【予習】テキスト第9章を読む	15分
	【復習】幼児期運動指針を理解する。リズム運動遊びの企画立案を行う。	30分
第9回	具体的な保育内容について(3歳以上児の運動遊び)とリズム運動遊びについて	
	【予習】参考書 「子どもが育つ運動遊び」の実技編を読む	15分
	【復習】移動・バランス・操作系の遊びの視点からリズム運動遊びの企画と運営について考える。	30分
第10回	具体的な保育内容について(3歳以上児の運動遊び)とリズム運動遊びの実際と具体的指導法	
	【予習】リズム運動遊びを実際に行う。遊びのねらいとたのしさを整理しておく。	15分
	【復習】リズム遊びについて実際に行った反省から遊びを再構築する。	30分

第11回	運動遊びの実際と保育者の役割についておよび集団援助の方法について	
	【予習】参考書 「子どもが育つ運動遊び」の実技編を読む	15分
	【復習】集団援助の方法をまとめておく	30分
第12回	運動あそびの実際と保育者の役割 模擬保育	
	【予習】運動遊びの企画、立案、実践、省察、の流れを確認する。役割、準備を行う	15分
	【復習】模擬保育の実践から省察をする。(レポート課題)	30分
第13回	運動あそびの実際と保育者の役割 模擬保育	
	【予習】運動遊びの企画、立案、実践、省察、の流れを確認する。役割、準備を行う	15分
	【復習】模擬保育の実践から省察をする。(レポート課題)	30分
第14回	運動あそびの実際と保育者の役割 模擬保育	
	【予習】運動遊びの企画、立案、実践、省察、の流れを確認する。役割、準備を行う	15分
	【復習】模擬保育の実践から省察をする。(レポート課題)	30分
第15回	まとめ	
	【予習】前期の授業を振り返り、「健康」と保育者の役割についてまとめる。	15分
	【復習】模擬保育の実践、リズム運動遊びについてその意義と学びを整理しておく。	30分

授業科目名	保育内容（健康）指導法			科目コード	C133-21				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容	担当教員名	大森 宏一						
実務経験									
開講時期	2年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	保育内容総論 子どもと健康	後継科目	なし						
関連科目	保育課程論、保育内容総論								
資格等 取得との関連	保育士資格、幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	乳幼児期の子どもの「健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力」および、「遊びや生活を通して育む保育のあり方」について考えます。運動遊びの模擬保育を実践したり、幼児の生活習慣の形成に役立つ教材について研究するなど、具体的な場面を設定しながら必要な環境の構成や援助等の学びを深めたい。伝承遊びの方法などを演習する。								
学習目標	現代の子どもを取り巻く生活環境の実態や乳幼児期の子どもの発達過程を理解し、それをふまえた運動遊びの指導や生活習慣形成のための環境構成や援助の方法などの実践力を身に付けます。また運動会の企画・立案・運営を通して保育の実践力を身に付けます。さらに伝承遊びの実技ができるようになる。								
キーワード	健康 食育 運動発達 運動遊び 基本的な生活習慣 安全 保育者の援助								
テキスト・ 参考書等	テキスト：近藤幹生監修徳安敦編著 「生活事例からはじめる保育内容健康」青踏社 参考書：倉、大森編者「子どもが育つ運動遊び」みらい 保育所保育指針、幼稚園教育要領								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 幼児期の運動遊びの大切さ運動会の在り方を理解し自分なりの運動遊びの考えを伝えることができる。								
LO-2	【技能】 乳幼児の心と体の健やかな育ちに必要な保育を構想し、展開する技術を身につけている。伝承遊びについて実技を行うことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 保育における現代的な課題(体力の2極化など)を「健康」の関連からとらえ、論理的に考察することができる。運動会の実践や模擬保育などの実践的な問題解決方法を検討し、学びを深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 子どもの健康と子どもが育つ環境を的確に把握し、社会のニーズに応じた保育実践力の向上に努めることができる。自分自身の健康に対して高い関心を持つことができさらに向上させようとしている。								
LO-5	【社会性・人間性】 ディスカッションやグループ活動に積極的に参加し、他者との協働を図ることができる。子どもへの愛情をもって安心安全を前提とした指導計画を企画・立案し仲間と共同して運営することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		30	10		30	30			100
LO-1		20							20
LO-2			10		20				30
LO-3		10			10				20
LO-4						10			10
LO-5						20			20
備考	模擬保育の終了時に反省会を行い発表した学生へ口頭でのコメントを行う。ミニツペーパーでの内容について授業中にコメントを行う。 その他：A LO-4 ミニツペーパーによる関心度から考慮する。LO-5 授業態度(グループへの関与)と 企画・立案・運営への参加度とする。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション(授業のねらい、計画、評価、運動会等についての説明)、	
	【予習】シラバスを読み、授業の概要を確認する。	15分
	【復習】運動会の役割について確認しておく。	30分
第2回	運動遊び・伝承遊び・運動会の実践と保育者の役割(1)	
	【予習】さまざまな鬼ごっこについて調べておく。伝承遊びの技を調べておく。	15分
	【復習】鬼ごっこの進め方と方法を整理しておく。伝承遊びの技を反復練習しできるようになる。運動会の企画を行う。	30分
第3回	投運動について・伝承遊び・運動会の実践と保育者の役割(2)	
	【予習】子どもの運動機能の発達について調べておく(投運動)。伝承遊びの反復練習をする。	15分
	【復習】投運動について整理しておく。伝承遊びの技を反復練習しできるようになる。運動会の企画を行う。	30分
第4回	運動遊び・伝承遊び・運動会の実践と保育者の役割(3)	
	【予習】運動会の役割の確認と運営についてグループで確認しておく。	15分
	【復習】伝承遊びの技を反復練習しできるようになる。運動会の企画を行う。	30分
第5回	運動遊び・伝承遊び・運動会の実践と保育者の役割(4)	
	【予習】担当する運動種目の実施にあたり、進行や自らの役割を確認しておく。	15分
	【復習】伝承遊びの技を反復練習しできるようになる。担当する運動種目の実施にあたり、必要なものを製作・準備する。	30分
第6回	マット運動あそびについて。運動会の実践と保育者の役割(5)プログラム進行の確認、準備	
	【予習】担当する運動種目の実施にあたり、進行や自らの役割を確認しておく。	15分
	【復習】マット運動あそびの補助方法、遊びの種類を整理しておく。担当する運動種目の実施にあたり、改善点に対応し、必要なものを準備する。	30分
第7回	跳び箱運動遊び・運動会の実践と保育者の役割(6)	
	【予習】担当する運動種目の実施にあたり、進行や自らの役割を確認しておく。	15分
	【復習】跳び箱運動遊びの補助方法および内容を整理しておく。運動会の準備をする	30分
第8回	運動会の実践	
	【予習】運動会の意義とあり方について自分の意見をまとめておく。	15分
	【復習】実践した後の反省感想をレポートにまとめる	30分
第9回	運動遊びの教材研究と企画・運営 移動・バランス系	
	【予習】移動・バランス系の遊びの種類を考える	15分
	【復習】実際に行ってみて安全面、教育的効果について考える	30分
第10回	運動遊びの教材研究と実践 移動・バランス系	
	【予習】移動・バランス系の遊びの種類を考える	40分
	【復習】実際に行ってみて安全面、教育的効果について考える	20分

第11回	運動遊びの教材研究と実践 移動・バランス系	
	【予習】移動・バランス系の遊びの種類を考える	40分
	【復習】実際に行ってみて安全面、教育的効果について考える	20分
第12回	運動遊びの教材研究と企画 操作系	
	【予習】身近な道具を使った遊びの種類を考える	40分
	【復習】実際に行ってみて安全面、教育的効果について考える	20分
第13回	運動遊びの教材研究と企画 操作系	
	【予習】身近な道具を使った遊びの種類を考える	15分
	【復習】実際に行ってみて安全面、教育的効果について考える	30分
第14回	運動遊びの教材研究と企画 操作系	
	【予習】身近な道具を使った遊びの種類を考える	15分
	【復習】実際に行ってみて安全面、教育的効果について考える	30分
第15回	まとめ	
	【予習】乳幼児が「健康」であるために、体を動かして遊ぶことや基本的な生活習慣を身につけることの必要性について考えをまとめる。	15分
	【復習】子どもに寄り添い、共感し守り、育てることについてまとめて整理しておく。子どもの健康について、自分なりの考えを整理する	30分

授業科目名	子どもと人間関係			科目コード	C133-30				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容	担当教員名	石動 瑞代						
実務経験									
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	教育課程論 保育内容総論	後継科目	なし						
関連科目	子どもと健康 子どもと環境 子どもと言葉 子どもと音楽表現 子どもと造形表現								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	現代の乳幼児の人間関係の育ちに影響を与えている社会的要因について理解し、幼児教育で保障すべき教育内容に関する知識を身に付ける。特に、領域「人間関係」の指導の基盤となる基礎理論を学び、他者との関係や集団との関係の中で幼児期の人と関わる力が育つことを理解する。								
学習目標	<p>幼児を取り巻く人間関係をめぐる現代的課題を理解する。</p> <p>乳幼児期における「人とかかわる力」の発達を、関係論的視点で理解する。</p> <p>保育の特性を生かして、乳幼児期の「人と関わる力」を育む視点について理解する。</p>								
キーワード	人とかかわる力 共感性 個と集団 自立心 道徳性 規範意識 協同性 遊び 保育者の役割								
テキスト・ 参考書等	<p>テキスト：『対話的・深い学びの保育内容 人間関係』（萌文書林）、その他適宜プリントを配布。</p> <p>参考図書：『幼稚園教育要領解説』文部科学省（フレーベル館）、『保育所保育指針解説書』厚生労働省編（フレーベル館）</p>								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 乳幼児期の人とかかわる力の発達を理解し、筆記試験で正しく回答できる。								
LO-2	【技能】 保育場面における子どもの経験と幼児教育において育みたい資質・能力を関連づけて理解することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 社会の状況と幼稚園教育要領・保育所保育指針における領域「人間関係」の内容を、関連づけて考えることができる。保育事例を的確に読みとり、保育者の支援内容や方法を検討することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 現代社会における人との関わりの課題を把握し、乳幼児期に必要な保育の内容・方法について、具体的に考察することができる。								
LO-5	【社会性・人間性】 様々な事例を通して、子どもの思いを尊重し、信頼関係の構築に努めることの重要性を理解し、自らの対人態度の基盤とする。グループワークに積極的に参加し、自らの意見をわかりやすく伝えると同時に、他者の意見を受								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60		30			10			100
LO-1	30								30
LO-2	10		10						20
LO-3	10		10						20
LO-4	10		10						20
LO-5						10			10
備考	<p>その他 A は、授業態度。</p> <p>提出課題に対しては、口頭及び紙面によるコメントを行う。テストについては、紙面等で説明する。</p>								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 自らの人とのかかわりを見つめる	
	【予習】課題プリントをよみ、 レポート内容を考える、 人間関係図を描く。	0分
	【復習】本日の講義内容をまとめる。 幼児期から現在までの、印象的な人とのかかわりをたどり、自分の人との関わりのストーリーを短い文章で書いてみる。	30分
第2回	現代における人間関係の特徴を捉え、人とかかわる力の育ちについて考える 第2回授業に参加する 参考資料	
	【予習】パスワード Ningen2 現代における人間関係の特徴を、3～5個のキーワードで考える。	15分
	【復習】レポート課題 課題A 教科書第2章を読んで、あなたが最も関心を持った内容を、簡単に説明する(200字程度) 形式 Word文書 標準余白、標準の文字数(40字×36行)	60分
第3回	領域「人間関係」の変遷を知り、乳幼児に必要な保育内容について理解する。 第3回授業に参加する。	
	【予習】領域「人間関係」の穴埋めプリントを完成させておく。 パスワード:Ningen3	60分
	【復習】教科書第3章、本日のスライドで学んだことをもとに、現代の領域「人間関係」の中で、特に強調している事項について、社会状況と関連付けて理解しておく。 提出課題 現代社会の中で子どもが「人とかかわる力」を育むために 必要だと思う経験や環境、 保育者として自分が実践したいこと(800～1200字程度)	100分
第4回	授業スライド資料 乳児期における人とのかかわりの発達を考える 共感性の発達 時間:2020年5月26日 10:50 AM	
	【予習】保育所保育指針の保育課程によって人間関係の育ちの道筋を確認する。 パスワード:Nigen4 ごめんなさい Ningenとするつもりが 小文字のn抜けてます。気を付けてください!	20分
	【復習】授業後に、必ず授業アンケートを送信すること。 講義やテキストの内容を参考に、課題レポートを完成する(提出は登校時) エピソード	40分
第5回	幼児期における人とのかかわり 仲間入り・いざご 幼児期における友達とのかかわりの発達過程を理解する。	
	【予習】配付プリントを再読する。 これまでの実習体験から、いざごに関わった経験をまとめておく。	15分
	【復習】事例について、読み取ったことをまとめる。 仲間入り・いざごの発達の意味をまとめる。	30分
第6回	幼児期における人とのかかわり 規範意識・協同性	
	【予習】事前課題について、要点をまとめてくる。	15分
	【復習】事例について、読み取ったことをまとめる。 幼児期の規範意識・協同性の発達過程を知る。	30分
第7回	遊びの中で育つ人とのかかわり 遊びを通して育まれる人との関わりの姿を捉え、援助の方法を考える。	
	【予習】テキスト第3章を読んでおく。 配布資料の課題を考えておく。	20分
	【復習】資料の内容を確認し、十分に理解できないところは、次回の質問事項としてまとめておく。	20分
第8回	人とのかかわりを育てる保育の実践 かかわりをつくる	
	【予習】人とのかかわりをつくる“遊び”を考えてくる。	30分
	【復習】人とのかかわりをつくる“遊び”の内容と配慮点を、ノートにまとめる。	30分
第9回	人とのかかわりを育てる保育の実践 個と集団をいかす	
	【予習】保育所保育指針等の中で、個と集団の関係について述べられている部分をさがし、ノートに書きだす。	15分
	【復習】事例についての感想を書く。	30分
第10回	人とのかかわりを育てる保育の実践 地域との交流、行事とおして	
	【予習】地域交流や行事が、人とかかわる力にどのように影響しているのかを考え、文章にまとめておく。 人とかかわる力の発達と保育との関連を考えたいうえでの、疑問点をあげる。	20分
	【復習】課題シートを完成させる。	30分

第11回	人とかかわりを育てる保育者の役割	
	【予習】実習事例をもとに、人とかかわりを育てる保育者の役割を自分なりにあげてみる。 テキスト第3章の4, 6を読む。	20分
	【復習】授業の中で確認した保育者の役割を、実習中のエピソードと関連づけて、課題シートを完成する。	30分
第12回	人とかかわりが難しい子への支援 事例研究（実習における事例をもとに話し合う）	
	【予習】実習の中で出会った人とかかわりが難しい子のエピソードメモをつくる。 テキスト第3章の7 を読んでおく。	20分
	【復習】グループで分担し、発表資料をつくる。	20分
第13回	人とかかわりが難しい子への支援 事例研究（事例での学びを発表する）	
	【予習】発表の準備をする。	20分
	【復習】様々なテーマの中で、1～2個のテーマにしぼり、発表内容から学んだことをまとめる。	30分
第14回	職場における保育者の人間関係	
	【予習】 配布資料の課題を考えておく。	20分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。 課題シートを完成させる。	25分
第15回	乳幼児期の人とかかわりを育む保育内容（まとめ）	
	【予習】これまでのノートを整理し、テキストと関連付けながら読んでおく。	20分
	【復習】これまでの学びをふりかえり、課題レポートの作成を行う。	40分

授業科目名	子どもと環境			科目コード	C133-40				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容		担当教員名	長尾 順子					
実務経験									
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	保育内容総論		後継科目	なし					
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	子どもは「もの・ひと・こと」とのかかわりを通じて成長・発達する。子どもがどのように環境にかかわっているのかを学び、そのかかわりが領域「環境」に示された経験となるためにはどのような環境の構成と援助が必要であるかを考察する。授業においては、直接体験することを重視し、学びを深められるようにすすめる。また、教材研究を通じて保育実践力を習得できるようにする。								
学習目標	子どもと環境とのかかわりと子どもの育ちについて理解する 子どもが周囲の環境に自ら関わるために必要な保育者の援助と保育の方法について習得する								
キーワード	領域「環境」 身近な自然 身近な「もの・ひと・こと」 フィールドワーク								
テキスト・ 参考書等	参考書：『保育所保育指針解説書』 厚生労働省編 フレーベル館 『幼稚園教育要領解説』 文部科学省								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育所保育指針と幼稚園教育要領及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された領域「環境」のねらい及び内容について、用語を理解している								
LO-2	【技能】保育所や幼稚園において子どもが自ら環境に働きかけられるような保育環境を構成し、保育を展開する技術を習得している								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】子どもが育つために必要な環境について論理的に考察し、保育者の具体的な役割を理解している								
LO-4	【関心・意欲・態度】子どもの育ちと子どもを取り巻く環境を的確に把握し、社会のニーズに応じた保育実践力の向上に努める								
LO-5	【人間性・社会性】ディスカッションやグループワークに積極的に参加し、他者との協働を図ることができる								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30	30	20	10	10		100
LO-1			30						30
LO-2				30					30
LO-3					20				20
LO-4						10			10
LO-5							10		10
備考	その他：A「活動、調査への取り組み姿勢」B「グループワークへの取り組み姿勢」 屋外での授業を予定しています。体調を整え、服装など適切なものを準備してください。 提出課題に対しては、口頭及び紙面にてコメントを行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション(授業のねらい、方法、評価の仕方等について)、幼児教育の重要性	
	【予習】パスワード:Kankyou1 シラバスを読み、授業内容を把握する	10分
	【復習】授業の全体像を確認する	10分
第2回	子どもの育ちと領域「環境」 子どもが育つために必要な環境とは何か、子どもにとって環境とはどのような意味をもつのかを考える	
	【予習】教材づくりの材料集めをする	10分
	【復習】グループで話し合った内容を振り返り、整理する	10分
第3回	子どもを取り巻く人的環境と保育者の役割 子どもにとっての環境の意味と子どもが育つために人的環境と保育者の役割を理解する 領域「環境」のねらいと内容 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の領域「環境」について及び改訂のポイントを理解する	
	【予習】教材づくりの材料集めをする	15分
	【復習】グループで話し合った内容を振り返り、整理する	15分
第4回	子どもを取り巻く身近な自然環境 学内外のネイチャーゲームを体感し、幼児が自然に触れる大切さを考察する	
	【予習】自分が選択したコースについて下調べをする	10分
	【復習】ペアで話し合った内容を振り返り、整理する	15分
第5回	学園の周りがある草花遊び(草花遊び図鑑づくり)	
	【予習】草花遊びを調べる	20分
	【復習】草花遊び図鑑を進める	60分
第6回	学園の周りがある草花遊び(草花図鑑づくり)を紹介する	
	【予習】草花遊びを紹介するために絵や図を用意する	60分
	【復習】草花遊び図鑑を進める	40分
第7回	富山市ファミリーパークの学外授業に必要な事項を話し合う	
	【予習】動物の生態を調べる	30分
	【復習】学外授業のしおりを完成する	30分
第8回	富山市ファミリーパークで飼育される動物の生態について理解を深める	
	【予習】動物の生態を調べる	30分
	【復習】学外授業のしおりを進める	30分
第9回	富山市ファミリーパークの学外学習	
	【予習】	0分
	【復習】幼児教育における動物園の活用方法をまとめる	30分
第10回	富山市ファミリーパークの学外学習	
	【予習】	0分
	【復習】幼児教育における動物園の活用方法をまとめる	30分

第11回	環境構成の工夫を知る 環境構成の工夫がされている場面から保育者の意図を読み取る	
	【予習】環境構成の工夫が見られる場面の写真を選択する	15分
	【復習】環境構成の工夫を整理する	30分
第12回	好奇心を引き出す遊ぶ道具を作製する	
	【予習】おもちゃづくりに必要な材料を用意する	30分
	【復習】おもちゃづくりを進める	60分
第13回	好奇心を引き出す遊び道具を紹介し合う 心身の発達とおもちゃを関連づけて紹介する	
	【予習】発表の準備をする	60分
	【復習】色々な手づくりおもちゃについて感想をまとめる	60分
第14回	ユニバーサルデザインの環境、安心・安全な環境 事例を通じて考える	
	【予習】講義ファイルに目次をつける	30分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、ポイントを押さえる	10分
第15回	保育をめぐる現代的課題と領域「環境」	
	【予習】保育の課題について考える	10分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、ポイントを押さえる	10分

授業科目名	子どもと言葉			科目コード	C133-50				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容		担当教員名	梅本 恵					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	保育内容総論		後継科目	保育内容(言葉)指導法					
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	領域「言葉」の指導の基盤となる、乳幼児が豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるために必要な基礎的な知識を修得する。人間にとっての「言葉」の意義や機能を理解し、乳幼児が言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を豊かにするための教材や実践に関する知識を修得する。								
学習目標	人間にとっての言葉の意義や機能と乳幼児の言葉の獲得過程を理解する。 言葉に対する感覚を豊かにする実践について、乳幼児の発達のと合わせて理解する。 乳幼児にとっての児童文化財の意義を理解し、児童文化財についての基礎的な知識を修得する。								
キーワード	発達と言葉 言葉に対する感覚 言葉遊び 絵本 パネルシアター								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『事例で学ぶ保育内容<領域>言葉』 無藤隆 監修/宮里暁美 編 2018 萌文書林 参考書：『保育所保育指針解説書』 厚生労働省編 フレーベル館 『幼稚園教育要領解説』 文部科学省								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』及び『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』に示された領域「言葉」のねらい及び内容について、用語を理解し、試験で正しく答えることができる。								
LO-2	【技能】児童文化財の意義を理解し、教材を準備・作成する技術を修得している。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】言葉の感覚を豊かにする実践について理解し、乳幼児の発達に合わせて構想・展開し、学びを深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】現代社会における乳幼児の育ちと言葉をめぐる課題を把握し、乳幼児期に必要な保育の内容と方法を踏まえた保育実践力の向上に努める。								
LO-5	【人間性・社会性】ディスカッションやグループ討議に積極的に参加し、他者との協働を図る。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60			20	10	10			100
LO-1	30								30
LO-2				20					20
LO-3	20								20
LO-4	10				10				20
LO-5						10			10
備考	その他A：グループワークなどの取り組み姿勢 授業で配布されるプリント・資料を整理しておくこと。図書館などで意識的に絵本に触れておくこと。 提出課題に対しては、口頭及び紙面にてコメントを行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション(授業のねらい、方法、評価等についての説明) 人間にとって言葉とは 人間にとっての言葉の意義と機能を理解する。	
	【予習】シラバスを読み、授業内容を把握する。	15分
	【復習】授業の全体像を確認する。 授業で配布されたプリントを見直し、ポイントを押さえる。	30分
第2回	保育実践の中での絵本(1) 子どもにとっての絵本の意義、絵本の役割を理解する。	
	【予習】	0分
	【復習】配布されたプリントを見直し、整理する。	30分
第3回	保育実践の中での絵本(2) 絵本の選択の仕方、読み聞かせの方法を学び、教材研究、読み聞かせ実習を行う。	
	【予習】乳児向けの絵本を3冊選んで、読んでおく。	30分
	【復習】配布されたプリントを見直し、整理する。	15分
第4回	豊かな言葉の経験を広げる保育実践(1) 保育実習-1で心に残ったエピソードを記述する。	
	【予習】実習日誌を読み返し、エピソードを選んでおく。	15分
	【復習】エピソード記述を完成させる。	30分
第5回	豊かな言葉の経験を広げる保育実践(2) エピソード記述を基にグループ討議を行う。エピソード記述から、子どもがどのような言葉の経験をしているのかを考察する。	
	【予習】テキスト32ページから35ページを読んでおく。	15分
	【復習】グループ討議を振り返り、考察を深める。	30分
第6回	乳幼児の発達と言葉 新生児期から乳児期を中心に、言葉の獲得過程と大人の役割について理解する。	
	【予習】テキスト第2章を読み、不明な点を押さえておく。	30分
	【復習】配布されたプリントを見直し、整理する。	15分
第7回	領域「言葉」のねらいと内容 『指針』『教育要領』に示された、保育に関わるねらい及び内容、配慮点を理解する。	
	【予習】『指針』の領域「言葉」に関する部分を読んでおく。	15分
	【復習】配布されたプリントを見直し、整理する。	30分
第8回	射水市大島絵本館での学外授業	
	【予習】準備物を整えておく。	15分
	【復習】	0分
第9回	○射水市大島絵本館での学外授業	
	【予習】	0分
	【復習】手作り絵本、絵本リストを完成させる。	90分
第10回	○「言葉に対する感覚」とは	
	【予習】	0分
	【復習】配布されたプリントを見直し、整理する。	15分

第11回	言葉に対する感覚を豊かにする乳幼児の遊びの実際 わらべうた・言葉遊びの実習、教材研究を行う。	
	【予習】言葉遊び・わらべうた遊びにはどんなものがあるか調べておく。	30分
	【復習】配布されたプリントを見直し、整理する。	15分
第12回	言葉を育て、想像する楽しさを広げる「児童文化財」とは 児童文化財の種類と特徴、子どもにとっての意義を理解する。	
	【予習】	0分
	【復習】配布されたプリントを見直し、整理する。	15分
第13回	保育実践の中でのパネルシアター（1） 保育実践におけるパネルシアターの活用の仕方、作成したパネルシアターの教材研究を行う。	
	【予習】パネルシアターを冬期休業中に作成しておく。	180分
	【復習】	0分
第14回	保育実践の中でのパネルシアター（2） 指導案を作成し、パネルシアターを上演する。	
	【予習】パネルシアターを演じる練習をしておく。	45分
	【復習】パネルシアターの実習を振り返り、指導案を手直しする。	30分
第15回	言葉を育て、想像する楽しさを広げる児童文化財を用いた実践 絵本、パネルシアターを用いた模擬保育を行う。	
	【予習】模擬保育の準備をする	45分
	【復習】自らの学習達成度を評価し、理解の不十分なところは再度学習する。	180分

授業科目名	保育内容（言葉）指導法			科目コード	C133-51				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容		担当教員名	梅本 恵					
実務経験									
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	保育内容総論 子どもと言葉		後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』に示された領域「言葉」のねらいと内容についての理解を深める。保育現場で取り組まれている豊かな言葉を育む保育実践について学び、保育者の言葉かけやかかわりについて考察する。さらに、教材研究・指導案の作成と模擬保育を実施し、保育の実践力を身に付ける。また、言葉をめぐる現代的な課題を通して、保育者の役割についても考察する。								
学習目標	乳幼児が発達過程に合った言葉の経験ができるよう、遊びを展開する技術と保育者の言葉かけや援助の方法を具体的に身に付ける。 乳幼児を取り巻く現代的な言葉の課題をとらえ、保育者の役割についての理解を深める。								
キーワード	伝え合う言葉 文字環境 言葉遊び 保育者の言葉かけ 教材研究								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『事例で学ぶ保育内容<領域>言葉』 無藤隆 監修/宮里暁美 編 2018 萌文書林 参考書：『保育所保育指針解説書』 厚生労働省編 フレーベル館 『幼稚園教育要領解説』 文部科学省								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】幼稚園教育要領と保育所保育指針に示された領域「言葉」のねらい及び内容について理解し、発達過程に即して具体化できる。								
LO-2	【技能】保育所や幼稚園において乳幼児が豊かな言葉の経験ができるような、保育構想力、展開技術を習得している。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】保育における現代的な課題を領域「言葉」との関連からとらえ、論理的に考察し、適切な言葉で表現できる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】乳幼児の育ちと言葉をめぐる環境を的確に把握し、社会のニーズに応じた保育実践力の向上に努める。								
LO-5	【人間性・社会性】豊かな感受性と共感性をもって、乳幼児への言葉かけができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			70	10		20			100
LO-1			20						20
LO-2				10		20			30
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5			10						10
備考	その他A：指導案 レポート課題の告知は授業で行う。 提出課題に対しては、口頭及び紙面にてコメントを行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション(授業のねらい、方法、評価の仕方等についての説明) ○課題の提示と説明(パネルシアタ作成と教材)	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	パネルシアターの作成計画・作成	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	パネルシアターの教材研究・活用方法 本日の進め方 Zoomに入る。	
	【予習】パネルシアターの作成計画を立て、作成する。	0分
	【復習】提出課題1: パネルシアターの教材研究カードを完成させる。 作成したパネルシアターの写真(1枚)をメールで提出(5月6日までに)	0分
第4回	伝え合う言葉(1) 事例から子どもたちが言葉で伝え合う過程について考える	
	【予習】 3組 パスワード: Kotoba4-3 4組 パスワード: Kotoba4-4	45分
	【復習】提出課題2: 事例について検討しまとめる。	90分
第5回	伝え合う言葉(2) 保育場面における話し合いとそれを支える環境構成について学ぶ。 【授業の進め方】	
	【予習】 3組: パスワード: Kotoba5-3 4組: パスワード: Kotoba5-4	0分
	【復習】いざござ場面の事例(テキストPP120 - 121)の演習をしておくこと。提出は不要	0分
第6回	保育者の言葉かけと保育環境(1) 保育者の言葉かけをジェンダーの視点からとらえなおす。 【本日の進め方】	
	【予習】 パスワード3組: Kotoba6-3 パスワード4組: Kotoba6-4	0分
	【復習】	0分
第7回	保育者の言葉かけと保育環境(2) 保育者の言葉かけと保育環境を性の多様性の視点から考察する。	
	【予習】	0分
	【復習】提出課題3: レポート作成。	0分
第8回	言葉や文字を使った遊びの教材研究 遊びを考案し、必要な教材を作成する。	
	【予習】	0分
	【復習】教材を作成する。	0分
第9回	言葉や文字を使った遊びの指導案の作成	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	言葉や文字を使った遊びの模擬保育 作成した教材を使用し、指導案に沿って模擬保育を行う。	
	【予習】	0分
	【復習】提出課題4: 指導案の手直し、省察を記入する。	0分

第11回	絵本の世界で遊ぶ(1) 絵本の世界で子どもが経験することについて考える。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	絵本の世界で遊ぶ(2) 選んだ絵本を基に、遊びの展開図を作成する。	
	【予習】	0分
	【復習】 提出課題5: 遊びの展開図を作成する。	0分
第13回	文字との出会いと保育環境 子どもと文字との出会いの実際を知り、文字環境を構成する基本的視点を理解する。	
	【予習】 テキスト第6章を読み、不明な部分を把握する。	0分
	【復習】 授業で配布されたプリントを見直し、ポイントを押さえる。	0分
第14回	幼児期の文字指導について	
	【予習】	0分
	【復習】 提出課題6: レポート作成。	0分
第15回	学びのまとめ	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	子どもと音楽表現			科目コード	C133-60				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容	担当教員名	難波 純子						
実務経験									
開講時期	1年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	音楽表現技術、保育内容総論	後継科目	保育内容(音楽表現)指導法						
関連科目	子どもと造形表現								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	領域「表現」の指導に関する、子どもの表現活動を豊かに展開するために必要な知識や技術を習得することを目的とする。様々な表現活動を結びつける教材研究や、表現体験を取り入れることによって、子どもの遊びやイメージを豊かにし、感性を養うための環境構成と保育の展開について学ぶ。								
学習目標	子どもの「表現の芽ばえ」を発見し、表現を読み取りより豊かな表現の育ちを支えられるよう自らの創造性、感性、表現力を磨く。また、子どもの興味や関心に沿った教材や、環境構成と保育の展開方法を習得する。								
キーワード	子どもの表現 表現の芽生え								
テキスト・ 参考書等	文部科学省『幼稚園教育要領解説』フレーベル館 厚生労働省『保育所保育指針解説書』フレーベル館								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 保育における領域「表現」のねらい及び内容について理解している。								
LO-2	【技能】創意工夫を生かした音楽表現ができる。								
LO-3	(該当しない)								
LO-4	【関心・意欲・態度】 音楽表現に関心を持ち、演習や発表などに主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】グループやペアでの演習などに積極的に参加し、他者とコミュニケーションを図ることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)					100				100
LO-1					30				30
LO-2					30				30
LO-3									
LO-4					20				20
LO-5					20				20
備考	なし								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	領域「表現」のねらい及び内容の理解	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	生活や遊びの中での音楽表現 表現の芽ばえウォッチング（音の探求）事例紹介	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	音さがし 音を感じよう	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	音環境マップづくり	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	幼児の表現の発達理解 幼児の素朴な表現から小学校への学びの連続性について理解する	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	言葉と音楽表現（オノマトペ）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	絵本と表現遊び（音・色・形とイメージ）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	保育実習での音楽表現を振り返る	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	生活や遊びの中での音楽表現 表現の芽ばえウォッチング（即興歌唱表現）事例紹介	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	身近な素材で遊ぼう（造形表現とのコラボレーション） 音の出る仕組みを知る	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回	音で遊ぼう（造形表現とのコラボレーション） 制作した音具を持参して曲づくり	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	音で遊ぼう（造形表現 とのコラボレーション） 図形楽譜をもとにグループで曲発表	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	ICTを活用した音楽表現活動	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	イベント参加に向けて、年齢に即した楽しい手遊び・歌遊び	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	総括「子どもの表現において保育者として大切にすべきこと」	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	保育内容（音楽表現）指導法			科目コード	C133-61				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容	担当教員名	難波 純子 大村 禎子						
実務経験									
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	子どもと音楽表現、音楽表現技術	後継科目	なし						
関連科目	保育内容（造形表現）指導法								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	乳幼児期に育みたい資質・能力を理解し、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示されたねらい及び内容について表現と関連させて理解を深め、幼児の発達に即し、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて、具体的な保育の展開方法について学ぶ。								
学習目標	幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「表現」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につける。								
キーワード	子どもの表現								
テキスト・ 参考書等	文部科学省『幼稚園教育要領解説』フレーベル館 厚生労働省『保育所保育指針解説書』フレーベル館								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 保育における領域「表現」のねらい及び内容について理解している。								
LO-2	【技能】創意工夫を生かした音楽表現ができる。								
LO-3	(該当しない)								
LO-4	【関心・意欲・態度】 音楽表現に関心をもち、演習や発表などに主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】グループやペアでの演習などに積極的に参加し、他者とコミュニケーションを図ることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)					100				100
LO-1					30				30
LO-2					30				30
LO-3									
LO-4					20				20
LO-5					20				20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	領域「表現」のねらい及び内容について、乳幼児の表現の姿と関連づけて理解する。	
	【予習】	0分
	【復習】領域「表現」のねらい及び内容を思い出しなが書き写す。	20分
第2回	第2回授業に参加する 2020年5月13日 10:50 AM 5月9日(土)短大に取りに来た黄緑色の封筒の中に入っていた、A3のプリント3枚「子どもの音楽的な表現」を手元に用意してから参加しましょう。	
	【予習】パスワード: Ongaku2	0分
	【復習】【課題】 3歳児を対象とし、音楽表現活動において、どのような資質・能力を育てたいと考えるか。 左の人型のマークから、自分の考えを簡潔にまとめて、Webシラバス第2回授業アンケートの(7)自由記述欄に記入すること。	20分
第3回	第3回授業に参加する 2020年5月20日 10:50 AM 「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を手元に用意してから受講しましょう。	
	【予習】パスワード: Ongaku3	0分
	【復習】幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿 「幼稚園教育要領解説」p.50-73、「保育所保育指針解説」p.62-83	15分
第4回	第4回授業に参加する 2020年5月27日 10:50 AM 『最新・幼児の音楽教育』テキストと、筆記用具を用意して授業に臨みましょう。	
	【予習】パスワード: Ongaku4	20分
	『最新・幼児の音楽教育』P.40-43を読んでおく。 【復習】今回紹介した、テキストp.40-43の3つの事例と動画から、幼児の心情・認識・思考・動きを考察する。 【課題】これらの事例から、幼児が経験し、身に付けたことは何だと思えますか？また、保育者として何を大切にすべきでしょうか。	15分
第5回	今回から、短大で対面授業です。 7階教室で、クラス別を実施します。	
	【予習】文部科学省『幼稚園教育要領解説』フレーベル館 厚生労働省『保育所保育指針解説書』フレーベル館 内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館	0分
	【復習】	0分
第6回	インクルーシブ保育における表現活動の可能性について、具体的な事例を通して理解し、保育構想への活用を考える。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	保育実践研究の論文や国内外における音楽メソッドを参照し、音楽表現における保育実践の動向についての知見を深め、保育構想の向上に取り組む。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	豊かな感性を育み表現を引き出す言葉掛けについて理解し、具体的な保育を想定した指導場面での活用を考える。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	感性的な出会いの豊かな音環境について、自ら身体の諸感覚を通じた体験を生かし、具体的な環境構成を考える。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	表現活動における情報機器及び教材の活用法について事例を通して学び、実際に体験することを通し、保育構想に活用できるアイデアを考える。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回	指導案作成の方法を理解し、音楽的なねらいについて具体的に考えるとともに、様々な教材研究を行う。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	モデル指導案に基づいた保育実践をイメージしたり部分的に体験したりして、保育者の援助について考える。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	3歳未満児の音楽遊びの指導案を作成して模擬保育を行い、その振り返りを通して保育の改善について考える。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	3歳から5歳児の音楽表現の指導案を作成して模擬保育を行い、その振り返りを通して保育の改善について考える。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	ドキュメンテーションやポートフォリオ等の作成を通して保育を振り返り、幼児の心情や思考についての理解を深め保育構想の向上に取り組む。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	子どもと造形表現			科目コード	C133-70				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容		担当教員名	中山 里美					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	造形表現技術 保育内容総論		後継科目	造形表現技術 保育内容(音楽表現)指導法					
関連科目	音楽表現技術 音楽表現技術								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	造形作品の制作と鑑賞活動や五感を通じた総合的な表現活動に取り組み、体験を通して各自が楽しみながら題材の特性や意義を学びます。幼児の造形表現指導において、発達過程や特性を踏まえ保育者が行う援助の方法や在り方について考えていきます。								
学習目標	幼児の表現の姿や発達過程を理解する。造形表現の基礎的な知識・技能や様々な表現活動との関連性を学ぶことを通し、幼児の表現を支えるための感性を豊かにする								
キーワード	感性 想像 創造								
テキスト・ 参考書等	「保育をひらく造形表現」榎 英子著 萌文書林 「幼児造形の基礎」樋口一成 編著 萌文書林(継続使用) 文部科学省「幼稚園教育要領」 厚生労働省「保育所保育指針」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】子どもの造形表現の発達過程や特徴を理解する。造形表現の意義や活動のねらいと内容について理解する。造形表現・統合的な表現活動に関する基礎的な用語や材料・用具、技法などに関する知識を身に着けている。								
LO-2	【技能】素材の特性や用具の扱い方を知り、創造的・統合的な造形表現に必要な技能を身に着け、材料や技法などの表現方法を工夫して表す。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】造形表現活動や統合的な表現の意義や、作品の良さや美しさを感じ取り、感性や想像力を働かせ、創造的な表現活動や製作を考えることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】造形や統合的な表現活動や鑑賞に主体的に取り組み、作品を大切にするとともに、表現活動の楽しさや喜びを味わう。								
LO-5	【人間性・社会性】作品鑑賞やグループでの活動や製作等に意欲的に参加し、各々の良さや美しさを尊重することができる。								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			20	50		30			100
LO-1			10						10
LO-2				20					20
LO-3				20					20
LO-4			10	10		15			35
LO-5						15			15
備考	評価方法：提出課題レポートにはワークシートを含む。その他の項目「A」は、授業に取り組む姿勢、態度。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	幼児の造形表現：発達と特徴 造形活動の発達段階	
	【予習】 幼児が絵を描く姿の観察とその絵を鑑賞し、レポートを作成する。 レポート提出	90分
	【復習】	0分
第2回	幼児の造形表現：発達と特徴 造形表現の特徴・様式。 ワークシート提出	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	鑑賞1 美術館見学（美術館の役割と利用方法、作品鑑賞における心構え・マナー） 3,4回は連続して実施。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	鑑賞1 美術館見学（企画展・常設展 作品鑑賞）	
	【予習】	0分
	【復習】 作品鑑賞についてのレポートを作成する。 レポート提出	90分
第5回	素材と表現：自然素材を使って - 季節の変化と材料 どんぐり、まつぼっくり 作品提出	
	【予習】 遊びや製作に使用する材料を屋外で収集する。	60分
	【復習】 保育実習 - 1で見学した作品や展示方法・環境に関するレポートを作成する。 レポート提出	90分
第6回	素材と表現：自然素材を使って - 季節の変化と材料 落ち葉 作品提出	
	【予習】 拾った落ち葉を新聞紙にはさみ、押し葉を作る。	30分
	【復習】	0分
第7回	素材と表現：自然素材を使って - 季節の変化と材料 落ち葉、小枝、木の実など 作品提出	
	【予習】 製作に使用する追加材料を準備する。	15分
	【復習】 展示された作品を相互鑑賞し、表現活動を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	30分
第8回	表現について考える : 見えないものを描く 聴覚・味覚・嗅覚・触覚・から感じたことを表現する。 作品提出	
	【予習】	0分
	【復習】 振り返りワークシートに取り組む。	30分
第9回	表現について考える : 音をさがす グループ活動 さまざまな素材と関わりながら音を見つける ワークシート提出	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	表現について考える 音を楽しむ音具・オブジェの製作 「音を楽しむ音具の製作」 材料との出会いと音の発見	
	【予習】 音具に使いたい、材料を準備する。	30分
	【復習】	0分

第11回	表現について考える 音を楽しむ音具・オブジェの製作 「音を楽しむ音具の製作」 音具完成 作品は保育内容（音楽表現） で使用する。	
	【予習】身の回りから、素材となるものを探す。 材料の準備	30分
	【復習】	0分
第12回	表現について考える 音を楽しむ音具・オブジェの製作 「音楽表現」授業で作った曲を図形楽譜として表す。	
	【予習】	0分
	【復習】各グループの音具と図形楽譜の鑑賞	0分
第13回	表現について考える 音を楽しむ音具・オブジェ作品の解体とワークシート記入	
	【予習】	0分
	【復習】ワークシート：合同授業での取り組み「表現」について	30分
第14回	素材と表現：コラージュ シフティングによる構成 作品提出	
	【予習】素材として使用する雑誌や印刷物を準備する。	30分
	【復習】展示された作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	30分
第15回	素材と表現：コラージュ デベイズマンによる構成 作品提出	
	【予習】素材として使用する雑誌や印刷物を準備する。	30分
	【復習】展示された作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。保育内容（造形表現） の授業で取り組んだ作品を再度鑑賞したり、学習内容を整理したりし、造形表現活動と学習を振り返る。	60分

授業科目名	保育内容（造形表現）指導法			科目コード	C133-71				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容		担当教員名	中山 里美					
実務経験									
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	造形表現技術 造形表現技術 子どもと造形表現		後継科目	子どもと遊び					
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	グループによる模擬保育体験と製作活動を中心に行います。造形表現活動を通して、幼児が生き生きと参加できるねらいの設定、題材の工夫や展開方法、適切な援助や働きかけについて考えていきます。								
学習目標	領域「表現」のねらい及び内容について、造形表現活動を通して理解を深める。幼児の発達や学びの過程を踏まえ、具体的な指導場面を想定した指導と保育を構想する方法を身に付ける。								
キーワード	感性 想像 創造								
テキスト・ 参考書等	「保育をひらく造形表現」榎 英子著 萌文書林（継続使用） 「幼児造形の基礎」樋口一成 編著 萌文書林（継続使用） 文部科学省「幼稚園教育要領」 厚生労働省「保育所保育指針」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】造形表現の意義や活動のねらいと内容について理解し、造形の指導計画を立てることができる。造形表現に関する幅広い用語や材料・用具、技法などに関する知識を身に着けている。								
LO-2	【技能】素材の特性や用具の扱い方を知り、創造的な造形表現に必要な技能を身に着け、材料や技法などの表現方法を工夫して表す。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】造形表現活動の意義や、作品の良さや美しさを感じ取り、感性や想像力を働かせ、創造的な表現活動や製作を考えて計画したり、実践したりすることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】造形表現活動・模擬保育や鑑賞に主体的に取り組み、作品を大切にするとともに、活動の楽しさや喜びを味わう。								
LO-5	【人間性・社会性】作品鑑賞やグループでの活動や製作などに意欲的に参加し、各々の良さや美しさを尊重することができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			20	50		30			100
LO-1			10	10					20
LO-2				20					20
LO-3			10	10					20
LO-4				10		15			25
LO-5						15			15
備考	評価方法：提出課題レポートにはワークシートを含む。その他Aは、授業に取り組む姿勢、態度。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 身近な材料を使った造形作品や玩具の製作（ストローロケット、紙皿のこま、ゲコゲコがえる、高速ヒコーキ）	
	【予習】	0分
	【復習】 製作した作品の材料、製作方法、留意点等をワークシートにまとめる。作品写真送信	45分
第2回	身近な材料を使った造形作品や玩具の製作（自由製作） 第2回授業に参加する（3組） 第2回授業に参加する（4組）	
	【予習】 3H:パスワード: Zousi2-3-2 4H:パスワード: Zousi2-4-2	0分
	【復習】 製作した作品の材料、製作方法、留意点等をワークシートにまとめる。作品写真送信	45分
第3回	造形活動「作って遊ぶ」指導案の作成（自分で調べて作ったおもちゃの活動で指導案を作成する） 第3回授業に参加する（3組） 第3回授業に参加する（4組）	
	【予習】「子どもの造形表現」P121～128 「保育をひらく造形表現」P107～138を読み、活動の目的や題材の選定、指導計画や指導案の作成におけるポイントや留意事項を確認する。 3H:パスワード: Zousi2-3-3	30分
	【復習】	45分
第4回	模擬保育 各自の指導案・おもちゃの紹介をする。（作成・意見交換） 第4回授業に参加する（2-3H） 第4回授業に参加する（2-4H）	
	【予習】 3組パスワード: Zousi2-3-4 4組パスワード: Zousi2-4-4	40分
	【復習】 自由製作による指導案提出（郵送）5/25（月）まで	0分
第5回	アニメーション：アニメーションの種類・成り立ち、赤青アニメーションの製作（描いた絵は6/3（水）の授業開始時に提出） 第5回授業に参加する（2-3H） 第5回授業に参加する（2-4H）	
	【予習】 準備：送付されてきた材料、水性サインペン（ピンク・水色）、セロテープ、ハサミ パスワード:2-3H Zousi2-3-5 パスワード:2-4H Zousi2-4-5	0分
	【復習】	0分
第6回	紙を染める たたみ染め、絞り染め	
	【予習】	0分
	【復習】 染めた髪を新聞紙に挟んでおく	20分
第7回	紙を染める いろいろな製本の仕方と染め紙を使ったアコーディオンアルバム製作	
	【予習】	0分
	【復習】 作ったアルバムの画像提出 「20歳の私」アルバム作成	200分
第8回	自然素材を使って：石や砂を木を使った遊びと造形 「並べる・積み上げる・組み合わせる」	
	【予習】 製作に使用する石や砂、木片や枝等を、収集する。	45分
	【復習】 作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	20分
第9回	自然素材を使って：石や砂を木を使った遊びと造形 「石や木片を使ったオブジェの製作」	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	自然素材を使って：石や砂を木を使った遊びと造形 「自然素材と人工素材を組み合わせたオブジェの製作」 作品画像提出	
	【予習】	0分
	【復習】 作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	20分

第11回	行事と造形（七夕）：素材の特性を生かした七夕飾りの製作をする。	
	【予習】	0分
	【復習】オリジナルの七夕飾りを完成させる。展示し、相互鑑賞する。 作品提出	60分
第12回	紙の造形 - 紙工作の技法 切る・ちぎる・折る・曲げる 基本的な技法作品の試作	
	【予習】	0分
	【復習】配布されたプリントを参考にして試作する。	30分
第13回	紙の造形 - 園の行事に関するメッセージカードの製作 試作と仕掛けづくり	
	【予習】	45分
	【復習】	0分
第14回	紙の造形 - 園の行事に関するメッセージカードの製作 仕掛けづくり	
	【予習】製作に使用するさまざまな素材を収集する。	20分
	【復習】	0分
第15回	紙の造形 - 園の行事に関するメッセージカードの製作・完成	
	【予習】	0分
	【復習】登校可能な場合：メッセージカードを相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。遠隔の場合：作品画像を送り、画像を通して作品鑑賞をする。	30分

授業科目名	子どもと遊び			科目コード	C133-80				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容		担当教員名	石動 瑞代 梅本 恵 中山 里美 難波 純子 大森 宏一					
実務経験									
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	保育内容総論		後継科目						
関連科目	子どもと健康 子どもと人間関係 子どもと環境 子どもと言葉 子どもと音楽表現 子どもと造形表現								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	園生活における行事が、子どもが自ら環境に働きかけ、人と交流しながら活動する“遊び”の延長線上にあることを理解する。また、子どもの系統的発達をふまえた遊びの選定・展開によって、行事を教育的価値の高い活動へと導く方法を身に付ける。								
学習目標	1) 遊びの連関性によって、行事が展開される過程を理解する。 2) 5領域の総合的展開によって、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を理解する。 3) 模擬保育を通して、5領域の総合的展開をはかる指導方法を身に付ける。								
キーワード	子どもの遊び 主体的・対話的で深い学び 系統的発達 継続的活動(プロジェクト) 協同性								
テキスト・ 参考書等	『保育所保育指針解説書』 厚生労働省編(フレーベル館)、『幼稚園教育要領解説』 文部科学省(フレーベル館) 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府・文部科学省・厚生労働省編(フレーベル館) その他適宜参考資料								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】子どもの遊びに見られる系統的発達を理解する。子どもの興味・関心から生まれる継続的な遊びが、行事として園生活に取り込まれていることを理解する。								
LO-2	【技能】模擬保育を通して、ねらい・内容に沿った遊びを総合的に指導する方法を身に付ける。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】子どもの系統的な発達を支える活動や環境を選択し、モノや人との関わりを深めるための援助を展開する方法を指導計画にまとめることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 子どもの経験から5領域にわたる総合的な育ちを捉え、対話的で深い学びへと向かうプロセスを見通すことができる。								
LO-5	【社会性・人間性】模擬保育に協同的に参加し、適切な評価を行うことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			60		30	10			100
LO-1			20						20
LO-2					30				30
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5						10			10
備考	その他 A は、授業の参加態度とする。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	遊びの継続性と行事における学び（5領域の総合的展開による生活体験での学び）	
	【予習】	0分
	【復習】 授業内容をノートにまとめる。レポート課題に取り組む。	60分
第2回	子どもの運動遊びと運動会	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	運動遊びの選定と展開（発達に応じた種目の検討及び運動量、経験できる動き）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	運動会の運営について（空間、時間、用具等の環境設定、集団の動き、役割分担など）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	模擬運動会の実施	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	模擬運動会の振り返り	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	子どもの発達と劇遊び（絵本やお話の世界で遊ぶことの意味）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	劇遊びの題材の選定と遊びの展開（遊びの展開図の作成）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	劇遊びと人間関係（ごっこ遊び、子どもが主体となる話し合い）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	劇遊びと言語表現（言葉のおもしろさ、やり取りする楽しさ）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回	劇遊びと身体表現（歌を作る、リズム遊び）	
	【予習】	0分
	【復習】 課題レポートの作成	0分
第12回	劇遊びと製作活動（子どもとともにつくる環境構成）	
	【予習】	0分
	【復習】 課題レポートの作成	0分
第13回	劇遊びの脚本としてまとめる（第7回から10回までの授業をふまえて）	
	【予習】	0分
	【復習】 模擬保育の準備をする。	0分
第14回	劇遊びの模擬保育	
	【予習】	0分
	【復習】 課題レポート（模擬保育の振り返り）を作成する。	0分
第15回	劇遊びの模擬保育、振り返り	
	【予習】	0分
	【復習】 課題レポートの作成（振り返りシート、まとめ課題）	0分

授業科目名	乳児保育			科目コード	C135-10				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 特別保育	担当教員名	石動 瑞代 松居 紀久子						
実務経験	県内保育団体や行政組織が行う現任研修や研究に関わる。富山短期大学附属みどり幼稚園園長。								
開講時期	1年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)		後継科目	乳児保育						
関連科目									
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	乳児保育が社会と密接な関係にあることをふまえ、乳児保育の意義について学びます。また、乳児期の発達の特徴に応じた具体的保育方法や運営体制について考えます。基本的な乳児保育の技能の基礎となる知識・理論を身につけていきます。								
学習目標	乳児保育をめぐる社会状況を理解し、乳児保育の意義について理解する。 乳児期の発達の特徴を理解し、発達に応じた環境や保育方法について考えることができる。 乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解する。								
キーワード	乳児 三歳児神話 生命の保持 情緒の安定 発育・発達を踏まえた保育 職員の連携								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『見る・考える・創りだす 乳児保育』 CHS子育て文化研究所（萌文書林） 『保育所保育指針解説書』 厚生労働省編（フレーベル館）、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』内閣府・文								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 乳児期の発達の特徴について理解し、試験で正しく回答することができる。また、乳児の生活・遊びを支援するために必要な基礎的事項について説明できる。								
LO-2	【技能】 乳児の生活や遊びを支える教材を、適切に選択・活用する方法を身につけている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 乳児保育をめぐる社会状況をふまえて、乳児保育の意義を自らの視点で考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 乳児をめぐる研究知見や乳児向け用具等の把握に努め、乳児の発達支援技術の向上に努める。								
LO-5	【人間性・社会性】 乳児の主体性を尊重した保育援助や関わりを考えることができる。他者と協働しながら、遊びや生活の生活支援の方法を検討できる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60	10	20			10			100
LO-1	30	10							40
LO-2	10		10						20
LO-3	10								10
LO-4	10		10						20
LO-5						10			10
備考	その他 A は授業態度とする。 提出課題に対しては、口頭及び紙面によるコメントを行う。小テストは返却、定期試験は模範解答を示す。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	乳児とは何か オリエンテーション	
	【予習】教科書の目次と内容に目を通しておく。	5分
	【復習】講義内容をノートにまとめる。	10分
第2回	乳児保育の社会的役割 子育て家庭に対する支援をめぐる社会的状況と課題、乳児保育の意義について	
	【予習】前回の講義で提示されたテーマについて、自分の意見をまとめる。	15分
	【復習】乳児保育の社会的役割について、整理してまとめておく。	30分
第3回	乳児保育の機能 保育所保育指針で示される3つの視点と5つの領域	
	【予習】前回の講義で提示されたテーマについて、自分の意見をまとめる。	15分
	【復習】保育所保育指針を読み、課題シートを仕上げる	30分
第4回	3歳未満児の発達理解と保育 発育とケアの配慮点	
	【予習】講義ノート及び教科書の該当部分の内容を確認する。	15分
	【復習】3歳未満児の発育の特徴について、整理してまとめる。	20分
第5回	3歳未満児の発達理解と保育 運動機能の発達と保育環境	
	【予習】教科書の該当部分を読んでくる。	15分
	【復習】3歳未満児の運動発達について、整理してまとめる	20分
第6回	3歳未満児の発達理解と保育 認知機能の発達と保育環境	
	【予習】小テストに備えて、乳児の発達について学習する。	50分
	【復習】小テストに出題された内容を、再確認する。	10分
第7回	3歳未満児の生活と環境 排泄と食事 小テスト実施	
	【予習】排泄及び食事に関する商品について調べてくる。	30分
	【復習】3歳未満児の生活を支える用具や環境についてまとめる。	15分
第8回	3歳未満児の生活と環境 睡眠、着脱衣、衛生など	
	【予習】3歳未満児の睡眠や衣類、衛生に関する商品について調べてくる。	30分
	【復習】3歳未満児の睡眠や衣類、衛生に関する商品についてまとめる。	15分
第9回	3歳未満児の生活と環境 安全な環境づくり、事故防止等	
	【予習】教科書の該当部分を読んでくる。	15分
	【復習】安全な環境づくりのポイントをまとめる。	30分
第10回	3歳未満児の遊びと環境 人とのかかわりを基本とする遊び	
	【予習】人とのかかわりの発達について、確認する。	15分
	【復習】人とのかかわりを基本とする遊びのメニューを増やす(課題シート記入)	30分

第11回	3歳未満児の遊びと環境 自然とのかわり	
	【予習】自然との関わりが3歳未満児の発達に与える影響について考えてくる。	20分
	【復習】3歳未満児の発達を促す自然環境についてまとめる。	30分
第12回	3歳未満児の遊びと環境 ものとのかわりを基本とする遊び（保育教材の活用など）	
	【予習】歌遊びや絵本など、3歳未満児にふさわしいと思われる教材を調べてくる。	30分
	【復習】3歳未満児の遊びを促す保育教材についてまとめる。	30分
第13回	3歳未満児の発達に応じた援助や関わりポイントを一覧表として作成する。	
	【予習】グループで作成する課題シートにおける個々の分担部分を整理し、まとめてくる。	30分
	【復習】グループで、発達と生活・保育の表を完成する。	30分
第14回	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育における配慮、3歳以上児への移行時期の配慮	
	【予習】グループで課題シートを完成しておく。	30分
	【復習】子どもの発育・発達と生活や遊びとの関連を整理して理解する。 望ましい保育士の援助や配慮を再確認する。	30分
第15回	乳児保育の実際 ディアリープログラムと職員の連携	
	【予習】ディアリープログラムに目を通しておく。	15分
	【復習】これまでの学びをまとめる。定期試験の準備学習をする。	60分

授業科目名	乳児保育			科目コード	C135-11				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 特別保育		担当教員名	石動 瑞代					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	乳児保育		後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	実習での体験等を中心に、乳児保育における援助の目的や方法、保育者のあり方について、グループワーク中心に考察し、理解を深めていきます。また、親子関係や幼児期以降の発達にも目を向け、乳児保育をテーマ別に深く学んでいきます。								
学習目標	乳児保育の実際を理解する。 実際の保育場面に即した、乳児保育の関わりや方法、配慮について、考察することができる。 発達理論や保護者支援など、多面的な視点で乳児保育を考える。								
キーワード	認知発達と遊びの関係 応答的保育 親子関係 保育実践のふりかえり								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『見る・考える・創りだす 乳児保育』 CHS子育て文化研究所（萌文書林） 『保育所保育指針解説書』 厚生労働省編(フレール館)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 幼児期を見通した乳児の発達を理論的に理解し、筆記試験で正しく回答することができる。								
LO-2	【技能】 乳児保育の知識をふまえ、発達に合わせた教材を製作することができる。乳児への応答的保育の内容を理解し、場面による具体的な応答方法や態度を習得する。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 実習経験と乳児保育に関する知識を関連付けて考察し、適切な保育内容・方法について自ら考えることができる。実習場面における自己を省察し、文章化して評価することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 「親子関係」の視点で、乳児期の保育をとらえ、必要な支援や留意点を考察することができる。								
LO-5	【社会性・人間性】 自らの実習経験を他者に的確に伝えると同時に、他者の経験に耳を傾け、自らの学びにつなげようとする。他者と協働し、互いに学び合った内容を、わかりやすく発表する。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40	10	40			10			100
LO-1	20	10							30
LO-2			20						20
LO-3	10		10						20
LO-4	10								10
LO-5			10			10			20
備考	その他 A は 授業態度 提出課題に対しては口頭及び紙面によるコメントを行う。小テストは返却、定期テストは模範解答を示す。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	乳児保育の教材活用について	
	【予習】前期の授業をふまえて製作した教材の、利用方法をまとめ、発表の準備をする。	10分
	【復習】自分が製作した教材及びその活用法を評価する。他の学生の教材を見て学んだことを文章にまとめる。	30分
第2回	乳児保育の記録 乳児の姿をとらえる、 保育者の意図をとらえる	
	【予習】乳児保育 で学んだ知識及び実習関連の科目で学んだ「記録の方法」に関する知識を、確認しておく。これまでの実習記録で、保育者の意図を捉えた部分を確認しておく。	15分
	【復習】講義ノート（記録の視点）について、まとめる。	20分
第3回	乳児保育の実際 保育環境の構成	
	【予習】自主実習などの経験をふまえて、乳児の保育室の特徴についてまとめる。	20分
	【復習】他者の意見もふまえて、乳児の保育室の環境構成のポイントをまとめる。	20分
第4回	乳児保育の実際 子どもの発達と保育者の援助	
	【予習】自主実習などの経験をふまえて、乳児の発達と保育者の援助についての気づきをまとめる。	20分
	【復習】他者の意見もふまえて、乳児の保育室の環境構成のポイントをまとめる。	20分
第5回	乳児保育の実際 実習のふりかえり（グループワーク）	
	【予習】3歳未満児実習で学んだ内容を、テーマごとにまとめる。	20分
	【復習】グループで話し合いを基にした、発表資料をつくる。	25分
第6回	乳児保育の実際 実習のふりかえり（発表）	
	【予習】グループ発表の準備をする。	30分
	【復習】他のグループの発表を通して、新たに得た気づきをまとめる。質問項目を考えてくる。	15分
第7回	乳児保育の実際 実習のふりかえり（発表のまとめ）	
	【予習】各グループの発表メモに目を通しておく。	10分
	【復習】実習で得た乳児保育についての学びシートを完成させる。	30分
第8回	乳児の発達と保育 発達理論と保育課題（ピアジェ理論との関連）	
	【予習】教科書（基礎理論） 乳幼児期の心身の発達 2 認知の発達 を読んでおく。	15分
	【復習】ピアジェ発達理論の「乳児期～幼児期」にかけての特徴及び内容をまとめる。認知発達と遊びの関係についてまとめる。	30分
第9回	乳児の発達と保育 発達理論と保育課題（発達の最近接領域と足場づくり）	
	【予習】	0分
	【復習】ヴィゴツキーの「発達の最近接領域」と「足場作りのポイント」についてまとめる。課題シートを仕上げる。	30分
第10回	乳児保育における子どもの発達・親の発達 - 愛着をめぐる 小テスト実施	
	【予習】小テストのための学習準備をする。	40分
	【復習】小テストの問題内容を再度、確認しておく。	20分

第11回	乳児保育における子どもの発達・親の発達 - 気質・障害をめぐって	
	【予習】教科書（基礎理論） 乳幼児期の心身の発達 3 人間関係の発達 を読んでおく。	15分
	【復習】講義の内容をノートにまとめる。	20分
第12回	乳児保育における子どもの発達・親の発達 - 親子をつなぐ遊び	
	【予習】家庭ですすめたい乳児の遊びを調べる。	20分
	【復習】発表シートを完成する。	20分
第13回	乳児保育における子どもの発達・親の発達 - 遊びの紹介発表	
	【予習】発表準備を行う（資料作成、印刷等）。	20分
	【復習】親子をつなぐ遊びの概要と、紹介のポイントをまとめる。	20分
第14回	乳児保育における保育者のあり方	
	【予習】乳児保育における保育者のあり方について、自分の意見をまとめる。	20分
	【復習】講義の内容をノートにまとめる。	20分
第15回	乳児保育で大切なこと（まとめ）	
	【予習】これまでのノートの内容を、確認する。	20分
	【復習】これまでの学びの内容をまとめ、定期試験に備える。	30分

授業科目名	特別支援論			科目コード	C135-20				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 特別保育	担当教員名	河崎 美香						
実務経験									
開講時期	1年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要	特別支援教育を支える理念や制度、歴史の変遷を踏まえて、それぞれの障害の種類、原因、主な特性について理解し、特別の支援を必要とする子どもの理解と保育の在り方について考察する。インクルーシブ保育に必要な知識の習得を通して、保育者としての資質の向上を目指す。								
学習目標	1 特別支援教育を支える理念等について理解する。 2 障害に関する基礎知識を習得する。 3 特別の支援を必要とする子どもを含めた保育展開における環境設定の工夫や具体的配慮ができる実践力を身につける。								
キーワード	特別支援教育、特別な教育的ニーズ、インクルーシブ保育、特別支援学級、通級による指導、個別的教育支援計画、保護者支援、障害の受容、視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、言語障害、情緒障害、発達障害、自閉症スペクトラム								
テキスト・ 参考書等	伊丹昌一編著 「インクルーシブ保育論」 ミネルヴァ書房								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	乳幼児期における様々な障害に関する基礎知識と特別支援教育を支える理念や制度等について理解を深め、それを説明することができる。								
LO-2	保育者として情熱をもち、特別の支援を必要とする子どもが保育所・幼稚園で豊かな園生活ができるように、保育を構想し、展開する技術を習得している。								
LO-3	特別の支援を必要とする子どもの保育をめぐる様々な問題について積極的に発見に努め、的確な対応のできる視座を有している。								
LO-4	特別の支援を必要とする子どもの保育に関する自己の学習課題を明確にし、課題解明のために継続的に学習に取り組み、保育実践力の向上に努める。								
LO-5	保育者と特別の支援を必要とする子ども、保育者と保護者、保育者同士などの関係において、豊かな人間関係が築かれるコミュニケーション技術と態度を身につけ、深い愛情と豊かな感性をもって子どもに対応することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		30			20			100
LO-1	30					10			40
LO-2	20								20
LO-3			10			10			20
LO-4			10						10
LO-5			10						10
備考	Aは、受講態度や発表の仕方などを考慮する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション(授業のねらい、方法、評価等について説明) 特別支援教育を支える理念、障害の概念、障害児保育の歴史の変遷について	
	【予習】シラバスを読み、授業内容を把握する。 テキスト第1章 レッスン1(P2-P10)を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、障害の概念と歴史の変遷について整理する	90分
第2回	インクルーシブ保育 インクルーシブ保育という概念が生まれた経緯、インクルーシブ保育とは何か	
	【予習】テキスト第1章 レッスン2(P11-P21)を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、インクルーシブ保育について整理する	90分
第3回	身体面の支援の必要な子どもの理解と援助 身体面の支援が必要な子ども理解、保育場面における援助等	
	【予習】テキスト第2章 レッスン3(P24-P30)を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、身体面の支援の必要な子どもの援助について整理する	90分
第4回	感覚面の支援の必要な子どもの理解と援助 感覚について、感覚面の支援が必要な子どもの理解、保育現場における援助等	
	【予習】テキスト第2章 レッスン4(P31-P38)を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、感覚面の支援の必要な子どもに対する援助について整理する	90分
第5回	知的な面の支援の必要な子どもの理解と援助 知的障害のとらえ方、子どもの理解を助ける保育現場における援助等	
	【予習】テキスト第2章 レッスン5(P40-P47)を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、知的な面の支援の必要な子どもの援助について整理する	90分
第6回	愛着・コミュニケーション面の支援の必要な子どもの理解と援助 愛着やコミュニケーションに課題のある子どもの理解と保育現場における援助等	
	【予習】テキスト第2章 レッスン6(P48-P57)を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、愛着形成や言語・コミュニケーションについて整理する	90分
第7回	視覚面、聴覚面の支援の必要な子どもの理解と援助 視覚面、聴覚面の支援の必要な子どもの理解、保育現場における援助、専門機関との連携	
	【予習】視覚障害、聴覚障害について文献等を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、視覚障害、聴覚障害について学んだことを整理する	90分
第8回	行動面・学習面の支援の必要な子どもの理解と援助 ADHD、LDのある子どもの理解、疑似体験、保育現場における援助等	
	【予習】テキスト第2章 レッスン7(P58-P64)を読む ボタンのたくさん付いた洋服を着てくる。手袋(スノー手袋か軍手)持参してください。	90分
	【復習】授業内容を確認し、疑似体験を通して学んだことを整理する	90分
第9回	情緒面の支援の必要な子どもの理解と援助 情緒面の支援の必要な子どもの理解、場面緘黙、保育現場における援助等	
	【予習】テキスト第2章 レッスン8(P66-P72)を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、情緒面の支援の必要な子どもの援助について整理する	90分
第10回	個別の指導計画の作成、保育計画の実践と評価 個別の指導計画とは何か、作成手順、保育計画の実践、評価	
	【予習】テキスト第3章 レッスン9(P76-P87)を読む テキスト第3章 レッスン12(P111-P119)を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、個別の指導計画の作成手順であるPDCAサイクルについて整理する	90分

第11回	特別の支援を必要とする子どもの内面の育ち 子どもの行動観察や保護者からの情報等によるアセスメント、目標設定、援助の実際	
	【予習】前時までの授業内容を確認する	90分
	【復習】授業内容を確認し、整理する	90分
第12回	子どもの発達を促す生活や遊びの環境 子どもが分かりやすく居心地のよい環境設定、保育の場、発達支援の技法等	
	【予習】テキスト第3章 レッスン10 (P88～P98)を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、子どもにとって分かりやすく居心地がよい環境について整理する	90分
第13回	保護者や家族に対する理解と支援 特別の支援を必要とする子どもの保護者支援、障害受容、特別の支援を必要とする子どもを取り巻く家族の理解と支援	
	【予習】テキスト第4章 レッスン13 (P126～P133)を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、保護者の障害受容に関する文献を読む	90分
第14回	地域の専門機関等との連携と小学校等との連携 地域の関係機関との連携、連携の実際、小学校との連携、引継ぎ書の作成	
	【予習】テキスト第4章 レッスン14 (P134～P142)を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、専門機関等や小学校等との連携について整理する	90分
第15回	特別の支援を必要とする子どもをめぐる法整備、わが国のインクルーシブ保育の課題と展望 授業のまとめ	
	【予習】テキスト第4章 レッスン15 (P144～P152)を読む これまでの学習内容を確認し、まとめる。	90分
	【復習】授業内容を確認し、インクルーシブ保育の課題と展望について整理する 自らの学習達成度を評価し、理解の不十分なところは再度学習する。	90分

授業科目名	特別支援論			科目コード	C135-21				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 特別保育	担当教員名	明柴 聡史 河崎 美香						
実務経験									
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	特別支援論	後継科目							
関連科目	幼児理解と教育相談、子育て支援論								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	特別支援に関わるさまざまな課題について富山県内の保育現場での実践に基づいて考え、それらの解決策をグループによる討議や調べ学修を通して探り、実践力を身につける。								
学習目標	1 障害児保育を支える理念や歴史の変遷を知り、障害児保育の重要性を理解する。 2 障害の種類や障害に応じた保育展開への理解を深め、具体的な援助方法、環境設定についての実践力を身につける。 3 子どもの将来を見据えた、保育の記録や計画の立案について理解する。 4 関係機関との連携など、障害児の保育に関する実践的な内容や保護者支援の在り方を理解する。								
キーワード	特別支援教育、特別な教育的ニーズ、障害児保育、特別支援学校、特別支援学級、通級による指導、個別的教育支援計画、個別の指導計画、インクルーシブ教育、保護者支援、障害の受容、発達障害、自閉症スペクトラム、学習障害、注意欠陥多								
テキスト・ 参考書等	障害児の保育・福祉と特別支援教育、杉本 敏夫 監修、立花 直樹・中村 明美・松井 剛太・井上 和久 編著 保育福祉小六法								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	乳幼児期における様々な障害に関する基礎知識と障害児保育を支える理念や制度等について理解を深め、それを説明することができる。								
LO-2	保育者として情熱をもち、障害のある子どもが保育園・幼稚園で豊かな園生活ができるように、保育を構想し、展開する技術を習得している。								
LO-3	障害のある子どもの保育をめぐる様々な問題について積極的に発見に努め、的確な対応のできる視座を有している。								
LO-4	障害のある子どもの保育に関する自己の学習課題を明確にし、課題解明のために継続的に学習に取り組み、保育実践力の向上に努める。								
LO-5	保育者と障害のある子ども、保育者と保護者、保育者同士などの関係において、豊かな人間関係が築かれるコミュニケーション技術と態度を身につけ、深い愛情と豊かな感性をもって子どもに対応することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			50			20	30		100
LO-1			10				5		15
LO-2			10			5	5		20
LO-3			10			5	10		25
LO-4			10			5	5		20
LO-5			10			5	5		20
備考	その他 A は平常点（毎回の授業時の演習や小レポート及び受講態度等） Bは演習時の主体的参加や振り返りシートにより評価								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業スライド 障害児支援の理念と概要 「オリエンテーション」：授業方針の説明	
	【予習】障害児保育 を振り返る。	30分
	【復習】障害児保育、特別支援教育の理念を振り返り	40分
第2回	社会福祉・子ども家庭福祉・社会的養護専門科目対策：解答 「実習事例検討」 実習事例（児童養護施設等）のグループ討議 その他の特別な配慮を必要とする子どもの理解と援助 トピック:特別支援論	
	【予習】パスワード: Shien2 事例検討の流れについて確認しておく	30分
	【復習】【復習】事例検討を振り返り、まとめる	40分
第3回	「実習事例検討」 実習事例（障害児入所施設等）のグループ討議 肢体不自由児、知的障害児について理解する。 トピック:特別支援論	
	【予習】パスワード: Shien3 事例検討の流れについて確認しておく	30分
	【復習】【復習】事例検討を振り返り、まとめる	40分
第4回	「実習事例検討」 実習事例（障害者支援施設）のグループ討議 重症心身障害、強度行動障害について学ぶ。 トピック:特別支援論	
	【予習】パスワード: Shien4 事例検討の流れについて確認しておく	30分
	【復習】【復習】事例検討を振り返り、まとめる	40分
第5回	ノーマライゼーション社会の実現 障がい者の権利に関する条約を考える 児童福祉週間、児童の権利について考える	
	【予習】パスワード: Shien5 小六法を読み、条約から見る児童観、障害者観を考える	30分
	【復習】自らの障害観をもち、まとめる	40分
第6回	視覚・聴覚・言語障害児への支援と理解	
	【予習】実習での経験から障害を抱える子どもの保育の実際を振り返る。	30分
	【復習】視覚・聴覚・言語障害児の保育の在り方についてまとめる	40分
第7回	発達障害と気になる子どもの姿とサイン、子どものとらえ方と関わり方、遊びの環境（障害のある子に配慮したおもちゃについて）	
	【予習】実習での経験から障害を抱える子どもの保育の実際を振り返る。	30分
	【復習】幼児教育における障害児保育の現状と課題を整理する。	40分
第8回	発達障害 自閉症スペクトラム、特性に合わせた支援 実習中の課題提示	
	【予習】自閉症スペクトラムについて文献等で調べる。	30分
	【復習】自閉症スペクトラムの特性と保育の在り方についてまとめる。	40分
第9回	実習後 実習事例（発達障害の子どもの保育事例）グループ討議	
	【予習】実習中に観察した子どもの事例を事前課題用紙にまとめておく	30分
	【復習】事例検討の振り返りをまとめる。	50分
第10回	実習後 実習事例（発達障害の子どもの保育事例）代表事例のコンサルテーション	
	【予習】前回授業のまとめに目を通す、自分の事例を振り返る。	30分
	【復習】代表事例のコンサルテーションを振り返りまとめる。	40分

第11回	保護者への支援 共に子どもを育てる 保護者を支える 障害児に関する地域資源の情報提供	
	【予習】障害児の保護者への支援について、これまで学修したことを整理しておく。	30分
	【復習】障害児の保護者への支援についての現状と今後の課題についてまとめる。	50分
第12回	知的障害児への支援と理解	
	【予習】実習での経験から障害を抱える子どもの保育の実際を振り返る。	30分
	【復習】知的障害児への支援と課題をまとめる	50分
第13回	保育指導計画と幼稚園、保育園での支援体制、個別指導計画の作成	
	【予習】幼稚園、保育園での実習経験から障害をもつ子どもへの保育を考える。	30分
	【復習】個別指導計画、個別支援計画について確認する。	40分
第14回	医療的ケア児の現状と課題、支援について学ぶ 保健・医療・福祉・教育の連携における現状と課題	
	【予習】医療的ケア児とは何か事前に調べておく。	30分
	【復習】医療的ケア児の支援についてまとめる。	50分
第15回	共生社会の実現に向けた保育 家庭や関連機関、小学校との連携、保護者支援	
	【予習】保護者支援、関係機関、小学校との連携について文献等で調べる。	30分
	【復習】保育者にできる支援、求められていることについて整理する。	50分

授業科目名	社会的養護			科目コード	C135-30				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 特別保育		担当教員名	明柴 聡史					
実務経験									
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	社会的養護		後継科目						
関連科目	特別支援論 ・ 子ども家庭支援論「保育の本質・目的に関する科目」								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	子どもの権利擁護について理解を深め、社会的養護児童への理解と支援について考え、児童の心身の成長・発達を保障するための援助技能・知識を習得させ、児童観や倫理観を養う。								
学習目標	保育士として子どもの成長に向けての援助方法を理解する。								
キーワード	「子どもの権利擁護」「社会的養護の理念」「福祉施設の生活」「里親・里子」「心身の成長・発達保障」								
テキスト・ 参考書等	橋本好市・原田旬哉編著「保育と社会的養護実践」みらい 保育福祉小六法 みらい								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	社会的養護の理念を理解し、施設等で生活する子どもに対する支援について学ぶ								
LO-2	成長に向けた援助内容、方法、子どもの最善の利益を理解する								
LO-3	施設における児童観・児童福祉施設観を養う								
LO-4	子どもの心身の成長・発達を理解する								
LO-5	社会人としてのリーダー性、協調性、自主性などを考える								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50			10	20	20			100
LO-1	30				10	20			60
LO-2	10			10	5				25
LO-3	5								5
LO-4	5								5
LO-5					5				5
備考	Aは通常授業の中で評価								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション・教科のねらい、保育士としての教科の意味	
	【予習】テキストを見て、シラバスを読んでくる	30分
	【復習】社会的養護内容の授業の必要性について考えてみる	60分
第2回	子どもの権利擁護について考える	
	【予習】小六法の中から権利に関する法律を探してみる	90分
	【復習】子どもの最善の利益について考える	60分
第3回	子どもの権利を表現し、伝える	
	【予習】児童の権利に関する条約を咀嚼する	90分
	【復習】児童の権利を擁護する必要性について振り返る	90分
第4回	倫理綱領と苦情解決について考える	
	【予習】任意の3団体の倫理綱領を調べる	60分
	【復習】類似点について考え、苦情解決の仕組みの課題について考える	90分
第5回	社会的養護の理念と原理について考える	
	【予習】厚労省における社会的養護の理念と原理について調べる	90分
	【復習】社会的養護の理念及び原理が生かされていたか否かを振り返り、A4でレポート作成、提出	90分
第6回	社会的養護の理念と原理について考える	
	【予習】厚労省における社会的養護の理念と原理について調べる	90分
	【復習】社会的養護の理念及び原理が生かされていたか否かを振り返り、A4でレポート作成、提出	90分
第7回	児童虐待について考える	
	【予習】テキスト「心の傷を癒し、心を育むための援助」「虐待された子どもへの支援」「虐待への対応」を考える	60分
	【復習】虐待を受けてきた子どもへの支援について考える	60分
第8回	入所児童の心情について考える「日本の見捨てられた子どもたち」	
	【予習】テキスト「日常生活支援と諸施設の暮らし」「児童養護施設の暮らし」「乳児院と母子生活支援施設の暮らし」「里親家庭での暮らし」	60分
	【復習】入所児童の心情について振り返る	90分
第9回	里親制度について考える「夢が持てない」	
	【予習】テキスト「里親制度とは・里親養育の特徴」	60分
	【復習】里親の悩みについて考える	90分
第10回	フォーマル・インフォーマルな子育て支援について考える「こうのとりのゆりかご」	
	【予習】海外の赤ちゃんポスの現状を調べる	60分
	【復習】出生前診断の課題を保育士としての視点で考える	90分

第11回	フォーマル・インフォーマルな子育て支援について考える	
	【予習】 海外の赤ちゃんボスの現状を調べる	60分
	【復習】 出生前診断の課題を保育士としての視点で考える	90分
第12回	児童相談所について考える	
	【予習】 児童相談所の現状、専門性は何か調べてくる	60分
	【復習】 児童相談所の課題について考える	90分
第13回	障害のある子どもと大人への支援について考える	
	【予習】 バリアフリーとユニバーサルデザインについて調べてくる	90分
	【復習】 身近な生活の中で、バリアフリーを考える。	90分
第14回	障がいのある施設での支援について考える	
	【予習】 被措置児童等虐待、障害者虐待について考える	90分
	【復習】 これまでの人生と障害のある人とのかかわりを考える	90分
第15回	障がいのある施設での支援について考える	
	【予習】 被措置児童等虐待、障害者虐待について考える	90分
	【復習】 権利擁護を理解した保育士の在り方を理解する	90分

授業科目名	子育て支援			科目コード	C135-40				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 特別保育	担当教員名	明柴 聡史						
実務経験									
開講時期	2年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	子ども家庭福祉 社会的養護 社会福祉	後継科目	子育て支援						
関連科目	子どもの理解と援助 幼児理解 教育相談								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	保育実践やその他の社会福祉実践における相談援助について、「概要」「方法と技術」「具体的展開」「事例分析」を柱として学び、ケアワークに加えてソーシャルワークの力をもった保育士となるための基礎を養う。								
学習目標	相談援助の概要、方法と技術、具体的展開の基礎的事項について理解する。 保育におけるソーシャルワークの応用と事例分析を通して対象への理解を深める。								
キーワード	子育て支援、計画と記録と評価、関係機関との連携・協働								
テキスト・ 参考書等	テキスト：西尾祐吾監修『保育者の協働性を高める子ども家庭支援・子育て支援』（晃洋書房） 参考書：保育福祉小六法								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 相談援助の概要、方法と技術、具体的展開など、保育士として必要な相談援助の基礎知識を身につける。								
LO-2	【技能】 自己覚知、共感的理解、援助的コミュニケーションなど、相談援助に必要な基本的技術を身につける。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 事例等の検討を通して、対象への理解を深めるとともに相談援助の知識や技術について学びを深める。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 保育における相談援助の必要性を把握し、ニーズに応じた相談援助の実践力の向上に努める。								
LO-5	【社会性・人間性】 ディスカッションやグループワークに積極的に参加し、他者との協働を図ることができる。相談援助者に必要な心構えや態度、価値を身につける。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		30			20			100
LO-1	30					10			40
LO-2						5			5
LO-3	20		10			5			35
LO-4			10						10
LO-5			10						10
備考	その他Aは、授業参加態度及びワーク等の際に提出する「ふりかえりシート」等の評価 定期試験実施後、模範解答を示し、誤答の多い問題については解説する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「オリエンテーション」：授業方針の説明 本授業の概要を把握し、授業のねらいや授業計画を理解する 実習事例提出	
	【予習】シラバスを読み、本授業内容を把握する	15分
	【復習】授業の全体像について確認する	30分
第2回	「実習事例検討」 実習事例（児童養護施設等）のグループ討議	
	【予習】事例検討の流れについて確認しておく	15分
	【復習】事例検討を振り返り、まとめる	30分
第3回	「実習事例検討」 実習事例（障害児入所施設等）のグループ討議	
	【予習】事例検討の流れについて確認しておく	15分
	【復習】事例検討を振り返り、まとめる	30分
第4回	「保育と相談援助」 生活課題の解決と援助 保育と相談援助	
	【予習】保育と相談援助のかかわりやその役割などについて、テキスト第1章、参考文献等で確認する	15分
	【復習】保育と相談援助の関係について、授業内容を確認し、理解を深める	30分
第5回	「相談援助とは何か」(1) 相談援助の意味と視点 相談援助の機能と方法	
	【予習】相談援助の基本的な内容について、テキスト第2章、参考文献等で確認する	15分
	【復習】相談援助の基本的な内容について、授業内容を確認し、理解を深める	30分
第6回	「相談援助とは何か」(2) 相談援助の原則と倫理	
	【予習】相談援助の原則と倫理について、テキスト第2章、参考文献等で確認する	15分
	【復習】相談援助の原則と倫理について、授業内容を確認し、理解を深める	30分
第7回	「相談援助の過程と連携」 相談援助の過程 関係機関との連携、ネットワーク	
	【予習】相談援助の過程と連携について、テキスト第3章、参考文献等で確認する	15分
	【復習】相談援助の過程と連携について、授業内容を確認し、理解を深める	30分
第8回	「相談援助者になるために1（自己覚知）」(1) 自己覚知とは ワーク 自分のイメージ	
	【予習】自己覚知について、テキスト第4章、参考文献等で確認する	15分
	【復習】自己覚知について、ワーク「自分のイメージ」をふりかえり、理解を深める	30分
第9回	「相談援助者になるために1（自己覚知）」(2) ワーク 私を知る - 私という「私」 -	
	【予習】自己覚知について、テキスト第4章、参考文献等で確認する	15分
	【復習】自己覚知について、ワーク「私という「私」」をふりかえり、理解を深める	30分
第10回	6月11日相談援助の過程 「相談援助者になるために1（自己覚知）」(3) ワーク 私の価値観	
	【予習】自己覚知について、テキスト第4章、参考文献等で確認する	15分
	【復習】自己覚知について、ワーク「私の価値観」をふりかえり、理解を深める	30分

第11回	「相談援助者になるために2（他者理解）」(1) 他者を理解すること（価値観の多様性） ワーク 価値観について	
	【予習】他者理解について、テキスト第5章、参考文献等で確認する	15分
	【復習】他者理解について、ワーク「価値観について」をふりかえり、理解を深める	30分
第12回	「相談援助者になるために2（他者理解）」(2) 共感的理解 ワーク 共感の体験・傾聴すること、されること	
	【予習】他者理解について、テキスト第5章、参考文献等で確認する	15分
	【復習】他者理解について、ワーク「共感の体験」をふりかえり、理解を深める	30分
第13回	「相談援助者になるために3（コミュニケーション）」(1) 保育におけるコミュニケーションとは ワーク コミュニケーションと体の感覚	
	【予習】保育におけるコミュニケーションについて、テキスト第6章、参考文献等で確認する	15分
	【復習】保育におけるコミュニケーションについて、ワーク「コミュニケーションと体の感覚」をふりかえり、理解を深める	30分
第14回	「相談援助者になるために3（コミュニケーション）」(2) 非言語コミュニケーションとは ワーク 非言語コミュニケーション（姿勢・態度・距離）	
	【予習】非言語コミュニケーションについて、テキスト第6章、参考文献等で確認する	15分
	【復習】非言語コミュニケーションについて、ワーク「非言語コミュニケーション」をふりかえり、理解を深める	30分
第15回	「相談援助者になるために3（コミュニケーション）」(3) 援助的コミュニケーションとは - 基本的応答技法 - ワーク コミュニケーションの理解	
	【予習】援助的コミュニケーションについて、テキスト第6章、参考文献等で確認する	15分
	【復習】援助的コミュニケーションについて、ワーク「コミュニケーション（言語・非言語）の理解」をふりかえり、理解を深める	30分

授業科目名	音楽表現技術 (Aグループ)			科目コード	C141-10				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 音楽表現	担当教員名	難波 純子 武藤 憲夫 大村 禎子						
実務経験									
開講時期	1年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	楽典(音楽の決まりごと)	後継科目	音楽表現技術、音楽表現特講						
関連科目	子どもと音楽表現、保育内容(音楽表現)指導法								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	歌唱や読譜(楽譜を読む)などの保育に必要な音楽表現の実技演習を中心として、音楽の楽しさにふれながら創造性を養い、保育者としての表現力を高める。子どもの表現を豊かに展開するために必要な音楽の基礎知識と基礎技術を培う。								
学習目標	毎週、ソルフェージュのテキストに沿って歌の課題に取り組み、音程やリズムなどを判断し、読譜力や歌唱力を高めることを目標とする。								
キーワード	ソルフェージュ 歌唱 読譜 器楽(ピアノ)								
テキスト・ 参考書等	テキスト:『こどものための音感ソルフェージュ』内藤雅子著 デプロMP 『新・幼児の音楽教育』井口太編 朝日出版社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】歌唱や楽器演奏をするために必要不可欠な楽典(音楽の決まり)を理解し、楽譜を読むことができる。								
LO-2	【技能】創意工夫を生かした音楽表現をするために、音符を正しく読みとる基礎技能を身につけ、正確な音程で表情豊かに歌うことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】楽譜から音楽を形づくっている要素を知覚し、音程・リズム・音型の判断をしながら、歌唱につなげることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】音楽に関心をもち、歌唱の学習に主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】グループやペアでの合唱などに積極的に参加し、他者との関係づくりができる。								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)					80	20			100
LO-1					20				20
LO-2					20				20
LO-3					20				20
LO-4						20			20
LO-5					20				20
備考	この科目は、90分1コマの授業を45分ずつに分け、「ソルフェージュ」と「器楽(ピアノ等)」・「幼児の歌」のそれぞれを演習します。従って、クラスを半分の人数に分けて前半・後半と入れ替えて実施します。評価については、平素の授業に取り組む姿勢(20%)、ソルフェージュ(40%)、器楽・幼児の歌(40%)とし、総合的に評価します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（授業内容、目的、方法についての説明） アンケート調査を実施し、ピアノ等の未経験者と既経験者の習熟度別に、グループ分けをする。	
	【予習】シラバスを読み、授業内容（練習曲）を把握する。 L: ぶんぶんぶん	10分
	【復習】授業の進め方や、自分のグループなど、全体像を確認する。	10分
第2回	S: 【Cコードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、輪唱「小鳥がうたう」テキストp.4-7 L: ぶんぶんぶん	
	【予習】S: 【Cコードの構成音を階名でうたう】階名唱、輪唱「かえるの合唱」「りんごの木」テキストp.8-14 L: ちょうちょう	30分
	【復習】S: 【Cコードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、輪唱「小鳥がうたう」テキストp.4-7 L: ぶんぶんぶん	20分
第3回	S: 【Cコードの構成音を階名でうたう】階名唱、輪唱「かえるの合唱」「りんごの木」テキストp.8-14 L: ちょうちょう	
	【予習】S: 【Gコードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、カデンツ唱 テキストp.16-19 L: メリーさんの羊	30分
	【復習】S: 【Cコードの構成音を階名でうたう】階名唱、輪唱「かえるの合唱」「りんごの木」テキストp.8-14 L: ちょうちょう	20分
第4回	S: 【Gコードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、カデンツ唱 テキストp.16-19 L: メリーさんの羊	
	【予習】S: 【C,Gコードの構成音を階名でうたう】練習No.1～No.11 テキストp.20-23 L: きらきらぼし	30分
	【復習】S: 【Gコードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、カデンツ唱 テキストp.16-19 L:	20分
第5回	S: 【C,Gコードの構成音を階名でうたう】練習No.1～No.11 テキストp.20-23 L: きらきらぼし	
	【予習】S: 【伴奏に合わせてうたう】「かじやのピーター」「竹馬あそび」「河はよんでる」「タマゴとニワトリ」テキストp.24-33 L: これまでに演習したことを確認する	30分
	【復習】S: 【C,Gコードの構成音を階名でうたう】練習No.1～No.11 テキストp.20-23 L: きらきらぼし	20分
第6回	S: 【伴奏に合わせてうたう】「かじやのピーター」「竹馬あそび」「河はよんでる」「タマゴとニワトリ」テキストp.24-33 L: これまでに演習したことを確認する	
	【予習】【Fコードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、カデンツ唱 テキストp.34-37 L: ちゅうりっぷ	30分
	【復習】【伴奏に合わせてうたう】「かじやのピーター」「竹馬あそび」「河はよんでる」「タマゴとニワトリ」テキストp.24-33 L: これまでに演習したことを確認する	20分
第7回	S: 【Fコードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、カデンツ唱 テキストp.34-37 L: ちゅうりっぷ	
	【予習】S: 【C,G,Fコードの構成音を階名でうたう】練習No.1～No.10 テキストp.38-41 L: ぞうさん	30分
	【復習】S: 【Fコードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、カデンツ唱 テキストp.34-37 L: ちゅうりっぷ	20分
第8回	S: 【C,G,Fコードの構成音を階名でうたう】練習No.1～No.10 テキストp.38-41 L: ぞうさん	
	【予習】S: 【伴奏に合わせてうたう】「ぞうさんとくもの巣」「たまご」テキストp.42-43 L: これまでに演習したことを確認する	30分
	【復習】S: 【C,G,Fコードの構成音を階名でうたう】練習No.1～No.10 テキストp.38-41 L: ぞうさん	20分
第9回	S: 【伴奏に合わせてうたう】「ぞうさんとくもの巣」「たまご」テキストp.42-43 L: これまでに演習したことを確認する	
	【予習】S: 【伴奏に合わせてうたう】「アマリリス」「こぎつね」テキストp.44-46 L: おはながわらった	30分
	【復習】S: 【伴奏に合わせてうたう】「ぞうさんとくもの巣」「たまご」テキストp.42-43 L: これまでに演習したことを確認する	20分
第10回	S: 【伴奏に合わせてうたう】「アマリリス」「こぎつね」テキストp.44-46 L: おはながわらった	
	【予習】S: 【G7コードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、カデンツ唱 テキストp.52-55 L: おつかいありさん	30分
	【復習】S: 【伴奏に合わせてうたう】「アマリリス」「こぎつね」テキストp.44-46 L: おはながわらった	20分

第11回	S:【G7コードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、カデンツ唱 テキストp.52-55 L:おつかいありさん	
	【予習】S:【C,G,F,G7コードの構成音を階名でうたう】練習No.1～No.11 テキストp.56-59 L:これまでに演習したことを確認する	30分
	【復習】S:【G7コードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、カデンツ唱 テキストp.52-55 L:おつかいありさん	20分
第12回	S:【C,G,F,G7コードの構成音を階名でうたう】練習No.1～No.11 テキストp.56-59 L:これまでに演習したことを確認する	
	【予習】S:【伴奏に合わせてうたう】「なかよしマーチ」「あわてんぼうの歌」「山のボルカ」 テキストp.62-67 L:タンプリンのわ	30分
	【復習】S:【C,G,F,G7コードの構成音を階名でうたう】練習No.1～No.11 テキストp.56-59 L:これまでに演習したことを確認する	20分
第13回	S:【伴奏に合わせてうたう】「なかよしマーチ」「あわてんぼうの歌」「山のボルカ」 テキストp.62-67 L:タンプリンのわ	
	【予習】S:これまでに演習した内容を確認しておく。 L:これまでに演習したことを確認する	20分
	【復習】S:【伴奏に合わせてうたう】「なかよしマーチ」「あわてんぼうの歌」「山のボルカ」 テキストp.62-67 L:タンプリンのわ	20分
第14回	S:「授業のまとめ」 テキストに基づいて、これまでに演習した内容を確認する。 L:これまでに演習したことを確認する	
	【予習】S:実技発表に向け、指定されたペアで合唱の練習をする。 L:実技発表に向け、課題曲を練習する。	20分
	【復習】S:これまでに演習した内容を確認する。 L:これまでに演習したことを確認する	20分
第15回	S:実技発表(指定されたペア) L:実技発表	
	【予習】これまでの演習内容を確認し、楽典(音楽の決まりごと)について再度学習し、今後の器楽演奏にもつなげていくため、理解を深めておく。	15分
	【復習】S:自らの理解度・達成度を評価し、不十分なところは再度学習し理解を深めておく。 L:これまでに演習したことを確認する	10分

授業科目名	音楽表現技術 (Bグループ)			科目コード	C141-10				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 音楽表現	担当教員名	難波 純子 玉井 恵子 大林 規子						
実務経験									
開講時期	1年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	楽典(音楽の決まりごと)	後継科目	音楽表現技術、音楽表現特講						
関連科目	子どもと音楽表現、保育内容(音楽表現)指導法								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	歌唱や読譜(楽譜を読む)などの保育に必要な音楽表現の実技演習を中心として、音楽の楽しさにふれながら創造性を養い、保育者としての表現力を高める。子どもの表現を豊かに展開するために必要な音楽の基礎知識と基礎技術を培う。								
学習目標	毎週、ソルフェージュのテキストに沿って歌の課題に取り組み、音程やリズムなどを判断し、読譜力や歌唱力を高めることを目標とする。								
キーワード	ソルフェージュ 歌唱 読譜 器楽(ピアノ)								
テキスト・ 参考書等	テキスト:『こどものための音感ソルフェージュ』内藤雅子著 デプロMP 『新・幼児の音楽教育』井口太編 朝日出版社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】歌唱や楽器演奏をするために必要不可欠な楽典(音楽の決まり)を理解し、楽譜を読むことができる。								
LO-2	【技能】創意工夫を生かした音楽表現をするために、音符を正しく読みとる基礎技能を身につけ、正確な音程で表情豊かに歌うことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】楽譜から音楽を形づくっている要素を知覚し、音程・リズム・音型の判断をしながら、歌唱につなげることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】音楽に関心をもち、歌唱の学習に主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】グループやペアでの合唱などに積極的に参加し、他者との関係づくりができる。								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)					80	20			100
LO-1					20				20
LO-2					20				20
LO-3					20				20
LO-4						20			20
LO-5					20				20
備考	この科目は、90分1コマの授業を45分ずつに分け、「ソルフェージュ」と「器楽(ピアノ等)」・「幼児の歌」のそれぞれを演習します。従って、クラスを半分の数に分けて前半・後半と入れ替えて実施します。評価については、平素の授業に取り組む姿勢(20%)、ソルフェージュ(40%)、器楽・幼児の歌(40%)とし、総合的に評価します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション(授業内容、目的、方法についての説明) アンケート調査を実施し、ピアノ等の未経験者と既経験者の習熟度別に、グループ分けをする。	
	【予習】シラバスを読み、授業内容(練習曲)を把握する。 L: おはながわらった テキストp.139	10分
	【復習】授業の進め方や、自分のグループなど、全体像を確認する。	10分
第2回	S: 【Cコードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、輪唱「小鳥がうたう」テキストp.4-7 L: おはながわらった テキストp.139	
	【予習】S: 【Cコードの構成音を階名でうたう】階名唱、輪唱「かえるの合唱」「りんごの木」テキストp.8-14 L: こいのぼり テキストp.152	30分
	【復習】S: 【Cコードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、輪唱「小鳥がうたう」テキストp.4-7 L: おはながわらった テキストp.139	20分
第3回	S: 【Cコードの構成音を階名でうたう】階名唱、輪唱「かえるの合唱」「りんごの木」テキストp.8-14 L: こいのぼり テキストp.152	
	【予習】S: 【Gコードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、カデンツ唱 テキストp.16-19 L: 小鳥の歌 テキストp.152	30分
	【復習】S: 【Cコードの構成音を階名でうたう】階名唱、輪唱「かえるの合唱」「りんごの木」テキストp.8-14 L: こいのぼり テキストp.152	20分
第4回	S: 【Gコードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、カデンツ唱 テキストp.16-19 L: 小鳥の歌 テキストp.152	
	【予習】S: 【C,Gコードの構成音を階名でうたう】練習No.1~No.11 テキストp.20-23 L: ぞうさん テキストp.161	30分
	【復習】S: 【Gコードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、カデンツ唱 テキストp.16-19 L: 小鳥の歌 テキストp.152	20分
第5回	S: 【C,Gコードの構成音を階名でうたう】練習No.1~No.11 テキストp.20-23 L: ぞうさん テキストp.161	
	【予習】S: 【伴奏に合わせてうたう】「かじやのピーター」「竹馬あそび」「河はよんでる」「タマゴとニワトリ」テキストp.24-33 L: にじのむこうに テキストp.176	30分
	【復習】S: 【C,Gコードの構成音を階名でうたう】練習No.1~No.11 テキストp.20-23 L: ぞうさん テキストp.161	20分
第6回	S: 【伴奏に合わせてうたう】「かじやのピーター」「竹馬あそび」「河はよんでる」「タマゴとニワトリ」テキストp.24-33 L: にじのむこうに テキストp.176	
	【予習】【Fコードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、カデンツ唱 テキストp.34-37 L: しゃぼんだま テキストp.158	30分
	【復習】【伴奏に合わせてうたう】「かじやのピーター」「竹馬あそび」「河はよんでる」「タマゴとニワトリ」テキストp.24-33 L: にじのむこうに テキストp.176	20分
第7回	S: 【Fコードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、カデンツ唱 テキストp.34-37 L: しゃぼんだま テキストp.158	
	【予習】S: 【C,G,Fコードの構成音を階名でうたう】練習No.1~No.10 テキストp.38-41 L: うみ テキストp.135	30分
	【復習】S: 【Fコードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、カデンツ唱 テキストp.34-37 L: しゃぼんだま テキストp.158	20分
第8回	S: 【C,G,Fコードの構成音を階名でうたう】練習No.1~No.10 テキストp.38-41 L: うみ テキストp.135	
	【予習】S: 【伴奏に合わせてうたう】「ぞうさんとくもの巣」「たまご」テキストp.42-43 L: とんでったバナナ テキストp.170	30分
	【復習】S: 【C,G,Fコードの構成音を階名でうたう】練習No.1~No.10 テキストp.38-41 L: うみ テキストp.135	20分
第9回	S: 【伴奏に合わせてうたう】「ぞうさんとくもの巣」「たまご」テキストp.42-43 L: とんでったバナナ テキストp.170	
	【予習】S: 【伴奏に合わせてうたう】「アマリリス」「こぎつね」テキストp.44-46 L: サッチャン テキストp.155	30分
	【復習】S: 【伴奏に合わせてうたう】「ぞうさんとくもの巣」「たまご」テキストp.42-43 L: とんでったバナナ テキストp.170	20分
第10回	S: 【伴奏に合わせてうたう】「アマリリス」「こぎつね」テキストp.44-46 L: サッチャン テキストp.155	
	【予習】S: 【G7コードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、カデンツ唱 テキストp.52-55 L: たなばたさま テキストp.165	30分
	【復習】S: 【伴奏に合わせてうたう】「アマリリス」「こぎつね」テキストp.44-46 L: サッチャン テキストp.155	20分

第11回	S:【G7コードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、カデンツ唱 テキストp.52-55 L:たなばたさま テキストp.165	
	【予習】S:【C,G,F,G7コードの構成音を階名でうたう】練習No.1~No.11 テキストp.56-59 L:かわいいかくれんぼ テキストp.149	30分
	【復習】S:【G7コードをききながらうたう】分散和音唱、分離唱、カデンツ唱 テキストp.52-55 L:たなばたさま テキストp.165	20分
第12回	S:【C,G,F,G7コードの構成音を階名でうたう】練習No.1~No.11 テキストp.56-59 L:かわいいかくれんぼ テキストp.149	
	【予習】S:【伴奏に合わせてうたう】「なかよしマーチ」「あわてんぼうの歌」「山のボルカ」 テキストp.62-67 L:山の音楽家 テキストp.187	30分
	【復習】S:【C,G,F,G7コードの構成音を階名でうたう】練習No.1~No.11 テキストp.56-59 L:かわいいかくれんぼ テキストp.149	20分
第13回	S:【伴奏に合わせてうたう】「なかよしマーチ」「あわてんぼうの歌」「山のボルカ」 テキストp.62-67 L:山の音楽家 テキストp.187	
	【予習】S:これまでに演習した内容を確認しておく。 L:おつかいありさん テキストp.141	20分
	【復習】S:【伴奏に合わせてうたう】「なかよしマーチ」「あわてんぼうの歌」「山のボルカ」 テキストp.62-67 L:山の音楽家 テキストp.187	20分
第14回	S:「授業のまとめ」 テキストに基づいて、これまでに演習した内容を確認する。 L:おつかいありさん テキストp.141	
	【予習】S:実技発表に向け、指定されたペアで合唱の練習をする。 L:犬のおまわりさん テキストp.132	20分
	【復習】S:これまでに演習した内容を確認する。 L:おつかいありさん テキストp.141	20分
第15回	S:実技発表(指定されたペア) L:犬のおまわりさん テキストp.132	
	【予習】これまでの演習内容を確認し、楽典(音楽の決まりごと)について再度学習し、今後の器楽演奏にもつなげていくため、理解を深めておく。	15分
	【復習】S:自らの理解度・達成度を評価し、不十分なところは再度学習し理解を深めておく。 L:犬のおまわりさん テキストp.132	10分

授業科目名	音楽表現技術 (Aグループ)			科目コード	C141-11				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 音楽表現	担当教員名	難波 純子 玉井 恵子 大林 規子						
実務経験									
開講時期	1年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	楽典(音楽の決まりごと)、音楽表現技術	後継科目	音楽表現特講						
関連科目	子どもと音楽表現、保育内容(音楽表現)指導法								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	「歌あそび」と器楽(ピアノ等)・幼児の歌を1時間ずつ演習します。器楽・幼児の歌においては2つのグループ(A・B)で、それぞれの経験に合わせた学習を行います。さらに保育に必要な音楽基礎技能を、音楽の楽しさにふれながら高めます。器楽・幼児の歌(1時間)は前期同様の形態で行い、さらに内容を深めます。								
学習目標	毎週幼児の歌の課題を練習し、歌唱やピアノなどの音楽表現能力を高めます。また幅広い音楽体験により、多様な表現力を養うことを目標とします。								
キーワード	歌あそび 器楽(ピアノ) 幼児の歌								
テキスト・ 参考書等	テキスト 井口 太 編「新・幼児の音楽教育」朝日出版社(2014) テキスト 小林 美実 編「音楽リズム」東京書籍(1984)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】歌唱や器楽(ピアノ)演奏をするために必要不可欠な楽典(音楽の決まり)を理解し、楽譜を読むことができる。								
LO-2	【技能】創意工夫を生かした音楽表現をするために、音符を正しく読みとる基礎技能を身につけ、正確な音程で表情豊かに歌うことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】楽譜から音楽を形づくっている要素を知覚し、音程・リズム・音型の判断をしながら、歌唱や器楽(ピアノ)演奏につなげることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】幼児の歌に関心をもち、歌唱や器楽(ピアノ)の学習に主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】グループやペアでの合唱や演奏、歌あそびの発表などに積極的に参加し、他者との関係づくりができる。								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)					80	20			100
LO-1					20				20
LO-2					20				20
LO-3					20				20
LO-4						20			20
LO-5					20				20
備考	この科目は、前期同様、90分1コマの授業を45分ずつに分け、「歌あそび・手あそび」と「器楽(ピアノ等)」・「幼児の歌」のそれぞれを演習します。従って、クラスを半分の人数に分けて前半・後半と入れ替えて実施します。評価については、平素の授業に取り組む姿勢 表のAに該当します(20%)、歌あそび(40%)、器楽・幼児の歌(40%)とし、総合的に評価します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	1年前期の音楽表現技術 での学習をふまえ、後期の授業の目的や内容を説明します。	
	【予習】【歌あそび】 とんぼのめがね テキスト p.172 p.100 【器楽・幼児の歌】 先生とおともたち テキスト p.68、 こおろぎ テキスト p.153 p.111	30分
	【復習】シラバスを読み、授業内容(課題曲)をテキスト(楽譜)と照らし合わせて把握する。	60分
第2回	【歌あそび】 とんぼのめがね テキスト p.172 p.100 【器楽・幼児の歌】 先生とおともたち テキスト p.68、 こおろぎ テキスト p.153 p.111	
	【予習】【歌あそび】 こぶたぬきつねこ テキスト p.36 【器楽・幼児の歌】 もりのくまさん テキスト p.186-187 p.52-53 まつぼっくり テキスト p.182 p.114	20分
	【復習】【歌あそび】 とんぼのめがね テキスト p.172 p.100 【器楽・幼児の歌】 先生とおともたち テキスト p.68、 こおろぎ テキスト p.153 p.111	20分
第3回	【歌あそび】 こぶたぬきつねこ テキスト p.36 【器楽・幼児の歌】 もりのくまさん テキスト p.186-187 p.52-53 まつぼっくり テキスト p.182 p.114	
	【予習】【歌あそび】 おおきなたいこ テキスト p.135 p.31 【器楽・幼児の歌】 おかあさん テキスト p.138 p.62 せかいじゅうのこどもたちが テキスト p.160-161	20分
	【復習】【歌あそび】 こぶたぬきつねこ テキスト p.36 【器楽・幼児の歌】 もりのくまさん テキスト p.186-187 p.52-53 まつぼっくり テキスト p.182 p.114	20分
第4回	【歌あそび】 おおきなたいこ テキスト p.135 p.31 【器楽・幼児の歌】 おかあさん テキスト p.138 p.62 せかいじゅうのこどもたちが テキスト p.160-161	
	【予習】【歌あそび】 いもほりのうた テキスト p.106 【器楽・幼児の歌】 山のワルツ テキスト p.188-189 p.224-225 インディアンがとる テキスト p.137	20分
	【復習】【歌あそび】 おおきなたいこ テキスト p.135 p.31 【器楽・幼児の歌】 おかあさん テキスト p.138 p.62 せかいじゅうのこどもたちが テキスト p.160-161	20分
第5回	【歌あそび】 いもほりのうた テキスト p.106 【器楽・幼児の歌】 山のワルツ テキスト p.188-189 p.224-225 インディアンがとる テキスト p.137	
	【予習】【歌あそび】 ふしぎなポケット テキスト p.180 p.48 【器楽・幼児の歌】 やぎさんゆうびん テキスト p.190 p.223 やきいもグーチーパー テキスト p.189	20分
	【復習】【歌あそび】 いもほりのうた テキスト p.106 【器楽・幼児の歌】 山のワルツ テキスト p.188-189 p.224-225 インディアンがとる テキスト p.137	20分
第6回	【歌あそび】 ふしぎなポケット テキスト p.180 p.48 【器楽・幼児の歌】 やぎさんゆうびん テキスト p.190 p.223 やきいもグーチーパー テキスト p.189	
	【予習】【歌あそび】 カレーライスのうた テキスト p.147 【器楽・幼児の歌】 ガンバリマンのうた テキスト p.150 大きなうた テキスト p.136	20分
	【復習】【歌あそび】 ふしぎなポケット テキスト p.180 p.48 【器楽・幼児の歌】 やぎさんゆうびん テキスト p.190 p.223 やきいもグーチーパー テキスト p.189	20分
第7回	【歌あそび】 カレーライスのうた テキスト p.147 【器楽・幼児の歌】 ガンバリマンのうた テキスト p.150 大きなうた テキスト p.136	
	【予習】【歌あそび】 コンコンクシャンのうた テキスト p.126 【器楽・幼児の歌】 あわてんぼうのサンタクロース テキスト p.130 p.118-119 線路はつづくよどこまでも テキスト p.162	20分
	【復習】【歌あそび】 カレーライスのうた テキスト p.147 【器楽・幼児の歌】 ガンバリマンのうた テキスト p.150 大きなうた テキスト p.136	20分
第8回	【歌あそび】 コンコンクシャンのうた テキスト p.126 【器楽・幼児の歌】 あわてんぼうのサンタクロース テキスト p.130 p.118-119 線路はつづくよどこまでも テキスト p.162	
	【予習】【歌あそび】 おもちゃのチャチャチャ テキスト p.143 【器楽・幼児の歌】 ゴリラのうた テキスト p.153 p.183 ふうせん テキスト p.179	20分
	【復習】【歌あそび】 コンコンクシャンのうた テキスト p.126 【器楽・幼児の歌】 あわてんぼうのサンタクロース テキスト p.130 p.118-119 線路はつづくよどこまでも テキスト p.162	20分
第9回	【歌あそび】 おもちゃのチャチャチャ テキスト p.143 【器楽・幼児の歌】 ゴリラのうた テキスト p.153 p.183 ふうせん テキスト p.179	
	【予習】【歌あそび】 バスごっこ テキスト p.46 【器楽・幼児の歌】 アイアイ テキスト p.124-125 p.132-133 ジングルベル テキスト p.159 p.124	20分
	【復習】【歌あそび】 おもちゃのチャチャチャ テキスト p.143 【器楽・幼児の歌】 ゴリラのうた テキスト p.153 p.183 ふうせん テキスト p.179	20分
第10回	【歌あそび】 バスごっこ テキスト p.46 【器楽・幼児の歌】 アイアイ テキスト p.124-125 p.132-133 ジングルベル テキスト p.159 p.124	
	【予習】【歌あそび】 にじのむこうに テキスト p.176 【器楽・幼児の歌】 手のひらを太陽に テキスト p.168-169 p.196-198 雪のペンキやさん テキスト p.192 p.130	20分
	【復習】【歌あそび】 バスごっこ テキスト p.46 【器楽・幼児の歌】 アイアイ テキスト p.124-125 p.132-133 ジングルベル テキスト p.159 p.124	20分

第11回	【歌あそび】 にじのむこうに テキスト p.176 【器楽・幼児の歌】 手のひらを太陽に テキスト p.168-169 p.196-198 雪のペンキやさん テキスト p.192 p.130	
	【予習】【歌あそび】 さよならぼくたちのほいくえん テキスト p.156-157 【器楽・幼児の歌】 1年生になったら テキスト p.131 p.120-121 思い出のアルバム テキスト p.146-147	20分
	【復習】【歌あそび】 にじのむこうに テキスト p.176 【器楽・幼児の歌】 手のひらを太陽に テキスト p.168-169 p.196-198 雪のペンキやさん テキスト p.192 p.130	20分
第12回	【歌あそび】 さよならぼくたちのほいくえん テキスト p.156-157 【器楽・幼児の歌】 1年生になったら テキスト p.131 p.120-121 思い出のアルバム テキスト p.146-147	
	【予習】【器楽・幼児の歌】 実技発表にむけて課題曲を練習する。	20分
	【復習】【歌あそび】 さよならぼくたちのほいくえん テキスト p.156-157 【器楽・幼児の歌】 1年生になったら テキスト p.131 p.120-121 思い出のアルバム テキスト p.146-147	20分
第13回	【歌あそび】 まとめ 【器楽・幼児の歌】 実技発表に向けてこれまで習った曲の復習	
	【予習】	0分
	【復習】	20分
第14回	【歌あそび】 まとめ 【器楽・幼児の歌】 実技発表	
	【予習】 卒業演奏会のプログラムを読み、内容を把握してくる。	10分
	【復習】	0分
第15回	2/7(金)AM卒業演奏会鑑賞(付属みどり野幼稚園にて、2年生の発表を鑑賞する)	
	【予習】 2年生の発表内容を振り返り、次年度のイメージをもつ。	10分
	【復習】	0分

授業科目名	音楽表現技術 (Bグループ)			科目コード	C141-11					
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 音楽表現	担当教員名	難波 純子 武藤 憲夫 大村 禎子							
実務経験										
開講時期	1年後期	授業の方法	演習							
必修・選択	必修	単位数	1単位							
前提科目(知識)	楽典(音楽の決まりごと)、音楽表現技術	後継科目	音楽表現特講							
関連科目	子どもと音楽表現、保育内容(音楽表現)指導法									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格									
授業の概要	「歌あそび」と器楽(ピアノ等)・幼児の歌を1時間ずつ演習します。器楽・幼児の歌においては2つのグループ(A・B)で、それぞれの経験に合わせた学習を行います。さらに保育に必要な音楽基礎技能を、音楽の楽しさにふれながら高めます。器楽・幼児の歌(1時間)は前期同様の形態で行い、さらに内容を深めます。									
学習目標	毎週幼児の歌の課題を練習し、歌唱やピアノなどの音楽表現能力を高めます。また幅広い音楽体験により、多様な表現力を養うことを目標とします。									
キーワード	歌あそび 器楽(ピアノ) 幼児の歌									
テキスト・ 参考書等	テキスト 井口 太 編「新・幼児の音楽教育」朝日出版社(2014) テキスト 小林 美実 編「音楽リズム」東京書籍(1984)									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果									
LO-1	【知識・理解】歌唱や器楽(ピアノ)演奏をするために必要不可欠な楽典(音楽の決まり)を理解し、楽譜を読むことができる。									
LO-2	【技能】創意工夫を生かした音楽表現をするために、音符を正しく読みとる基礎技能を身につけ、正確な音程で表情豊かに歌うことができる。									
LO-3	【思考力・判断力・表現力】楽譜から音楽を形づくっている要素を知覚し、音程・リズム・音型の判断をしながら、歌唱や器楽(ピアノ)演奏につなげることができる。									
LO-4	【関心・意欲・態度】幼児の歌に関心をもち、歌唱や器楽(ピアノ)の学習に主体的に取り組もうとする。									
LO-5	【人間性・社会性】グループやペアでの合唱や演奏、歌あそびの発表などに積極的に参加し、他者との関係づくりができる。									
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計	
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C		
総合評価(割合)					80	20			100	
LO-1					20				20	
LO-2					20				20	
LO-3					20				20	
LO-4						20			20	
LO-5					20				20	
備考	この科目は、前期同様、90分1コマの授業を45分ずつに分け、「歌あそび・手あそび」と「器楽(ピアノ等)」・「幼児の歌」のそれぞれを演習します。従って、クラスを半分の人数に分けて前半・後半と入れ替えて実施します。評価については、平素の授業に取り組む姿勢 表のAに該当します(20%)、歌あそび(40%)、器楽・幼児の歌(40%)とし、総合的に評価します。									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	1年前期の音楽表現技術 での学習をふまえ、後期の授業の目的や内容を説明します。	
	【予習】【歌あそび】 とんぼのめがね テキスト p.172 p.100 【器楽・幼児の歌】 先生とおともたち テキスト p.68、 こおろぎ テキスト p.153 p.111	30分
	【復習】シラバスを読み、授業内容(課題曲)をテキスト(楽譜)と照らし合わせて把握する。	60分
第2回	【歌あそび】 とんぼのめがね テキスト p.172 p.100 【器楽・幼児の歌】 先生とおともたち テキスト p.68、 こおろぎ テキスト p.153 p.111	
	【予習】【歌あそび】 こぶためきつねこ テキスト p.36 【器楽・幼児の歌】 もりのくまさん テキスト p.186-187 p.52-53 まつぼっくり テキスト p.182 p.114	20分
	【復習】【歌あそび】 とんぼのめがね テキスト p.172 p.100 【器楽・幼児の歌】 先生とおともたち テキスト p.68、 こおろぎ テキスト p.153 p.111	20分
第3回	【歌あそび】 こぶためきつねこ テキスト p.36 【器楽・幼児の歌】 もりのくまさん テキスト p.186-187 p.52-53 まつぼっくり テキスト p.182 p.114	
	【予習】【歌あそび】 おおきなたいこ テキスト p.135 p.31 【器楽・幼児の歌】 おかあさん テキスト p.138 p.62 せかいじゅうのこどもたちが テキスト p.160-161	20分
	【復習】【歌あそび】 こぶためきつねこ テキスト p.36 【器楽・幼児の歌】 もりのくまさん テキスト p.186-187 p.52-53 まつぼっくり テキスト p.182 p.114	20分
第4回	【歌あそび】 おおきなたいこ テキスト p.135 p.31 【器楽・幼児の歌】 おかあさん テキスト p.138 p.62 せかいじゅうのこどもたちが テキスト p.160-161	
	【予習】【歌あそび】 いもほりのうた テキスト p.106 【器楽・幼児の歌】 山のワルツ テキスト p.188-189 p.224-225 インディアンがとる テキスト p.137	20分
	【復習】【歌あそび】 おおきなたいこ テキスト p.135 p.31 【器楽・幼児の歌】 おかあさん テキスト p.138 p.62 せかいじゅうのこどもたちが テキスト p.160-161	20分
第5回	【歌あそび】 いもほりのうた テキスト p.106 【器楽・幼児の歌】 山のワルツ テキスト p.188-189 p.224-225 インディアンがとる テキスト p.137	
	【予習】【歌あそび】 ふしぎなポケット テキスト p.180 p.48 【器楽・幼児の歌】 やぎさんゆうびん テキスト p.190 p.223 やきいもグーチーパー テキスト p.189	20分
	【復習】【歌あそび】 いもほりのうた テキスト p.106 【器楽・幼児の歌】 山のワルツ テキスト p.188-189 p.224-225 インディアンがとる テキスト p.137	20分
第6回	【歌あそび】 ふしぎなポケット テキスト p.180 p.48 【器楽・幼児の歌】 やぎさんゆうびん テキスト p.190 p.223 やきいもグーチーパー テキスト p.189	
	【予習】【歌あそび】 カレーライスのうた テキスト p.147 【器楽・幼児の歌】 ガンバリマンのうた テキスト p.150 大きなうた テキスト p.136	20分
	【復習】【歌あそび】 ふしぎなポケット テキスト p.180 p.48 【器楽・幼児の歌】 やぎさんゆうびん テキスト p.190 p.223 やきいもグーチーパー テキスト p.189	20分
第7回	【歌あそび】 カレーライスのうた テキスト p.147 【器楽・幼児の歌】 ガンバリマンのうた テキスト p.150 大きなうた テキスト p.136	
	【予習】【歌あそび】 コンコンクシャンのうた テキスト p.126 【器楽・幼児の歌】 あわてんぼうのサンタクロース テキスト p.130 p.118-119 線路はつづくよどこまでも テキスト p.162	20分
	【復習】【歌あそび】 カレーライスのうた テキスト p.147 【器楽・幼児の歌】 ガンバリマンのうた テキスト p.150 大きなうた テキスト p.136	20分
第8回	【歌あそび】 コンコンクシャンのうた テキスト p.126 【器楽・幼児の歌】 あわてんぼうのサンタクロース テキスト p.130 p.118-119 線路はつづくよどこまでも テキスト p.162	
	【予習】【歌あそび】 おもちゃのチャチャチャ テキスト p.143 【器楽・幼児の歌】 ゴリラのうた テキスト p.153 p.183 ふうせん テキスト p.179	20分
	【復習】【歌あそび】 コンコンクシャンのうた テキスト p.126 【器楽・幼児の歌】 あわてんぼうのサンタクロース テキスト p.130 p.118-119 線路はつづくよどこまでも テキスト p.162	20分
第9回	【歌あそび】 おもちゃのチャチャチャ テキスト p.143 【器楽・幼児の歌】 ゴリラのうた テキスト p.153 p.183 ふうせん テキスト p.179	
	【予習】【歌あそび】 バスごっこ テキスト p.46 【器楽・幼児の歌】 アイアイ テキスト p.124-125 p.132-133 ジングルベル テキスト p.159 p.124	20分
	【復習】【歌あそび】 おもちゃのチャチャチャ テキスト p.143 【器楽・幼児の歌】 ゴリラのうた テキスト p.153 p.183 ふうせん テキスト p.179	20分
第10回	【歌あそび】 バスごっこ テキスト p.46 【器楽・幼児の歌】 アイアイ テキスト p.124-125 p.132-133 ジングルベル テキスト p.159 p.124	
	【予習】【歌あそび】 にじのむこうに テキスト p.176 【器楽・幼児の歌】 手のひらを太陽に テキスト p.168-169 p.196-198 雪のペンキやさん テキスト p.192 p.130	20分
	【復習】【歌あそび】 バスごっこ テキスト p.46 【器楽・幼児の歌】 アイアイ テキスト p.124-125 p.132-133 ジングルベル テキスト p.159 p.124	20分

第11回	【歌あそび】 にじのむこうに テキスト p.176 【器楽・幼児の歌】 手のひらを太陽に テキスト p.168-169 p.196-198 雪のペンキやさん テキスト p.192 p.130	
	【予習】【歌あそび】 さよならぼくたちのほいくえん テキスト p.156-157 【器楽・幼児の歌】 1年生になったら テキスト p.131 p.120-121 思い出のアルバム テキスト p.146-147	20分
	【復習】【歌あそび】 にじのむこうに テキスト p.176 【器楽・幼児の歌】 手のひらを太陽に テキスト p.168-169 p.196-198 雪のペンキやさん テキスト p.192 p.130	20分
第12回	【歌あそび】 さよならぼくたちのほいくえん テキスト p.156-157 【器楽・幼児の歌】 1年生になったら テキスト p.131 p.120-121 思い出のアルバム テキスト p.146-147	
	【予習】【器楽・幼児の歌】 実技発表にむけて課題曲を練習する。	20分
	【復習】【歌あそび】 さよならぼくたちのほいくえん テキスト p.156-157 【器楽・幼児の歌】 1年生になったら テキスト p.131 p.120-121 思い出のアルバム テキスト p.146-147	20分
第13回	【歌あそび】 まとめ 【器楽・幼児の歌】 実技発表に向けてこれまでに習った曲を復習する。	
	【予習】	30分
	【復習】	20分
第14回	まとめ・実技発表	
	【予習】	10分
	【復習】	0分
第15回	2/7(金)AM卒業演奏会鑑賞(付属みどり野幼稚園にて、2年生の発表を鑑賞する)	
	【予習】2年生の発表内容を振り返り、次年度のイメージをもつ。	10分
	【復習】	0分

授業科目名	音楽表現特講 (Aグループ)			科目コード	C141-12				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 音楽表現	担当教員名	難波 純子 堀江 英一 大村 禎子 大林 規子						
実務経験									
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	音楽表現技術、音楽表現技術	後継科目	なし						
関連科目	保育内容(音楽表現)指導法、子どもと音楽表現								
資格等 取得との関連									
授業の概要	器楽(ピアノ)と幼児の歌の演習を、それぞれの経験に合わせて学習します。								
学習目標	幼児の音楽表現活動や教材について学び、多様な音楽表現に取り組むことを目標とします。								
キーワード	器楽(ピアノなど) 幼児の歌								
テキスト・ 参考書等	テキスト 井口 太 編「新・幼児の音楽教育」朝日出版社(2014) テキスト 小林 美実 編「音楽リズム」東京書籍(1984)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 歌唱や楽器演奏をするために必要不可欠な楽典(音楽の決まり)を理解し、楽譜を読むことができる。								
LO-2	【技能】創意工夫を生かした音楽表現をするために、音符を正しく読みとる基礎技能を身につけ、正確な音程で表情豊かに歌うことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】楽譜から音楽を形づくっている要素を知覚し、音程・リズム・音型の判断をしながら、歌唱や楽器演奏につなげることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 幼児の表現に関心をもち、歌唱や楽器演奏の学習に主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)					80	20			100
LO-1					20				20
LO-2					40				40
LO-3					20				20
LO-4						20			20
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	音楽表現技術 の学習をふまえ、2年次ではさらに幅広く音楽経験を行う授業の目的や内容を説明します。	
	【予習】レッスン： しあわせならてをたたこう テキスト p.37	30分
	【復習】シラバスを読み、前期の授業内容（課題曲）をテキスト（楽譜）と照らし合わせて把握する。	60分
第2回	レッスン： しあわせならてをたたこう テキスト p.37	
	【予習】レッスン： そうだったらいいのにな テキスト p.192-193	20分
	【復習】レッスン： しあわせならてをたたこう テキスト p.37	20分
第3回	レッスン： そうだったらいいのにな テキスト p.192-193	
	【予習】レッスン： 小鳥の歌 テキスト p.152	20分
	【復習】レッスン： そうだったらいいのにな テキスト p.192-193	20分
第4回	レッスン： 小鳥の歌 テキスト p.152	
	【予習】レッスン： おかあさん テキスト p.138	20分
	【復習】レッスン： 小鳥の歌 テキスト p.152	20分
第5回	レッスン： おかあさん テキスト p.138	
	【予習】レッスン： おもちゃのマーチ テキスト p.167	20分
	【復習】レッスン： おかあさん テキスト p.138	20分
第6回	レッスン： おもちゃのマーチ テキスト p.167	
	【予習】レッスン： あめふりくまのこ テキスト p.126-127	20分
	【復習】レッスン： おもちゃのマーチ テキスト p.167	20分
第7回	レッスン： あめふりくまのこ テキスト p.126-127	
	【予習】レッスン： 海の底には青いうち テキスト p.94-95	20分
	【復習】レッスン： あめふりくまのこ テキスト p.126-127	20分
第8回	レッスン： 海の底には青いうち テキスト p.94-95	
	【予習】レッスン： とんでったバナナ テキスト p.170-171	20分
	【復習】レッスン： 海の底には青いうち テキスト p.94-95	20分
第9回	レッスン： とんでったバナナ テキスト p.170-171	
	【予習】レッスン： 大きなたいこ テキスト p.135	20分
	【復習】レッスン： とんでったバナナ テキスト p.170-171	20分
第10回	レッスン： 大きなたいこ テキスト p.135	
	【予習】レッスン： たなばたさま テキスト p.165	20分
	【復習】レッスン： 大きなたいこ テキスト p.135	20分

第11回	レッスン： たなばたさま テキスト p.165	
	【予習】レッスン： 水あそび テキスト p.182	20分
	【復習】レッスン： たなばたさま テキスト p.165	20分
第12回	レッスン： 水あそび テキスト p.182	
	【予習】レッスン： うみ テキスト p.135	20分
	【復習】レッスン： 水あそび テキスト p.182	20分
第13回	レッスン： うみ テキスト p.135	
	【予習】レッスン： 大きなくりの木の下で テキスト p.136	20分
	【復習】レッスン： うみ テキスト p.135	20分
第14回	レッスン： 大きなくりの木の下で テキスト p.136	
	【予習】レッスン： 実技発表に向けて とんぼのめがね テキスト p.172を練習してくる。	85分
	【復習】レッスン： 大きなくりの木の下で テキスト p.136	20分
第15回	レッスン： とんぼのめがね テキスト p.172 実技発表	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	音楽表現特講（Bグループ）			科目コード	C141-12				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 音楽表現	担当教員名	難波 純子 堀江 英一 大村 禎子 大林 規子						
実務経験									
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	音楽表現技術、音楽表現技術	後継科目	なし						
関連科目	保育内容（音楽表現）指導法、子どもと音楽表現								
資格等 取得との関連									
授業の概要	器楽（ピアノ）と幼児の歌の演習を、それぞれの経験に合わせて学習します。								
学習目標	幼児の音楽表現活動や教材について学び、多様な音楽表現に取り組むことを目標とします。								
キーワード	器楽（ピアノなど） 幼児の歌								
テキスト・ 参考書等	テキスト 井口 太 編「新・幼児の音楽教育」朝日出版社（2014） テキスト 小林 美実 編「音楽リズム」東京書籍（1984）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 歌唱や楽器演奏をするために必要不可欠な楽典（音楽の決まり）を理解し、楽譜を読むことができる。								
LO-2	【技能】創意工夫を生かした音楽表現をするために、音符を正しく読みとる基礎技能を身につけ、正確な音程で表情豊かに歌うことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】楽譜から音楽を形づくっている要素を知覚し、音程・リズム・音型の判断をしながら、歌唱や楽器演奏につなげることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 幼児の表現に関心をもち、歌唱や楽器演奏の学習に主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)					80	20			100
LO-1					20				20
LO-2					40				40
LO-3					20				20
LO-4						20			20
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	音楽表現技術 の学習をふまえ、2年次ではさらに幅広く音楽経験を行う授業の目的や内容を説明します。	
	【予習】レッスン： しあわせならてをたたこう テキスト p.37	30分
	【復習】シラバスを読み、前期の授業内容（課題曲）をテキスト（楽譜）と照らし合わせて把握する。	60分
第2回	レッスン： しあわせならてをたたこう テキスト p.37	
	【予習】レッスン： そうだったらいいのにな テキスト p.192-193	20分
	【復習】レッスン： しあわせならてをたたこう テキスト p.37	20分
第3回	レッスン： そうだったらいいのにな テキスト p.192-193	
	【予習】レッスン： 小鳥の歌 テキスト p.152	20分
	【復習】レッスン： そうだったらいいのにな テキスト p.192-193	20分
第4回	レッスン： 小鳥の歌 テキスト p.152	
	【予習】レッスン： おかあさん テキスト p.138	20分
	【復習】レッスン： 小鳥の歌 テキスト p.152	20分
第5回	レッスン： おかあさん テキスト p.138	
	【予習】レッスン： おもちゃのマーチ テキスト p.167	20分
	【復習】レッスン： おかあさん テキスト p.138	20分
第6回	レッスン： おもちゃのマーチ テキスト p.167	
	【予習】レッスン： あめふりくまのこ テキスト p.126-127	20分
	【復習】レッスン： おもちゃのマーチ テキスト p.167	20分
第7回	レッスン： あめふりくまのこ テキスト p.126-127	
	【予習】レッスン： 海の底には青いうち テキスト p.94-95	20分
	【復習】レッスン： あめふりくまのこ テキスト p.126-127	20分
第8回	レッスン： 海の底には青いうち テキスト p.94-95	
	【予習】レッスン： とんでったバナナ テキスト p.170-171	20分
	【復習】レッスン： 海の底には青いうち テキスト p.94-95	20分
第9回	レッスン： とんでったバナナ テキスト p.170-171	
	【予習】レッスン： 大きなたいこ テキスト p.135	20分
	【復習】レッスン： とんでったバナナ テキスト p.170-171	20分
第10回	レッスン： 大きなたいこ テキスト p.135	
	【予習】レッスン： たなばたさま テキスト p.165	20分
	【復習】レッスン： 大きなたいこ テキスト p.135	20分

第11回	レッスン： たなばたさま テキスト p.165	
	【予習】レッスン： 水あそび テキスト p.182	20分
	【復習】レッスン： たなばたさま テキスト p.165	20分
第12回	レッスン： 水あそび テキスト p.182	
	【予習】レッスン： うみ テキスト p.135	20分
	【復習】レッスン： 水あそび テキスト p.182	20分
第13回	レッスン： うみ テキスト p.135	
	【予習】レッスン： 大きなくりの木の下で テキスト p.136	20分
	【復習】レッスン： うみ テキスト p.135	20分
第14回	レッスン： 大きなくりの木の下で テキスト p.136	
	【予習】レッスン： 実技発表に向けて とんぼのめがね テキスト p.172を練習してくる。	85分
	【復習】レッスン： 大きなくりの木の下で テキスト p.136	20分
第15回	レッスン： とんぼのめがね テキスト p.172 実技発表	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	造形表現技術			科目コード	C143-10				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 造形表現		担当教員名	中山 里美					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	造形表現技術 子どもと造形表現 保育内容(造形表現)指導法 子どもと遊び					
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	造形表現の特性やねらいを知るため、実技演習を中心に行い、表現することや創造することの価値を察知し、基本的な知識と豊かな感覚や技術を身につけます。材料の特性を生かした多面的な製作活動に取り組み、保育現場における「表現者」「鑑賞者」「援助者」としての心構えや在り方を学びます。								
学習目標	乳幼児の造形表現活動を豊かに展開するために必要となる、基礎的な知識や技術を実践的に習得する。造形表現活動に適した、用具及び素材や教材等の特性を理解し、それらの活用や作成に必要な知識や技術を身に付ける。								
キーワード	表現 感性 想像 創造								
テキスト・ 参考書等	「幼児造形の基礎」樋口一成 編著 萌文書林 文部科学省「幼稚園教育要領」 厚生労働省「保育所保育指針」 内閣府・文部科学省・厚生労働省「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】造形表現の意義や活動のねらいと内容について理解する。造形表現に関する基礎的な用語や材料・用具、技法などに関する知識を身に付けている。								
LO-2	【技能】素材の特性や用具の扱い方を知り、創造的な造形表現に必要な技能を身に付け、材料や技法などの表現方法を工夫して表す。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】造形表現活動の意義や、作品の良さや美しさを感じ取り、感性や想像力を働かせ、創造的な表現活動や製作を考えることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】造形表現活動や鑑賞に主体的に取り組み、作品を大切にするとともに、活動の楽しさや喜びを味わう。								
LO-5	【人間性・社会性】作品鑑賞やグループでの活動や製作等に意欲的に参加し、各々の良さや美しさを尊重することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			15	55		30			100
LO-1			5	15					20
LO-2			5	15					20
LO-3			5	15					20
LO-4				10		15			25
LO-5						15			15
備考	評価方法：提出課題レポートにはワークシートを含む。その他の項目「A」は、授業に取り組む姿勢、態度。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 造形表現の意義 材料や用具の扱い方について	
	【予習】教科書に目を通し、学習内容を大まかに把握する。	20分
	【復習】	0分
第2回	色彩と形体： 色と形、構成の基礎 色の三属性と分類 色や形の心理、調和 描画材・紙とあそぶ	
	【予習】	0分
	【復習】プリントで色の属性や分類について確認する。色の視認性を効果的に表現した配色を考える。 ワークシート提出	30分
第3回	色彩と形体： 色水あそび ワークシート提出	
	【予習】	0分
	【復習】プリントで「造形遊び」のねらいや意義について確認する。	30分
第4回	素材の種類と特性 基底材（紙について） 描画材について 描画材・紙であそぶ ワークシート提出	
	【予習】教科書P50～67を読み、描画材や紙に関する特性を知る。	20分
	【復習】あそんだ内容を振り返りワークシートにまとめる。	30分
第5回	素材の種類と特性 製本：ことばで表す各ページから受け取った感じや感覚を言葉（オノマトペ）で書きこむ	
	【予習】	0分
	【復習】完成作品（絵本）提出。	30分
第6回	モダンテクニック にじみ・ぼかし・ローリング等	
	【予習】教科書P112～P128を読み、使用する材料・用具と作り方を確認する。	20分
	【復習】	0分
第7回	モダンテクニック スクラッチ・マーブリング等	
	【予習】教科書P112～P128を読み、使用する材料・用具と作り方を確認する。	20分
	【復習】	0分
第8回	モダンテクニック スパッタリング・ウォッシング等	
	【予習】教科書P112～P128を読み、使用する材料・用具と作り方を確認する。	20分
	【復習】	0分
第9回	モダンテクニック まとめ技法ノート作成 作品技法ノート提出	
	【予習】	0分
	【復習】作成したノートを相互鑑賞し製作を振り返るとともに、展示したお互いの作品を評価し合う。	40分
第10回	小麦粉・片栗粉粘土 感触を楽しむ	
	【予習】	0分
	【復習】それぞれの感触や遊び方についてまとめる。 ワークシート提出	20分

第11回	色・形・感触を楽しむ：スライム作り	
	【予習】	0分
	【復習】 感触遊びの活動を振り返りレポートにまとめる。 振り返りシート提出	30分
第12回	樹脂粘土 製作工程と技法、 デザインの決定と成形 作品提出	
	【予習】 「幼児造形の基礎」P72～75を読み、粘土の種類や扱い方について大まかに把握する。	20分
	【復習】 展示された作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	30分
第13回	土粘土 粘土あそび 粘土づくりと種類や特性	
	【予習】	0分
	【復習】 グループで作った作品を写真に撮り、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	20分
第14回	土粘土 陶芸 製作工程と技法、 デザインの決定と成形	
	【予習】 製作したい数種類のデザインをワークシートに描く。「保育をひらく造形表現」P40、41を読み、テラコッタの製作工程を大まかに把握する。	60分
	【復習】	0分
第15回	補助教材：自己紹介BOOKの制作 スケッチブックを利用し、めくりながら自己紹介できる仕掛けや仕組みを作る。	
	【予習】	0分
	【復習】 夏期休業中に完成させて提出	230分

授業科目名	造形表現技術			科目コード	C143-11				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 造形表現		担当教員名	中山 里美					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	造形表現技術		後継科目	子どもと造形表現 保育内容(造形表現)指導法 子どもと遊び					
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	「造形表現技術」の内容をさらに深めます。多様な創作活動を経験することにより、表現の幅を広げながら、表現の楽しさ・喜びを味わい、幼児の豊かな造形表現を導くことのできる能力を身につけます。多様な創作活動の中で、「環境」に目を向けて、空間の活用や装飾、行事等に関わる製作に取り組み、幼児がより創造的な生活を過ごす手立てを考えます。								
学習目標	乳幼児の発達過程を踏まえ、乳幼児の感性や創造性をより豊かにするための知識・技能、表現力を身に付ける。身近な自然・ものの色や形、感触やイメージ等に親しむための素材や教材などの役割に関する理解を深める。								
キーワード	感性 想像 創造								
テキスト・ 参考書等	「保育をひらく造形表現」榎 英子著 萌文書林 「幼児造形の基礎」樋口一成 編著 萌文書林(継続使用) 文部科学省「幼稚園教育要領」 厚生労働省「保育所保育指針」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】造形表現の意義や活動のねらいと内容について理解し、造形表現に関する幅広い用語や材料・用具、技法などに関する知識を身につけている。								
LO-2	【技能】素材の特性や用具の扱い方を知り、創造的な造形表現に必要な技能を身につけ、材料や技法などの表現方法を工夫して表す。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】造形表現活動の意義や、作品の良さや美しさを感じ取り、感性や想像力を働かせ、創造的な表現活動や製作を考えたり、計画したりすることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】造形表現活動や鑑賞に主体的に取り組み、製作過程を大切にするとともに、活動の楽しさや喜びを味わう。								
LO-5	【人間性・社会性】作品鑑賞やグループでの活動や製作などに意欲的に参加し、各々の良さや美しさを尊重することができる。								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			15	55		30			100
LO-1			5	15					20
LO-2			5	15					20
LO-3			5	15					20
LO-4				10		15			25
LO-5						15			15
備考	評価方法：提出課題レポートにはワークシートを含む。その他の項目「A」は、授業に取り組む姿勢、態度。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	紙を染める たたみ染め、絞り染め	
	【予習】	0分
	【復習】 作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	20分
第2回	版画 ローラー遊び 版画の種類と特性について 版画インクの扱い方	
	【予習】 「幼児造形の基礎」P148～155 「保育をひらく造形表現」P42～44を読み、版画の種類や作り方について大まかに把握する。	30分
	【復習】	0分
第3回	版画 ローラープリントの紙を使って・紙バッグの製作	
	【予習】	0分
	【復習】 展示された作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	30分
第4回	版画 スチレン版画 版の製作	
	【予習】 身の回りから、素材となるものを探す。 材料の準備	20分
	【復習】	0分
第5回	版画 スチレン版画・モノプリント 刷り 作品提出	
	【予習】	0分
	【復習】 展示された作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	30分
第6回	版画 スタンピング/ステンシル - いろいろな素材とダンボールを使ったスタンプ作りとステンシル技法 作品提出	
	【予習】 身の回りから、素材となるものを探す。 材料の準備	30分
	【復習】 展示された作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。 班技法を使った製作を振り返り、レポートにまとめる。 レポート提出	90分
第7回	織る・編む - いろいろな織り方、編み方（リリアン編み、指編み等）	
	【予習】 製作に使用するさまざまな紐や毛糸を準備する。	20分
	【復習】 展示された作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	30分
第8回	紙の造形 - 紙工作の技法 切る・ちぎる・折る・曲げる	
	【予習】	0分
	【復習】 配布されたプリントを参考にして試作する。	60分
第9回	紙の造形 - メッセージカードの製作 仕掛けづくり	
	【予習】	0分
	【復習】 仕掛けを応用したカードのデザインを考えておく。	30分
第10回	紙の造形 - メッセージカードの製作 装飾 作品提出	
	【予習】	0分
	【復習】 メッセージカードを相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	30分

第11回	環境と造形：壁面構成 子ども参加の空間デザイン デザインと材料の準備	
	【予習】	0分
	【復習】造形活動の参考となる資料や作品を準備する。	40分
第12回	環境と造形：壁面構成 季節感や思い出を飾る。 役割分担と製作	
	【予習】製作に使用するさまざまな素材を収集する。	20分
	【復習】造形活動の参考となる資料や作品を準備する。	20分
第13回	環境と造形：壁面構成 季節感や思い出を飾る。 製作	
	【予習】製作に使用するさまざまな素材を収集する。	20分
	【復習】造形活動の参考となる資料や作品を準備する。	20分
第14回	環境と造形：壁面構成 季節感や思い出を飾る。 製作と材料・準備の確認	
	【予習】製作に使用するさまざまな素材を収集する。	20分
	【復習】作品の進行状況をグループ内で確認し、次時に向けて各自の準備等を確認する。	20分
第15回	環境と造形：壁面構成 季節感や思い出を飾る。 製作と完成及び展示	
	【予習】製作に使用するさまざまな素材を収集する。	20分
	【復習】作品を相互鑑賞し、製作した作品の材料、製作方法、留意点、感想等をレポートにまとめる。 レポート提出	70分

授業科目名	子どもの運動			科目コード	C145-10				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 身体表現	担当教員名	大森 宏一						
実務経験									
開講時期	1年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	体育講義	後継科目	子どもの健康						
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭2種免許 保育士資格								
授業の概要	保育に必要な運動の基礎技能を養います。また、さまざまな子どもの運動遊びの体験を通して、乳幼児期の運動遊びに関する専門的技能を身につけていきます。								
学習目標	運動遊びの企画、立案・実践・省察の流れをとうして、子どもの運動遊びを行う時の援助の方法を学び理解することを目指します。集団援助を行う際に必要な技能を身に付けます。								
キーワード	運動発達 運動遊び 安全 基本の運動 バランス・移動・操作								
テキスト・ 参考書等	倉・大森編 「子どもが育つ運動遊び」 みらい 2016年								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】乳幼児の発育発達の特徴をふまえ、保育の場での運動遊びの援助のあり方や、幼児期における運動遊びの意義を理解する								
LO-2	【技能】子どもの心身の発育発達を保障し、基本的な運動を基に遊びを構想・展開する技術を身につけている。自らが基本的な運動動作を習得し、指導にいかすことができる								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】乳幼児の発育発達を促す「運動遊び」について、運動発達段階に応じた身体活動や遊びの内容を考えたり、指導上の配慮について実践的に理解している。								
LO-4	【関心・意欲・態度】現代の子どもの育ちと子どもが育つ環境を的確に把握し、現状に応じた運動遊びのあり方についての考えを深め、実践にいかそうと努めている。								
LO-5	【人間性・社会性】ペアやグループでの活動に積極的に参加している。子どもへの愛情をもって安心安全を前提とした指導計画を企画・立案し仲間と共同して運営することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		20	30		30	20			100
LO-1		10	10						20
LO-2					10				10
LO-3		10	10		10				30
LO-4			10			10			20
LO-5					10	10			20
備考	レポートは、授業ノートの内容から総合的に判断する。成果発表については、プログラムの企画運営と、授業の始まりと終わりの集団援助技術を評価する。毎回授業においてミニツペーパーの提出を行い小テストとする。LO5については、保育者として基本となる明るく生き生きとした態度での参加を重視する。その他についてはグループでの協調性・係や役割をレポートや活動内容から総合的に判断								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（授業計画、内容、評価、進め方など） 模擬保育の方法とグループについて	
	【予習】シラバスを読んでおくこと。	0分
	【復習】模擬保育のグループについて確認すること。メンバーとの打ち合わせなど確認すること。	0分
第2回	運動遊びのとらえ方、運動遊びの実践	
	【予習】テキスト第1章 2章を読むこと。	15分
	【復習】子どもにとっての運動遊びのについて、自分なりの考え方を整理すること。	30分
第3回	運動遊びの実際 ささまざまな鬼ごっこの実践	
	【予習】テキスト の実践編についてさまざまな鬼ごっこを読んでおくこと。	15分
	【復習】運動遊びが実践できるように進め方や言葉がけを考える。	30分
第4回	運動遊びの実際 かけっこ遊びやまねっこ遊びの実践	
	【予習】テキスト の実践編について読んでおくこと。（まねっこ遊び・かけっこする遊び）	15分
	【復習】運動遊びが実践できるように進め方や言葉がけを考える。本日の内容を年齢別にアレンジする方法を考える。	30分
第5回	運動遊びの実際 身近なもの（ロープなど）を使った運動遊び	
	【予習】テキスト の実践編について読んでおくこと。	15分
	【復習】運動遊びが実践できるように進め方や言葉がけを考える。本日の内容を年齢別にアレンジする方法を考える。	30分
第6回	ボール運動の実際 ボール運動の実践	
	【予習】テキスト の実践編について読んでおくこと。（ボール運動）	15分
	【復習】運動遊びが実践できるように進め方や言葉がけを考える。本日の内容を年齢別にアレンジする方法を考える。ボール運動を行う際の安全の配慮について考える。	30分
第7回	バラバルーンを使った運動の実践 基本の動き	
	【予習】テキスト の実践編について読んでおくこと。（バラバルーン）	15分
	【復習】バラバルーンを使った運動のねらいや期待される効果について整理する。	30分
第8回	バラバルーンを使った運動の実践 曲を選んで基本の動きを組み合わせる構成する	
	【予習】基本の動きを確認する。	15分
	【復習】発表に向けて準備する（曲、流れ、構成、役割）	30分
第9回	バラバルーンを使った運動の実践 グループごとに発表する	
	【予習】発表に向けて準備する（曲、流れ、構成、役割）	15分
	【復習】発表したことについて省察する。	30分
第10回	運動遊びの模擬保育 ボール運動	
	【予習】模擬保育にあたり指導計画を作成する。実践にあたりグループでの役割と準備物について確認する。	15分
	【復習】まとめ（評価と省察、次回に向けた課題を考える）レポートの作成	30分

第11回	運動遊びの模擬保育 フープなどを使った運動遊びの実践	
	【予習】模擬保育にあたり指導計画を作成する。実践にあたりグループでの役割と準備物について確認する。	15分
	【復習】まとめ（評価と省察、次回に向けた課題を考える）レポートの作成	30分
第12回	運動遊びの模擬保育 運動表現の実際	
	【予習】模擬保育にあたり指導計画を作成する。実践にあたりグループでの役割と準備物について確認する。	15分
	【復習】まとめ（評価と省察、次回に向けた課題を考える）レポートの作成	30分
第13回	運動遊びの実践 かけっこ遊び 模倣遊び 室内での運動遊び	
	【予習】模倣遊びの実践を通して、楽しさの本質を考える。友達とのかかわり、ふれあいを通してさまざまな感情を刺激する楽しさを体験する。	15分
	【復習】それぞれの遊びの楽しさについて、アレンジ方法を含めてノートに記述する。	30分
第14回	運動遊びの模擬保育 ボールを使った運動遊びを企画・運営する	
	【予習】模擬保育にあたり指導計画を作成する。実践にあたりグループでの役割と準備物について確認する。	15分
	【復習】まとめ（評価と省察、次回に向けた課題を考える）レポートの作成	30分
第15回	まとめ レポートの作成	
	【予習】模擬保育を通して子どもの運動遊びについてその意義を考える。	15分
	【復習】まとめ レポートを提出する	30分

授業科目名	教育実習			科目コード	C151-10				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 教育実習		担当教員名	難波 純子 高木 三郎 大森 宏一 嶋野 珠生 石動 瑞代					
実務経験	幼稚園勤務9年。保育所勤務4年。富山県内保育研究部会講師として、保育園の保育士と討議を重ね、助言を行う。子育てボランティア養成講座実技講習講師を務める。								
開講時期	1年前期	授業の方法	実習						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)	幼稚園教育要領	後継科目	教育実習、教育実習指導						
関連科目	専門科目の全て								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	<p>本学付属みどり野幼稚園で実習を行う(ただし、学内で日誌や指導案の書き方等を学ぶ講義日もあり)。前期の授業時間では観察・参加実習を中心に、9月は指導案ありの参加実習を中心に実施する。観察・参加実習においては、実習後の幼稚園教員との反省会や、実習日誌での振り返りを通して子どもの内面を読み取り、環境の構成、保育のあり方などを学ぶ。さらに実習研究では、実習記録、指導案を実際に作成し検討することによって実践的な力を身につける。</p>								
学習目標	この実習では、付属幼稚園と本学科の教員との連携協力に基づく指導を通して、幼児の発達の特徴や、幼稚園教育のねらい・内容・方法、幼稚園の機能と社会的役割、教師の基本的な職務内容や役割についての基礎的理解を深める。								
キーワード	付属みどり野幼稚園 観察実習 参加実習 実習記録 指導案								
テキスト・ 参考書等	<p>幼児教育学科作成テキスト「教育実習 ハンドブック」、付属みどり野幼稚園作成資料「教育実習 実習資料」 開仁志編著『実習日誌の書き方』一藝社、開仁志編著『指導案大百科事典』一藝社</p>								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる幼児の発達・生活・遊びについて理解している。								
LO-2	【技能】子どもの前に立って、分かりやすく話したり、手遊びをしたり表現する技術を身につけている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】実習記録を丁寧に書くことによって論理的に考察し、自らを省察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】時間や規則を守り、基本的なマナーや言葉づかいができる。幼稚園での実習反省会では、積極的に担当教員に指導、助言を求める態度が身についている。								
LO-5	【人間性・社会性】グループで実習を行うので、適切なコミュニケーション技術と態度を身につけ、他者との協働を図ることができる。また、深い愛情と豊かな感受性・共感性をもって、子どもに対応することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	幼稚園教員による実習評価80点と、本学科教員による実習日誌の評価20点の100点満点で評価します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	学科主催オリエンテーション	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	幼稚園主催オリエンテーション	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	実習研究 記録の書き方を理解する	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	観察実習(1)	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	観察実習(2)	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	観察実習(3)	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	観察実習(4)	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	参加実習(幼稚園)	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	参加実習(幼稚園)	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	実習研究 参加実習の反省会	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回	実習研究 指導案の書き方	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	実習研究 指導案の書き方	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	実習研究 指導案の書き方	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	【夏季休業中9月】参加実習（指導案あり） 連続4日間	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	実習反省会 9月に実習した指導案を見直し、振り返りを行う。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	教育実習			科目コード	C151-11				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 教育実習		担当教員名	大森 宏一 嶋野 珠生					
実務経験									
開講時期	2年前期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	教育実習 教育実習指導		後継科目	教育実習指導					
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	幼稚園での10日間の実習に加えて、事前・事後学習を行う。								
学習目標	幼稚園で生活する幼児の発達の特徴や幼稚園教育の内容・方法、幼稚園の機能と社会的役割、教師の基本的職務内容や役割についての具体的理解を深める。								
キーワード	参加実習 担任実習 指導計画								
テキスト・ 参考書等	「実習日誌の書き方」開仁志編著 一藝社 「指導案大百科事典」 開仁志編著 一藝社 「実習の記録と指導案」田中亨豊胤監修、山本淳子編著 ひかりのくに 「幼稚園教育要領」文部科学省								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】「幼児の発達や興味・関心」「教育課程・指導計画」「保育内容や方法」等に関する知識を習得している。								
LO-2	【技能】幼児と親和的にかかわり、臨機応変な対応や措置を行う。集団や個々の幼児へのかかわり方を工夫して参加実習や担任実習に取り組むことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】環境設定や保健・安全面に配慮しながら、創意工夫して保育計画を立案し、準備、実施、評価することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】参加実習や担任実習に主体的に取り組み、的確な観察による考察や自己課題を日誌に記入できる。指導・助言を受け止め、向上心をもって積極的に実習に取り組む意欲をもつ。								
LO-5	【人間性・社会性】マナーや正しい言葉遣いを心掛け、職員や保護者、来客と対応することができる。時間や規則を守り、施設や備品の取り扱いに配慮することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						80	20		100
LO-1						10			10
LO-2						20			20
LO-3						20	10		30
LO-4						20	10		30
LO-5						10			10
備考	その他：(A) 実習先幼稚園による評価80% (B) 学科教員による実習日誌の評価20%								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	教育実習指導			科目コード	C151-20				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 教育実習		担当教員名	大森 宏一 嶋野 珠生 難波 純子 高木 三郎					
実務経験									
開講時期	2年通年		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	教育実習		後継科目	教育実習					
関連科目	専門科目の全て								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	前期は「教育実習」の事後指導および「教育実習」の事前指導とします。後期は「教育実習」の事後指導を中心に行います。教育実習後は自己評価に基づき自己課題を見つけ、その解決に取り組みます。「教育実習」の事前報告および事後報告等では、学科の専任教員全員が担当します。								
学習目標	事前指導では教育実習の意義や目標を理解し、実習の方法や心得などを学習します。事後指導では実習の内容を振り返り、課題の確認や実習成果のまとめを行います。自己課題の改善に向けた具体的な取り組みをします。								
キーワード	実習日誌 指導案 教材作成 実習の事前・事後指導								
テキスト・ 参考書等	開仁志編『実習日誌の書き方』一藝社 開仁志編『保育指導案大百科事典』一藝社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる幼児の発達・生活・遊びについて理解している。また、自己理解し、実習後の省察ができる。								
LO-2	【技能】人前に立って分かりやすく話したり、手遊びやパネルシアターなどを披露したりする表現技術を身につけている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】子どもの年齢や発達過程を踏まえた上で保育における指導計画（指導案）をたて、「ねらい」と「内容」の違いを理解している。また、その内容に応じた「環境構成」や、「保育者の援助」の方法について自身で思考								
LO-4	【関心・意欲・態度】保育教材について関心をもち、製作や模擬保育に主体的に取り組もうとする。								
LO-5	(該当しない)								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			50		50				100
LO-1			50						50
LO-2					20				20
LO-3					10				10
LO-4					20				20
LO-5									
備考	「教育実習」および「教育実習」終了後に提出した課題レポートを、各50点満点で評価し、提出期限の遅延に応じて減点となります。 成果発表は、各自が教材研究をして現場を想定した発表を、発表、作成、保育への流れなどを総合的に判断する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	付属みどり野幼稚園入園準備1日実習 4/1,2のいずれか1日(4回分の授業に相当します) 4/1...3組、4/2...4組	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	付属みどり野幼稚園入園準備1日実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	付属みどり野幼稚園入園準備1日実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	付属みどり野幼稚園入園準備1日実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	教育実習指導オリエンテーション ・日誌の書き方(講義)教育実習指導 5月13日 3時間目 合同	
	【予習】オリエンテーションを行います パスワード:Kj1 (K は 大文字 j は小文字 1は数字です)	30分
	【復習】	0分
第6回	教育実習指導 5月20日 3限目 合同 教材研究について(素材研究と制作) 自習課題として:日誌の書き方(演習)	
	【予習】教材研究に使える素材を集めておく。また作成に必要な道具や材料をそろえておく。 キスト『実習日誌の書き方』第6章 保育所(3歳以上児) p.127-158に目を通しておき、実習日誌を記入するにあたってのポイントをおさえておく。 パスワード:Kj2 (Kは大文字 2は数字です)	30分
	【復習】次回の教材研究に向けて準備をする。	30分
第7回	教育実習指導5月27日(水)3時間目 合同 教材作成	
	教材研究として(教材の選定とプログラム計画:自分なりの計画を立てて教材作成に取り掛かる) 【予習】教材作成に必要な準備をして、具体的なプログラム計画を立てる。 テキスト『保育指導案 大百科事典』p.20-50まで、目を通しておき、「ねらい」と「内容」の違いについて把握しておく。	60分
	【復習】本日の振り返りをして、次回の教材作成に必要なものをそろえる。	0分
第8回	シラバスの指定場所に課題を記入したことを確認すること 教育実習指導 6月5日(金)3限 合同	
	教材作成について(子どもを想定しながら教材を作成する。「導入、まとめ」の場面についての指導内容を確認する) 【予習】プログラムの導入展開まとめについて内容を確認する。 テキスト『実習の記録と指導案』(ひかりのくに) p.59-66 「3歳児の部分実習指導案の例」に目を通しておき、指導案を記入する際のポイントをおさえておく。	60分
	【復習】教材作成の「導入・まとめ」についての指導内容を想定しながら自習する。	0分
第9回	教材研究 教材を完成させる。導入展開まとめを各自で実演してみる。子どもとの掛け合い場面を想定して行ってみる。 自習課題:指導案の作成(演習)	
	【予習】教材を完成させられるように、準備しておく。掛け合いを想定するために各自で言葉を選んでおく。 テキスト『実習の記録と指導案』(ひかりのくに) p.84-91 「4歳児の部分実習指導案の例」に目を通しておき、指導案を記入する際のポイントをおさえておく。	60分
	【復習】	0分
第10回	教材研究の実演(評価) 実際に実演してみる。	
	【予習】実演できるように準備する。	30分
	【復習】自分が行った実演を振り返り、現場実習に生かせるように再構築する。	0分

第11回	友達の実演場面を見て、良いところを探し、評価する。 また自身の教材研究に友達の良いところを取り入れる。	
	【予習】様々な、教材をみて、自身の教材に取り入れる。	0分
	【復習】教材研究を振り返り、良いところを、改善できるところを省察する。	30分
第12回	幼稚園実習について、その流れと持ち物などを理解する。	
	【予習】幼稚園実習に必要な、書類や持ち物を確認しておく。	30分
	【復習】実習内諸書など、重要な必要書類は、コピーしておく。	0分
第13回	「教育実習」事前指導 オリエンテーション	
	【予習】幼児教育学科作成テキスト「学外実習の手引」をよく読み、内容を把握しておくこと。	30分
	【復習】	0分
第14回	「教育実習」事前指導 事前報告	
	【予習】実習先の幼稚園に訪問して、直前のオリエンテーションを受ける。 その際に、園で打ち合わせてきた事項に基づいて、事前報告書を作成する。	100分
	【復習】	0分
第15回	【これより後期授業】 教育実習指導（後期）ガイダンス ・後期授業計画内容を確認、見通しを立てる。	
	【予習】シラバスを読み、授業内容を把握しておく。	15分
	【復習】実習先の幼稚園へ、一人一通お礼状を書き、各自で送付する(実習終了後、1週間以内に投函)。	60分
第16回	「教育実習」事後指導 ・担当教員への事後報告	
	【予習】教育実習 を振り返り、事後報告書を作成しておく。	60分
	【復習】教育実習 を終えて、振り返りの課題レポート（A4サイズ原稿用紙2枚分）を仕上げしておく。	60分
第17回	事後指導 ・実習を振り返った上で、自己課題を設定する。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第18回	事後指導 担当教員との個別面談により、実習園からの実習評価内容を知る。そこから、自己評価との類似点・相違点などを確認し、今後の自己課題と取り組みの進め方について再検討する。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第19回	事後指導 ・自己課題解決への取り組み 自己点検・評価により確認できた自己課題の課題達成に向けて、具体的に計画を実践する。	
	【予習】次回から自己課題への取り組みで、教材作成をする場合、必要な材料を準備しておく（教材研究）。	20分
	【復習】	0分
第20回	・自己課題への取り組み	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	・自己課題への取り組み	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第22回	・自己課題への取り組み	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第23回	・自己課題への取り組み	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第24回	事後指導 ・自己課題への取り組みのまとめ 各自の課題達成状況について、確認とまとめの意味で、模擬保育発表を行う。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	保育実習指導			科目コード	C152-10				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 保育実習		担当教員名	梅本 恵 中山 里美 明柴 聡史 松居 紀久子					
実務経験									
開講時期	1年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	保育実習 -1 保育実習 -2								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	「保育実習 -1(保育所)」「保育実習 -2(施設)」の事前事後指導として行う。実習の意義や目標、実習内容、実習に臨む際の基本的な心構えや態度について学習する。実習前のオリエンテーション・特別講義などを通して、自己の実習課題を明らかにし、効果的に実習に取り組みようにする。実習後は、各自作成のレポートなどを中心に、実習の成果と課題を把握する。実習施設に対する理解を深めるために、県内の児童福祉施設見学も予定している。								
学習目標	実習の意義および目的と実習の方法を理解する 実習日誌の基本的な書き方を習得する 実習に対する心構えや態度を学び、習得する 実習を振り返り、実習内容や自らの課題の達成状況を把握し、今後の学習課題を明らかにする								
キーワード	保育所 幼保連携型認定こども園 児童福祉施設 保育士 実習課題 実習日誌 省察								
テキスト・ 参考書等	『実習日誌の書き方』開仁志編著 一藝社 『指導案大百科事典』開仁志編著 一藝社 『学外実習の手引き』 『保育所保育指針解説書』厚生労働省 フレーベル館								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育所や児童福祉施設の目的と概要、保育士の職務について理解している								
LO-2	【技能・表現】保育所や児童福祉施設での実習に目標を持って取り組み、実習日誌や指導案を書くことができる								
LO-3	【思考・判断】保育所や児童福祉施設をめぐる現代的な課題を論理的に考察できる								
LO-4	【関心・意欲・態度】実習施設と入所者、子どもを取り巻く環境に関心を持ち、援助の方法を習得する								
LO-5	【社会性・人間性】実習に対する心構えや態度を習得する								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			20						20
LO-2			20						20
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5			20						20
備考	この科目を履修しなければ、保育実習を受けることはできない。「保育実習指導」2単位は、「保育実習 -1」および「保育実習 -2」の単位取得が前提となる。成績評価は施設見学(20%)、保育実習 -1(40%)、保育実習 -2(40%)の各レポートにより評価する。(評価は、2年前期の成績に記載)								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 実習の種類と目的の理解、単位の認定、実習手続、スケジュール等	
	【予習】	0分
	【復習】 保育実習の概要を確認する	45分
第2回	保育所及び保育士の職務内容について（1） 保育所の一般的理解	
	【予習】 保育所保育指針の第1章総則を読む	60分
	【復習】 配布されたプリントを見直し、理解する	60分
第3回	保育所及び保育士の職務内容について（2） 保育士の職務内容の理解、デイリープログラム等	
	【予習】	0分
	【復習】 配布されたプリントと資料を見直し、理解する	60分
第4回	保育所及び保育士の職務内容について（3）	
	【予習】 『学外実習の手引き』を読む	45分
	【復習】 配布されたプリントを見直し、理解する	45分
第5回	実習日誌の基本的な構成とその内容（1） 実習の心構えと態度について	
	【予習】 テキスト『実習日誌の書き方』9ページから32ページを読み、不明な部分を把握する	60分
	【復習】 配布されたプリントを見直し、理解する	45分
第6回	実習日誌の基本的な構成とその内容（2）	
	【予習】 テキスト『実習日誌の書き方』33ページから66ページを読み、不明な部分を把握する	60分
	【復習】 配布されたプリントと資料を見直し、理解する	45分
第7回	保育所以外の児童福祉施設の一般的理解 施設の目的、概要、施設見学準備	
	【予習】	0分
	【復習】 配布されたプリントと資料を見直し、理解する	90分
第8回	施設見学準備 「施設見学のしおり」作成	
	【予習】 見学先の施設について調べる	90分
	【復習】 「施設見学のしおり」を完成させる	90分
第9回	施設見学 「施設見学のしおり」作成	
	【予習】 「施設見学のしおり」を熟読する	60分
	【復習】	0分
第10回	施設見学（9回目と併せて行う）	
	【予習】	0分
	【復習】 レポートを作成する	180分

第11回	児童福祉施設等への自主実習について	
	【予習】	0分
	【復習】	180分
第12回	指導案の作成について	
	【予習】テキスト『保育指導案大百科事典』の7ページから28ページを読み、不明な部分を把握する	60分
	【復習】指導案を完成させる	120分
第13回	実習施設の説明と希望調査	
	【予習】実習に臨むにあたっての自分の問題意識を整理する	45分
	【復習】授業内容を振り返り、希望施設を絞る	45分
第14回	2年生との実習連絡会	
	【予習】	0分
	【復習】連絡会の内容を振り返り、整理する	45分
第15回	学外実習の心構え 自主実習の準備	
	【予習】	0分
	【復習】自主実習の手順について理解し、準備する	60分
第16回	「保育実習 -1」第1回実習オリエンテーション	
	【予習】	0分
	【復習】配布された資料を整理し、熟読する	90分
第17回	「保育実習 -1」第2回実習オリエンテーション	
	【予習】	0分
	【復習】配布された資料を熟読し理解する	90分
第18回	「保育実習 -1」特別講義	
	【予習】ガイダンスに向けて、問題意識を整理する	45分
	【復習】特別講義の内容を振り返り、理解を深める	45分
第19回	「保育実習 -1」事前報告	
	【予習】事前指導に向けて、書類を作成する	90分
	【復習】	0分
第20回	事前学習 実習日誌の書き方 レポート作成指導	
	【予習】実習日誌の書き方で不明な部分を把握し、テキストで確認しておく	90分
	【復習】レポート作成の要点を確認する	45分

第21回	2年生から実習ハンドブックの説明	
	【予習】	90分
	【復習】	0分
第22回	「保育実習 -1」事後報告	
	【予習】実習事後報告書の作成	0分
	【復習】	90分
第23回	「保育実習 -2」第1回実習オリエンテーション	
	【予習】	0分
	【復習】配布された資料を熟読し理解する	90分
第24回	特別講義(1)	
	【予習】特別講義で取り上げられる施設について、概要を把握しておく	45分
	【復習】特別講義の内容を振り返り、理解を深める	45分
第25回	特別講義(2)	
	【予習】特別講義で取り上げられる施設について、概要を把握しておく	45分
	【復習】特別講義の内容を振り返り、理解を深める	45分
第26回	特別講義(3)	
	【予習】特別講義で取り上げられる施設について、概要を把握しておく	45分
	【復習】特別講義の内容を振り返り、理解を深める	45分
第27回	「保育実習 -2」事前指導(1) 事前課題学習指導	
	【予習】	0分
	【復習】レポートを作成する 実習計画書 種別ごとテーマ学習	180分
第28回	「保育実習 -2」事前指導(2) 保育実習 〃 の選択に関する説明	
	【予習】	0分
	【復習】実習施設について調べたことをまとめる	45分
第29回	「保育実習 -2」事前指導(3) 2年生からのガイダンス	
	【予習】	0分
	【復習】実習施設について調べたことをまとめる	45分
第30回	「保育実習 -2」事前報告	
	【予習】実習にあたり不明な点がないか確認しておく	15分
	【復習】授業内容を振り返り、確認する	30分

授業科目名	保育実習 -1			科目コード	C152-11				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 保育実習		担当教員名	梅本 恵 中山 里美					
実務経験	神戸市保育所勤務25年。大学・短大からの実習生指導担当として、特に幼児クラスにおけるクラス運営と遊びの指導を行う。								
開講時期	1年後期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	保育実習 保育実習指導					
関連科目	保育実習指導								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	保育所における3歳未満児を対象とした10日間の保育所実習である。 3歳未満児の発達の特徴や保育の内容、方法、保育所の機能と社会的役割、保育所保育士の基本的職務内容等について実践的に理解する。								
学習目標	保育所の目的及び機能等について、実地の体験を通して理解する。 保育所における3歳未満児の生活の様子や発達の姿について具体的な理解を深めると共に、必要な養護や教育の基本的内容について実践的に理解する。 保育士の基本的な職務内容や役割について現場保育者からの指導を受けると共に、観察や助手的な経験を通して自ら修得								
キーワード	保育所 保育士 3歳未満児								
テキスト・ 参考書等	『保育所保育指針解説書』 厚生労働省編 フレーベル館 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府・文部科学省・厚生労働省 フレーベル館								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 乳幼児の発達と生活、遊びに関する基本的な知識を有している。								
LO-2	【技能】 乳幼児と親和的に関わることができる。また、乳幼児の発達や興味関心を考慮して環境構成や保健・安全面に配慮した保育が行える。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 個々の乳幼児の具体的な理解を基に、適切な援助の方法について考察し、実践する。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 自ら指導・助言を求め、積極的に実習に取り組む。								
LO-5	【人間性・社会性】 基本的なマナーを身につけ、正しい言葉づかいで会話や記録ができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						80	20		100
LO-1						10	5		15
LO-2						10	5		15
LO-3						20	5		25
LO-4						20	5		25
LO-5						20			20
備考	その他A：実習先の保育所(園)からの評価 その他B：実習日誌の評価								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	保育実習 -2			科目コード	C152-12				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 保育実習		担当教員名	明柴 聡史 松居 紀久子					
実務経験	児童養護施設勤務9年。児童養護施設における実習の在り方検討会、社会的（家庭的）養護推進検討委員会委員。								
開講時期	1年後期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	保育実習指導		後継科目	保育実習					
関連科目	社会福祉 児童家庭福祉 社会的養護 社会的養護内容								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	児童福祉施設及び障害者支援施設等での10日間の実習に加えて、事前・事後学習を行う。								
学習目標	施設の目的及び機能等について、実地の体験を通して理解する。 入所児（者）の生活と発達等について、個別的及び集団的関わりを通して理解する。 保育士等の役割及び職務内容、他の職員とのチームワークとうについて体験的に理解する。								
キーワード	参加実習 実習日誌 施設の社会的役割、施設保育士の業務内容								
テキスト・ 参考書等	施設実習パーフェクトガイド（わかば社）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】対象児（者）発達と生活に関する基本的な知識を有している								
LO-2	【技能・表現】対象児（者）に親和的にかかわり、環境設定や保健・安全面に配慮した支援が行える								
LO-3	【思考・判断】個々の対象児（者）に対する具体的理解を深め、適切な援助の方法を考察することができる								
LO-4	【関心・意欲・態度】参加実習に主体的に取り組み、実習日誌に的確に記述できる								
LO-5	【人間性・社会性】時間や規則を守るとともに、マナーや正しい言葉づかいに心がけ、職員等と対応することができる								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						80	20		100
LO-1						10			10
LO-2						20			20
LO-3						20	10		30
LO-4						20	10		30
LO-5						10			10
備考	その他：（A）実習先施設による評価80% （B）学科教員による実習日誌の評価20%								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	保育実習指導			科目コード	C152-20				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 保育実習		担当教員名	中山 里美 梅本 恵					
実務経験									
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	保育実習指導 保育実習 - 1		後継科目	なし					
関連科目	保育実習 教育実習指導								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	「保育実習」の事前事後指導として行います。1年次の講義や実習「保育実習 - 1」（保育所3歳未満児）での学びをふまえて、事前指導では3歳以上児を対象とした保育所実習として指導計画の作成や実践について学習します。事後指導では実践を通じた学びを振り返り、自己の課題を明らかにします。								
学習目標	保育実習の事前・事後指導として行う。保育実習の意義・目的を理解し、実習の内容を総合的に学び、保育の計画と実践、評価と改善、専門性について理解する。事後指導では、実習の総括と自己評価から課題を明確にする。								
キーワード	保育所 保育士 3歳以上児 担任実習 指導案								
テキスト・ 参考書等	1) 関仁志編『実習日誌の書き方』（一藝社） 2) 関仁志編『保育指導案大百科事典』（一藝社）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	[知識・理解] 保育所の機能や社会的役割、保育士の職務について理解している。								
LO-2	[技能] 幼児の生活や発達過程をふまえて、指導計画を立案することができる。保育内容や集団・個々の幼児へのかかわりを工夫し								
LO-3	[思考力・判断力・表現力] 自らの実習経験をとおして、幼児の生活や発達過程をふまえた養護や教育の基本的内容とその実践について考えることがで								
LO-4	[関心・意欲・態度] 幼児をとりまく生活環境や発達の様子、保育者の役割に関心をもち、基本的な援助の方法を身につける。								
LO-5	[人間性・社会性] 指導計画の立案や教材研究、模擬保育の実践などの課題に主体的に取り組み、指導を受けて自らの研究を深める。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			70	10	20				100
LO-1			20						20
LO-2			20						20
LO-3				10	10				20
LO-4			20						20
LO-5			10		10				20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション「保育実習」の意義・目的、保育実習の自己評価と自己課題の設定	
	【予習】「学外実習の手引き」で「保育実習」の目的と内容について確認する。 「保育実習 -1」を実習日誌などで振りかえり、自己課題について考える。	20分
	【復習】五領域における「ねらい」と「内容」プリントを完成させる。	30分
第2回	指導案の作成 - 1 (部分実習: 作って遊ぼう) 第2回授業に参加する	
	【予習】パスワード: Hoshi23-1	0分
	【復習】	0分
第3回	指導案の作成 - 2 (部分実習: 作って遊ぼう) 第3回授業に参加する	
	【予習】パスワード: Hoshi23-2	0分
	【復習】「作って遊ぼう」: 保育内容(造形表現)指導法で製作したおもちゃの内、一つを選んで指導案を作成する。郵送提出	30分
第4回	指導案の作成 - 1 (部分実習: 集団遊び) 【本日の進め方】 Zoomに入る プリントを手元に準備しておく	
	【予習】 パスワード: Hoshi23-3	30分
	【復習】	0分
第5回	指導案の作成 - 2 (部分実習: 集団遊び)	
	【予習】	0分
	【復習】「集団遊び」指導案郵送提出	0分
第6回	学内実習に向けて(部分実習の計画・指導案の作成)	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	学内実習に向けて(部分実習の準備)	
	【予習】教材研究に必要なものを準備する(材料や資料の収集等)。	30分
	【復習】教材作成の続きを行い、完成に近づける。	30分
第8回	指導案の作成 (異年齢・縦割り保育)	
	【予習】	20分
	【復習】	20分
第9回	学外講師による特別講義「子どもの保育と保護者支援。地域社会との連携について」	
	【予習】配布資料を読んでおく。	30分
	【復習】講義で学んだ重要なポイントをノートに整理する。	30分
第10回	指導案の作成 - 1 (全日実習)	
	【予習】	0分
	【復習】全日の中の部分活動を考える	60分

	指導案の作成 - 2 (全日実習)	
第11回	【予習】	0分
	【復習】全日指導案提出	0分
	オリエンテーション「保育実習」の意義・目的、保育実習の自己評価と自己課題の設定	
第12回	【予習】	0分
	【復習】実習の目標や取り組んでみたい活動を考える。	120分
	実習園を訪問し、事前打ち合わせを行う。 打ち合わせてきた内容に基づいて事前報告書を作成する。	
第13回	【予習】	0分
	【復習】事前報告書を作成する。提出	40分
	事後報告会	
第14回	【予習】実習を振りかえり、事後報告書を作成する。	40分
	【復習】事後報告書提出	0分
	実習報告会	
第15回	【予習】	0分
	【復習】自己課題解決に取り組む。	60分

授業科目名	保育実習			科目コード	C152-21				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 保育実習		担当教員名	中山 里美 梅本 恵					
実務経験	富山県支援学校勤務13年。富山県高等学校勤務13年。全国の美術館で作品を展示発表。県内の保育士会言語・表現部会の講師を務める。								
開講時期	2年前期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	保育実習 - 1 保育実習指導		後継科目						
関連科目	保育実習指導								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	保育所における3歳以上児を対象とした10日間の保育所実習である。幼児の発達の特徴や保育の内容、方法、保育所の機能と社会的役割、保育所保育士の基本的職務内容等について実践的に理解する。								
学習目標	既習の教科目や保育実習 - 1の経験を踏まえ、10日間の実習を通して保育所の役割と機能、乳幼児の保育と子育て支援、指導計画の作成・実践・評価、保育士の業務を理解し、実習における自己課題を明確化する。								
キーワード	保育所 保育士 3歳以上児 担任実習								
テキスト・ 参考書等	厚生労働省「保育所保育指針」 内閣府・文部科学省・厚生労働省「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」フレーベル								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	[知識・理解] 幼児の発達と生活・遊びに関する基本的な知識を有している。また、指導計画の意義、指導計画作成の基本的な知識を有している。								
LO-2	[技能] 幼児と親和的にかかわることができる。また、子どもの発達や興味関心を考慮した内容の活動を立案し、環境設定や保健・安全面に配慮した保育が行える。								
LO-3	[思考力・判断力・表現力] 個々の幼児への具体的な理解をもとに、適切な援助の方法について実践し、考察することができる。また、クラス全体へのかかわりにおいて、臨機応変に対応する。								
LO-4	[関心・意欲・態度] 自ら指導・助言を求め、積極的に参加実習や担任実習に取り組むことができる。また、指導内容を次の機会にいかして研究を深める態度が身についている。								
LO-5	[人間性・社会性] 基本的なマナーが身についており、正しい言葉づかいで会話や記録ができる。また、職員としての立場を理解して適切な行動をとることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						80	20		100
LO-1						10			10
LO-2						10	10		20
LO-3						20			20
LO-4						20	10		30
LO-5						20			20
備考	その他 A : 実習先の保育所(園)からの評価 その他 B : 実習日誌等の評価								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	保育実習指導			科目コード	C152-30				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 保育実習		担当教員名	明柴 聡史 松居 紀久子					
実務経験									
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	保育実習 - 2		後継科目						
関連科目	社会福祉 児童家庭福祉 社会的養護								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	保育実習 の事前・事後指導を行います。保育実習 -2での学びをふまえて、保育所以外の社会福祉施設で実習することの意義・目的を理解し、保育士としての専門性について考察していきます。また、実習施設の特性について学び、支援に必要な知識や方法を理解し、実際の支援に活用できることをめざします。								
学習目標	社会福祉施設における意義・目的を、これまでの実習や講義等の学びと関連付けて理解する。 社会福祉施設における具体的支援方法を学び、実践に活用できるようになる。 計画と観察、記録、自己評価に基づく保育（支援）の改善について、実践事例を通して理解する。								
キーワード	施設サービス 生活支援 自立支援 地域 コミュニケーション 計画と評価								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『施設実習パーフェクトガイド』（わかば社） 参考資料を配布します。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 実習施設や利用児者の特性を知り、必要な知識や支援内容について、説明することができる。								
LO-2	【技能】 対象児者の個別的な理解に必要な観察・記録・考察のポイントを理解し、実践で活用できる。ねらいに応じた支援内容や配慮点を設定し、指導計画としてまとめることができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 これまでの実習経験をふまえて、実習施設における適切な支援内容・方法について自ら考えることができる。実習場面における自己を省察し、文章化して評価することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 実習施設や対象児者の現状を的確に把握し、保育者(支援者)の果たす役割及び適切な支援について、実習場面と関連付けながら検討することができる。								
LO-5	【人間性・社会性】 ノンバーバルなコミュニケーションの重要性を理解し、自らのコミュニケーション力を高める。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			70			30			100
LO-1			20						20
LO-2			10			10			20
LO-3			10			10			20
LO-4			20			10			30
LO-5			10						10
備考	その他Aは、課題研究発表や討議の状況								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション「保育実習」の意義・目的	
	【予習】実習 を選択した理由、学びたい内容を文章化しておく。	20分
	【復習】保育実習 2の振り返り事項を再確認し、今回の実習での学習課題が適当であるか、十分に検討する。	20分
第2回	指導案の作成 - 1 (部分実習: 作って遊ぼう) 第2回授業に参加する 実習施設の機能及び役割の理解	
	【予習】パスワード: Hoshi23-1 指導案 実習施設種別の機能や役割を、教科書等で確認する。 実習施設のHPなどで、施設について調べる	30分
	【復習】実習施設に関する研究テーマを検討する。	20分
第3回	第3回授業に参加する 実習施設における保育士等の業務内容の理解	
	【予習】パスワード: Hoshi23-2 実習施設についての情報を、HPや友人等から集めておく。	20分
	【復習】第3回の 単独授業に参加する 10時20分 パスワード: Hoshi3-3	40分
第4回	合同授業に参加する https://zoom.us/j/98637038645?pwd=TnJdDAwVWFJUEXZWWVlWktRN2hJZz09 保育実践力の向上 観察の視点	
	【予習】パスワード: Hoshi23-3 これまでの日誌をふりかえって、観察の視点を確認する。	20分
	【復習】 時間: 2020年	20分
第5回	対面授業 指導案の発表 意見交換会 保育実践力の向上 記録	
	【予習】これまでの日誌の記録内容を見返し、改善点を見出す。	20分
	【復習】課題を仕上げる。	20分
第6回	対面授業 指導案発表 意見交換 保育実践力の向上 指導計画の作成(講義)	
	【予習】指導計画のポイントについて、教科書で確認する。	20分
	【復習】特別講義の内容を、整理してまとめる。	30分
第7回	対面授業 配属に合わせた指導案作成・準備 保育実践力の向上 指導計画の作成(演習)	
	【予習】提示された課題について、自ら指導計画を書いてみる。	30分
	【復習】講義中に受けた助言等を参考に、指導計画を完成する。	30分
第8回	保育実践力の向上 指導計画・評価	
	【予習】指導計画作成のポイントを再確認し、新たな指導計画作成にあたる。	30分
	【復習】助言等を参考に、指導計画を仕上げる。	30分
第9回	保育実践力の向上 教材研究	
	【予習】実習で取り組みたい内容を検討し、そのために必要な準備をする。	30分
	【復習】事前準備として取り組んだ内容を完成させる。	30分
第10回	実習事前打ち合わせ準備	
	【予習】実習打ち合わせで確認すべき事項をまとめる。	15分
	【復習】実習打ち合わせの内容をレポートにまとめる。実習までに、確認すべきことを整理する。	30分

第11回	事前指導 事前報告	
	【予習】実習事前報告用紙を完成する。	15分
	【復習】教員との打ち合わせ内容を確認し、実習事前準備をすすめる。	15分
第12回	事後指導 自己評価（対象者理解、支援技術、支援計画性、学びの態度等）	
	【予習】実習のふりかえりをする。	20分
	【復習】課題レポートを仕上げる。	40分
第13回	事後指導 事後報告 グループワーク	
	【予習】課題レポートに内容を再確認しておく。	10分
	【復習】グループワークでの学びを整理してまとめておく。	15分
第14回	事後指導 自己課題の明確化	
	【予習】保育実習 の実習日誌やグループワークでの学びを整理する。	20分
	【復習】担当教員との対話を通して学んだ内容を整理して記述する。	20分
第15回	事後指導 自己課題解決のためのプラン作成	
	【予習】前回の講義で検討した自己課題について、再確認する。	10分
	【復習】これからの保育者としての学びや就職活動と関連付けて、自己課題解決のためのプランをより具体化しておく。	15分

授業科目名	保育実習			科目コード	C152-31				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 保育実習		担当教員名	明柴 聡史 松居 紀久子					
実務経験	児童養護施設勤務9年。								
開講時期	2年前期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	保育実習 - 2		後継科目						
関連科目	社会福祉 児童家庭福祉 社会的養護 社会的養護内容								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	児童福祉施設及び障害者支援施設等での10日間の実習に加えて、事前・事後学習を行う。								
学習目標	施設の目的及び機能等について、実地の体験を通して理解する。 入所児(者)の生活と発達等について、個別的及び集団的関わりを通して理解する。 保育士等の役割及び職務内容、他の職員とのチームワークとうについて体験的に理解する。								
キーワード	参加実習 実習日誌 施設の社会的役割、施設保育士の業務内容								
テキスト・ 参考書等	施設実習パーフェクトガイド(わかば社)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】対象児(者)発達と生活に関する基本的な知識を有している								
LO-2	【技能】対象児(者)に親和的にかかわり、環境設定や保健・安全面に配慮した支援が行える								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】個々の対象児(者)に対する具体的理解を深め、適切な援助の方法を考察することができる								
LO-4	【関心・意欲・態度】参加実習に主体的に取り組み、実習日誌に的確に記述できる								
LO-5	【人間性・社会性】時間や規則を守るとともに、マナーや正しい言葉づかいに心がけ、職員等と対応することができる								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						80	20		100
LO-1						10			10
LO-2						20			20
LO-3						20	10		30
LO-4						20	10		30
LO-5						10			10
備考	その他：(A)実習先施設による評価80% (B)学科教員による実習日誌の評価20%								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習		担当教員名	高木 三郎					
実務経験									
開講時期	2年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	【総合演習(教育)】 幼児期の教育に関わるテーマから、自らの問題意識を整理し、関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を行い、研究結果をまとめ、発表させる。								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	当ゼミナールの共通参考文献・ウェブサイトは、以下の通り。また、各班の研究テーマに応じて、その都度、指示する。 ・外務省ホームページ < www.mofa.go.jp/mofaj >								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		30	40			100
LO-1			10		10				20
LO-2			10		10				20
LO-3			10		10				20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見通しを持って計画に取り組むこと。 「その他A」は、「研究への取り組み」とする。 「研究レポート 30%、発表会の内容 15%、中間発表 15%、研究への取り組み 40%」で総合的に評価する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	○オリエンテーション 総合演習全体について 三郎 高木さんがあなたを予約されたZoomミーティングに招待しています。	
	【予習】パスワード: Takaen2 自らの関心について把握する	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する 三郎 高木さんがあなたを予約されたZoomミーティングに招待しています。	
	【予習】パスワード: Takaen3 研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する 三郎 高木さんがあなたを予約されたZoomミーティングに招待しています。	
	【予習】パスワード: Takaen4 研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	15分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	90分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習		担当教員名	石動 瑞代					
実務経験									
開講時期	2年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	【総合演習(保育)】 保育実習や短大での講義、日常生活場面で感じた、保育や子育てについての疑問や問題意識を整理し、子どもの育ちや親子関係についての関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を行い、研究結果をまとめ、発表させる。保育現場での実践に役								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	各班の研究テーマに応じて、その都度、指示する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能・表現】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考・判断】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【社会性・人間性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		30	40			100
LO-1			10		10				20
LO-2			10		10				20
LO-3			10		10				20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見通しを持って計画に取り組むこと。 提出課題に対しては口頭及び紙面によるコメントのほか、対話を通して、さらなる探究に結びつけるようにする。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	○オリエンテーション 総合演習全体について	
	【予習】自らの関心について把握する パスワード: Isuzemi1	15分
	【復習】教えて自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する 第3回授業に参加する。	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す パスワード: Isuzemi2	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する 時間: 2020年5月26日 02:50 PM	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す パスワード: Isuzemi3	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む 総合演習の課題	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	15分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	90分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習	担当教員名	望月 健一						
実務経験									
開講時期	2年通年	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	<p>【総合演習（世界の児童文化）】 自らの問題意識を整理し、関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を行い、研究結果をまとめ、発表させる。 本ゼミナールでは、世界の児童文化・保育・教育、世界の伝承童謡・童話・児童文学・ファンタジー等の分野を扱う。研</p>								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	当ゼミナールの共通参考文献・ウェブサイトは、以下の通り。また、各班の研究テーマに応じて、その都度、指示する。 ・外務省ホームページ < www.mofa.go.jp/mofaj >								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		30	40			100
LO-1			10		10				20
LO-2			10		10				20
LO-3			10		10				20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見通しを持って計画に取り組むこと。 「その他A」は、「研究への取り組み」とする。 「研究レポート 30%、発表会の内容 15%、中間発表 15%、研究への取り組み 40%」で総合的に評価する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	○オリエンテーション 総合演習全体について	
	【予習】自らの関心について把握する	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	15分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	90分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習		担当教員名	梅本 恵					
実務経験									
開講時期	2年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	【総合演習：保育・教育】 自らの問題意識を整理し、関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を受け、研究結果をまとめ、発表する。								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	各班のテーマに応じてその都度指示する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		30	40			100
LO-1			10		10				20
LO-2			10		10				20
LO-3			10		10				20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	<p>自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見通しを持って計画に取り組むこと。</p> <p>「その他A」は、「研究への取り組み」とする。</p> <p>「研究レポート 30%、発表会の内容 15%、中間発表 15%、研究への取り組み 40%」で総合的に評価する。</p>								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	○オリエンテーション 総合演習全体について	
	【予習】自らの関心について把握する	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する ・Google Scholarでキーワード検索を試みる	
	【予習】パスワード: Zemi3 研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する 添付資料：論文「絵本で考える性の多様性」を読む	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査等を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	15分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	90分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習		担当教員名	中山 里美					
実務経験									
開講時期	2年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	造形表現：自らの問題意識を整理し、造形表現に関連する研究課題を設定する。設定した研究課題に応じて、制作や実践、調査活動に取り組み分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を行い、研究結果をまとめ、発表させる。								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	各班の研究テーマに応じて、その都度、指示する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		30	40			100
LO-1			10		10				20
LO-2			10		10				20
LO-3			10		10				20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	<p>自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見通しを持って計画に取り組むこと。</p> <p>「その他A」は、「研究への取り組み」とする。</p> <p>「研究レポート 30%、発表会の内容 15%、中間発表 15%、研究への取り組み 40%」で総合的に評価する。</p>								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	○オリエンテーション 総合演習全体について 第2回授業に参加する	
	【予習】自らの関心について把握する パスワード Nakama2	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する 第3回授業に参加する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す パスワード: Nakama2	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する 第4回授業に参加する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す パスワード: Nakama4	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	15分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	90分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習		担当教員名	難波 純子					
実務経験									
開講時期	2年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	保育内容(音楽表現、)		後継科目						
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	【総合演習：音楽表現】 自らの問題意識を整理し、関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を受け、研究結果をまとめ、発表する。								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	各班のテーマに応じてその都度指示する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		30	40			100
LO-1			10		10				20
LO-2			10		10				20
LO-3			10		10				20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	<p>自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見通しを持って計画に取り組むこと。</p> <p>「その他A」は、「研究への取り組み」とする。</p> <p>「研究レポート30%、発表会の内容15%、中間発表15%、研究への取り組み40%」で総合的に評価する。</p>								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	○オリエンテーション 総合演習全体について <音楽表現ゼミ、初集合！> 【予習】パスワード: Namba1	15分
	自らの関心について把握する 【復習】【課題1】 左の人型のマークから、第2回授業アンケートに回答する 【課題2】自らの関心を整理し、研究課題を考える これらをもって本日の出席とする	30分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する	
	【予習】パスワード: Namba2	45分
	研究課題に関連する文献や資料を探す 【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	【課題1】 左の人型のマークから、第3回授業アンケートに回答する	
	第4回授業に参加する 2020年5月26日 02:50 PM	
	研究課題の検討と設定 【予習】パスワード: Namba4	45分
	研究課題に関連する文献や資料を探す 【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	【課題1】 左の人型のマークから、第4回授業アンケートに回答する	
	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査等を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
第6回	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
第7回	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	15分
第8回	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
第9回	【復習】研究計画書を完成させる	45分
	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
第10回	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
第10回	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	90分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習		担当教員名	大森 宏一					
実務経験									
開講時期	2年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	<p>【総合演習（体育・健康）】 自らの問題意識を整理し、関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を行い、研究結果をまとめ、発表させる。 本ゼミナールでは、体育・健康等の分野を扱う。研究テーマに基き班分けを行った後、班ごとに学生・教員間で意見交換</p>								
学習目標	<p>「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。</p>								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		30	40			100
LO-1			10		10				20
LO-2			10		10				20
LO-3			10		10				20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	<p>自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見通しを持って計画に取り組むこと。 「その他A」は、「研究への取り組み」とする。 「研究レポート30%、発表会の内容15%、中間発表15%、研究への取り組み40%」で総合的に評価する。</p>								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	2回目 総合演習 大森ゼミ 参加〇オリエンテーション 総合演習全体について	
	【予習】自らの関心について把握する パスワード: Omo2 (Oは大文字 2は数字)	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	5月19日 第3回目 大森ゼミ 〇研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す パスワード : Omo2 Oは大文字 2は数字です	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	5月26日 4限 大森ゼミ 研究課題の検討と設定	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す パスワード : Omo3 (Oは大文字 3は数字)	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	〇研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	〇研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	〇研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	15分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
第8回	〇研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	〇調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	〇調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	90分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習		担当教員名	松居 紀久子					
実務経験									
開講時期	2年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	<p>【総合演習（保健）】 自らの問題意識を整理し、関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を行い、研究結果をまとめ、発表させる。 本ゼミナールでは、子どもの保健、病気、保健指導等の分野を扱う。研究テーマに基き班分けを行った後、班ごとに学生</p>								
学習目標	<p>「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。</p>								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	各班の研究テーマに応じて、その都度、指示する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		30	40			100
LO-1			10		10				20
LO-2			10		10				20
LO-3			10		10				20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	<p>自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見通しを持って計画に取り組むこと。 「その他A」は、「研究への取り組み」とする。 「研究レポート30%、発表会の内容15%、中間発表15%、研究への取り組み40%」で総合的に評価する。</p>								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	時間: 2020年5月12日 02:50 PM	
	【予習】パスワード: Mken2 自らの関心について把握する	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	Zoomミーティングに参加する https://zoom.us/j/93575212429?pwd=UWgvOGJpSHMrLzR2ZjJlDL3V0MzlnQT09 ○研究課題の検討と設定	
	【予習】パスワード: Mken3 研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	第4回授業に参加する2020年5月26日 02:50 PM 研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する	
	【予習】パスワード: Mken4 研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	対面授業 水曜日 5限 ○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査等を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	15分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	90分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習		担当教員名	嶋野 珠生					
実務経験									
開講時期	2年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	【総合演習(心理)】 乳幼児期の子どもの心理や課題、子育て期の保護者の心理や課題に関わるテーマから、自らの問題意識を整理し、関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を行い、研究結果をまとめ、発表させる。								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	各班の研究テーマに応じて、その都度、指示する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		30	40			100
LO-1			10		10				20
LO-2			10		10				20
LO-3			10		10				20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	<p>自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見通しを持って計画に取り組むこと。</p> <p>「その他A」は、「研究への取り組み」とする。</p> <p>「研究レポート 30%、発表会の内容 15%、中間発表 15%、研究への取り組み 40%」で総合的に評価する。</p>								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	○オリエンテーション 総合演習全体について 第2回授業に参加する 【予習】パスワード: Shimano2	15分
	事前課題: 【復習】次回までの課題: 自らの関心を整理し、研究テーマを考える。 検索エンジンでキーワードから情報検索してみる。	60分
	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する 第3回授業に参加する 【予習】パスワード: Shimano3 研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
第3回	【復習】研究課題に関連するキーワードで、文献検索を継続。 JapanナレッジLibや聞蔵 を使って、データベースから検索した文献や資料を読み、テーマをより明確にしていく。 調べたことはノートに記録を残す。	45分
	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する 第4回授業に参加する 【予習】パスワード: Shimano4 研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
第4回	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査を進める 【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
第5回	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める 【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
第6回	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する 【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	15分
第7回	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる 【予習】	0分
第8回	【復習】研究計画書を完成させる	45分
	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う 【予習】	0分
第9回	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う 【予習】	0分
第10回	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	90分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習		担当教員名	明柴 聡史					
実務経験									
開講時期	2年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	子ども家庭福祉、社会的養護								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	【総合演習（福祉）】 福祉の理念・制度・方法にかかわるテーマから、自らの問題意識を整理し、関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を行い、研究結果をまとめ、発表させる。								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	各班の研究テーマに応じて、その都度、指示する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【社会性・人間性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		30	40			100
LO-1			10		10				20
LO-2			10		10				20
LO-3			10		10				20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見通しを持って計画に取り組むこと。 「その他A」は、「研究への取り組み」とする。 「研究レポート 30%、発表会の内容 15%、中間発表 15%、研究への取り組み 40%」で総合的に評価する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】1年生で学んだ保育の振り返り、現在の子ども家庭福祉の課題について考え、自らの興味・関心を整理する。	0分
	【復習】	0分
第2回	○オリエンテーション 総合演習全体について	
	【予習】パスワード: Akeshiba1 自らの関心について把握する	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する トピック: 総合演習	
	【予習】パスワード: Akeshiba2 研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する トピック: 総合演習	
	【予習】パスワード: Akeshiba3 研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	15分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査を実施する	90分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】 中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】 ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】 調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	保育・教職実践演習			科目コード	C161-20				
科目区分	専門科目 - 総合演習		担当教員名	梅本 恵 高木 三郎 明柴 聡史 松居 紀久子					
実務経験									
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	なし					
関連科目	総合演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	幼稚園教諭・保育士に求められる資質能力について、現場職員による講義やグループ討論、保育内容の構想・実践等を通して、具体的に学びます。また、幼稚園教諭二種免許及び保育士資格関連科目の履修状況や、保育・教育実習等を通しての学びをふまえ、必要な資質能力が自らに統合・形成されているかを、確認していきます。								
学習目標	保育者（幼稚園教諭・保育士）に必要な資質能力について、「遊びの広場」活動実践を通じて具体的に理解する。自らのこれまでの学びを振り返り、必要に資質能力が身についているか確認する。必要な資質能力を身につけるための自己課題を見出し、改善のための方法を検討する。								
キーワード	社会性・対人関係能力 乳幼児理解とクラス経営 保育内容等の指導力 使命感・責任感 教育的愛情と感性 「遊びの広場」活動実践								
テキスト・ 参考書等	『幼稚園教育要領解説』 文部科学省 フレーベル館 『保育所保育指針解説』 厚生労働省 フレーベル館 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府・文部科学省・厚生労働省 フレーベル館								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 乳幼児期の保育・教育全般及び子どもの発達や心理等に関する知識を習得し、活用することができる。「使命感・責任感、教育的愛情と感性」「社会性・対人関係能力」「乳幼児理解やクラス経営」「保育内容等の指導力」の具								
LO-2	【技能】 保育環境や教材を分析し、「保育のねらいと子どもの姿に応じた保育」を構想する力を身につけている。また、保育を行う上での基本的な表現技術を身につけている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 現代的な保育課題に関心を持ち、考察することができる。また、自らを省察し、必要な力が身についているかを確認するとともに、自己課題を見だし、その解決法を検討することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 子どもの状況に応じた保育実践をめざして、保育の現状や自らの保育を振り返り、適切な評価を行えるよう努めている。教育的愛情と感性を深めることを意識し、努力しようとする。								
LO-5	【人間性・社会性】 自らの意見をもち、他者に的確に伝えると同時に、他者の意見に耳を傾け、協力して課題に取り組むことができる。また、グループ内での役割を適切に遂行することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			20		60	20			100
LO-1			20						20
LO-2					20				20
LO-3					20				20
LO-4					20				20
LO-5						20			20
備考	その他Aは、グループワークの取り組み姿勢								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 授業内容の説明 「遊びの広場」活動の進め方	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	乳幼児理解と保育内容の構想力 「遊びの広場」活動を計画する 遊びの内容と役割分担	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	乳幼児理解と保育内容の構想力 「遊びの広場」活動の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	乳幼児理解と保育内容の構想力 「遊びの広場」活動の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	乳幼児理解と保育内容の構想力 「遊びの広場」活動の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	乳幼児理解と保育内容の構想力	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	乳幼児理解と保育実践力 指導案に基づき模擬保育を行う。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	乳幼児理解と保育実践力 「遊びの広場」活動の実践（A・Bグループ）	
	【予習】 実践に向けた準備を行う	0分
	【復習】 保育実践記録を作成する	0分
第9回	乳幼児理解と保育実践力 「遊びの広場」活動の実践（C・Dグループ）	
	【予習】 実践に向けた準備を行う	0分
	【復習】 保育実践記録を作成する	0分
第10回	乳幼児理解と保育実践力 「遊びの広場」活動ドキュメンテーションの作成	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回	社会性・対人関係能力 「遊びの広場」活動実践過程の振り返りと自己課題の把握	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	社会性・対人関係能力 グループ討議の内容発表、まとめ 履修カルテの確認	
	【予習】	70分
	【復習】	180分
第13回	使命感・責任感、教育的愛情と感性 小学校現職教諭による講義	
	【予習】これまでの授業や実習における、使命感・責任感、教育的愛情と感性についての学びを整理しておく。	50分
	【復習】講義内容をまとめ、自分なりの考えを整理する。	100分
第14回	使命感・責任感、教育的愛情と感性 設定課題についてのグループ討議	
	【予習】第13回の講義内容を確認し、これまでの学びとあわせて、使命感・責任感、教育的愛情と感性の内容について考える。	60分
	【復習】グループ討議で出た意見をまとめ、発表資料をしあげる。	100分
第15回	使命感・責任感、教育的愛情と感性 討議課題についてのグループ発表	
	【予習】発表資料を確認し、わかりやすく、説得力のある発表内容を工夫する。	70分
	【復習】使命感・責任感、教育的愛情と感性についての学びと、自己課題をまとめる（レポート作成）。	180分

授業科目名	日本国憲法			科目コード	C511-11				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 人文・社会科学系		担当教員名	彼谷 環					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	日本国憲法の制定史をたどりながら、人権主体の多様化について具体的事例を紹介するとともに、人権を守るべき統治機構の仕組みや権能について理解を深めていく。								
学習目標	主権者として人権の重要性について理解するとともに、統治機構の役割と権限に関して知識を深める。憲法が国民と権力担当者との契約であることを認識する。								
キーワード	基本的人権 国民主権 平和主義 多文化主義 子どもの権利条約								
テキスト・ 参考書等	橋本勇人編『保育と日本国憲法』（みらい）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1									
LO-2									
LO-3	子どもの権利の確立と現代的課題について認識するとともに、主権者 = 国民としても人権の重要性について理解することができる。								
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60					40			100
LO-1									
LO-2									
LO-3	60					40			100
LO-4									
LO-5									
備考	出席カードに、最近の社会的事象について感想を書く課題を毎回設定する。授業の冒頭でその週起きた憲法的事件を解説する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	憲法とはなにか 私たちの暮らしのなかの憲法	
	【予習】新聞を読む	60分
	【復習】テキストを読みノートをまとめる	120分
第2回	人権のカタログ 法人、外国人にも人権は保障されるの？	
	【予習】新聞を読む	60分
	【復習】テキストを読みノートをまとめる	120分
第3回	法の下での平等 4つの平等と合理的区別	
	【予習】新聞を読む	60分
	【復習】テキストを読みノートをまとめる	120分
第4回	思想・良心の自由	
	【予習】新聞を読む	60分
	【復習】テキストを読みノートをまとめる	120分
第5回	信教の自由と政教分離原則	
	【予習】新聞を読む	60分
	【復習】テキストを読みノートをまとめる	120分
第6回	報道の自由と報道被害	
	【予習】新聞を読む	60分
	【復習】テキストを読みノートをまとめる	120分
第7回	被疑者・被告人の人権	
	【予習】新聞を読む	60分
	【復習】テキストを読みノートをまとめる	120分
第8回	教育を受ける権利	
	【予習】新聞を読む	60分
	【復習】テキストを読みノートをまとめる	120分
第9回	「子どもの貧困」と生存権	
	【予習】新聞を読む	60分
	【復習】テキストを読みノートをまとめる	120分
第10回	国民主権と選挙制度	
	【予習】新聞を読む	60分
	【復習】テキストを読みノートをまとめる	120分

第11回	議院内閣制と大統領制の違い	
	【予習】新聞を読む	60分
	【復習】テキストを読みノートをまとめる	120分
第12回	司法権の独立と裁判員制度	
	【予習】新聞を読む	60分
	【復習】テキストを読みノートをまとめる	120分
第13回	地方自治を「子どもの権利条約」から考える	
	【予習】新聞を読む	60分
	【復習】テキストを読みノートをまとめる	120分
第14回	平和主義 最近の憲法改正論議をふまえて	
	【予習】新聞を読む	60分
	【復習】テキストを読みノートをまとめる	120分
第15回	憲法と国際法の関係	
	【予習】テキスト・ノートを確認する	60分
	【復習】授業で取り上げたテーマのうち最も関心あるものに関する文献を読む	120分

授業科目名	国際情勢			科目コード	C511-12				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 人文・社会科学系		担当教員名	才田 春夫					
実務経験									
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許（選必） 保育士資格（選必）								
授業の概要	国際問題に関する基礎的知識を学びながら、世界の動向を理解するための教養を身につけましょう。本講座では、人類共通の解決すべき地球規模の課題、現在の政治・外交問題も視野に入れつつ、先進国のみならず発展途上国が抱えている課題についても学びます。そのうえで国際社会の一員として成すべき国際協力について考える力をつけていきます。								
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1．国際問題に関する基礎的知識を習得する。 2．世界の今日的課題について考える力を養う。 3．国際協力について理解する。 								
キーワード	国際関係、国際紛争、ASEAN、発展途上国、国際協力、								
テキスト・ 参考書等	一気にわかる池上彰の世界情勢2019 毎日新聞								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】日本と国際社会との関係を理解するうえで必要な知識を習得している。また、世界の子どもたちの教育事情を理解する。								
LO-2									
LO-3	【思考・判断】世界の紛争や貧困を事例として、問題解決手法を学び、論点整理ができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】世界における幼児教育、特に発展途上国における教育事情に関心を持ち、教育の質向上に努める。								
LO-5	【社会性・人間性】グループワークを通して社会性・協働力を磨く。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			60		40				100
LO-1			10		10				20
LO-2									
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5			10		30				40
備考	毎回、新聞を読んでくること。毎回、質問又は意見を言うこと。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション・いま世界で何が起こっているのか(政治的側面から)	
	【予習】今週の新聞記事、特に国際面を読むこと	60分
	【復習】新しく学んだ用語や知識の整理	30分
第2回	いま世界で何が起こっているのか2	
	【予習】今週の新聞記事、特に国際面を読むこと(経済的側面から)	60分
	【復習】新しく学んだ用語や知識の整理	30分
第3回	いま世界で何が起こっているのか(幼児教育について考える)	
	【予習】世界の教育について調べてくる	60分
	【復習】教育事情の整理	30分
第4回	ワークショップ1：世界の紛争について1	
	【予習】世界の紛争について調べてくること	60分
	【復習】論点の整理	30分
第5回	ワークショップ1：世界の紛争について発表準備	
	【予習】世界の紛争について調べてくること	60分
	【復習】論点の整理	30分
第6回	ワークショップ2：世界の紛争について発表	
	【予習】発表資料の整理とまとめ	60分
	【復習】他者の発表に対する評価のまとめ	30分
第7回	人間の安全保障 日本と世界の食糧事情と農業生産	
	【予習】食糧自給について調べてくる	60分
	【復習】日本の食糧自給率について自分の考えをまとめる	30分
第8回	世界の水事情について考える：バーチャルウォーター	
	【予習】バーチャルウォーターについて調べる	60分
	【復習】世界の水問題についてまとめる	30分
第9回	日本と世界のエネルギーについて考える	
	【予習】環境に関する新聞記事を調べてくる	60分
	【復習】日本のエネルギー事情についてまとめる	30分
第10回	ワークショップ2-1：世界と日本の環境問題について議論する	
	【予習】環境に関する新聞記事を調べてまとめ、それを持参する	60分
	【復習】環境問題の論点整理	30分

第11回	ワークショップ2 - 2 : 世界と日本の環境問題について発表準備	
	【予習】環境に関する新聞記事を調べてまとめ、それを持参する	60分
	【復習】発表に必要な資料作成	30分
第12回	ワークショップ2 - 2 : 世界と日本の環境問題について発表	
	【予習】発表用資料のまとめ	60分
	【復習】他者の発表に対する評価のまとめ	30分
第13回	世界の経済格差について考える：先進国と発展途上国	
	【予習】発展途上国について調べてくる	60分
	【復習】格差の整理とまとめ	30分
第14回	国際協力について考える	
	【予習】JICAと青年海外協力隊について調べる	60分
	【復習】国際協力の実態についてまとめる	30分
第15回	学生の立場で国際協力は可能か	
	【予習】NGO・海外ボランティア事例を調べる	60分
	【復習】国際協力・教育支援についてまとめる	30分

授業科目名	自然と人間			科目コード	C514-20				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 自然科学系		担当教員名	岩坪 美兼					
実務経験									
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	高校で生物基礎・生物を履修していることが望ましい。		後継科目	自然と人間					
関連科目									
資格等 取得との関連	A・B・C、3科目の中から2科目以上を選択する科目のCとして開講。 幼稚園教諭二種免許および保育士資格取得希望者の選択必修科目。								
授業の概要	植物のかたちを正しく理解し保育教材に活かすことができるとともに、日頃目にする動物についても理解を深め、身近な動物のかたちや種類について説明できるようになる。そのために、1. 身近な植物の葉・花の観察と教科書・プリントを用いた学習によって植物のかたちを学ぶ。2. 多様なかたちの葉・花の基本型を理解する。3. 果物・野菜の基本構造を理解する。4. 様々な植物を保育教材に活かす力を養う。5.								
学習目標	1. 身近に生える植物の葉、花、果実、それに野菜と果物のつくり(構造)を理解し、それらを保育活動に活かすことができること。2. 危険な植物や動物についての知識を深めて、それらから身を守る方法を保育活動のなかで実践できること。3. 動物と植物において多様性が生じるしくみとその進化的積極的意義を理解していること。4. ヒトの多様性が人類の幸せを築き上げるうえで重要であることを理解できていること。5.								
キーワード	身近な植物、葉のかたち、果実の構造、多様性の意義								
テキスト・ 参考書等	岩瀬徹一・大野啓一「写真で見る植物用語」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 身近に生える植物の葉のかたちや野菜・果物の構造を正確に理解していること。								
LO-2	【技能・表現】 身近に生える植物の葉、茎、花、それに野菜・果物を保育に活かす工夫ができること。								
LO-3	【思考・判断】 はじめて見る植物の葉、果実、野菜の構造の基本形を、学んだ知識に基づいて判断できること(植物園実習)。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 身の回りの植物や野菜・果実の構造と生物の多様性について興味感心を持ち、意欲的に学習に取り組むこと。								
LO-5	【社会性・人間性】 生物の多様性が生じる仕組みを理解しており、ヒトに多様性(ダウン症を含む)が生じる意味、そしてヒトの多様性の人類社会における意義を理解していること。								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60		30	10				100	
LO-1	30		20					50	
LO-2	10		10					20	
LO-3				10				10	
LO-4	10							10	
LO-5	10							10	
備考	植物の葉の観察を行い、基本構造を踏まえたスケッチを提出する。基本構造の認識に誤りがある場合は、次の時間に板書で解説する。加えて関わりの深い動物や、幼児が興味を持つ動物について理解を深めるためにプリントを用いた学習も行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション(授業のねらい、方法、評価等についての説明) 植物の学名、和名、種名、品種名を学習する。一枚の葉の構造を理解する。	
	【予習】シラバスを読み、授業内容を把握する。	30分
	【復習】授業の内容全体を確認する。	60分
第2回	植物の根と茎と葉の見分け方、花の構造と葉の構造を理解する(天気が良ければ学内の植物の花や葉を観察しながら理解を深める)。	
	【予習】テキストを用いて、植物のおよその構造を理解する。	30分
	【復習】植物のおよその構造を理解する。身近に生えている単葉の植物の葉の構造について理解を深める。	60分
第3回	葉の見分け方と野外での危険な動物 I。 1) 単葉から複葉への進化1: 鳥羽単葉、掌状単葉、三行脈の単葉。2) 野外活動で危険から身を守る方法、危険な動物(ハチ、ヘビ、クマ)へ遭遇した際の対処方法。	
	【予習】プリントとテキスト(44-57ページ)により、葉の多様性を学習する。	30分
	【復習】葉の多様化の基本的な仕組みを理解する。	60分
第4回	葉の見分け方と野外での危険な動物 II。 2) 単葉から複葉への進化2: 掌状単葉、掌状複葉。2) 危険な動物(ハチ、ヘビ、クマ)への具体的な対処方法。	
	【予習】プリントとテキスト(57-61ページ)を読み、葉の多様性を学習する。	30分
	【復習】掌状単葉から掌状複葉への変化の規則性を理解する。	60分
第5回	葉の見分け方 1) 単葉から複葉への進化。2) 鳥足状葉のつき方(天気が良ければ学内の植物の葉を観察しながら、学習を深める)。	
	【予習】プリントを学習して、複雑な葉の多様性を理解する。	30分
	【復習】単葉から複葉への変化を理解するとともに鳥足状葉が形成される仕組みを習得する。	60分
第6回	茎・果実・葉の付き方を理解する(偽茎、互生・対生・輪生、葉縁のかたち、単葉から複葉への変化)。	
	【予習】プリントとテキストから、葉の多様性を理解する。	30分
	【復習】葉の付き方と規則性を習得する。	60分
第7回	植物園で葉や実を使った工作、および葉の多様性について学習する(2コマの授業を土曜日に実施(第7回と第8回)する)。	
	【予習】葉の多様性についてプリントと教科書で学習する。	90分
	【復習】植物園を園児が利用する際の工夫について考える。	90分
第8回	(植物園で7、8回を連続して実施)	
	【予習】葉の多様性についてプリントと教科書で学習する(天気が良ければ学内の植物の葉(落ち葉を含む)を観察しながら、かたちの多様性、黄葉(紅葉)のしくみ、落葉と常緑の葉の構造の違いについて理解を深める)。	60分
	【復習】植物園および身近に生える植物を園児が理解できるようにする工夫について考える。	60分
第9回	植物の茎の多様性	
	【予習】テキストを読み、茎の構造を理解する。	30分
	【復習】茎の多様性を把握する。	30分
第10回	果実の構造 果実の構造を実際に観察する。	
	【予習】プリントとテキストを読み、果実の多様性を理解する。	45分
	【復習】果実はどのような構造からなっているかを習得する。	45分

第11回	野菜の構造 野菜の構造を観察する。	
	【予習】プリントとテキストを読み、野菜の多様性を理解する。	30分
	【復習】野菜として食べている部分は植物のどの部位かを把握する。	60分
第12回	性決定の多様性 1.性染色体をもつ生物の性決定方法	
	【予習】プリントで学習する。	60分
	【復習】性染色体を持つ生物の性決定のしくみを復習する。	60分
第13回	性決定の多様性 2.自然環境や社会環境により性が決まる生物の性決定方法	
	【予習】プリントで学習する。	60分
	【復習】自然環境、社会環境によって性が決定したり、性が変わる生物の性決定のしくみを復習する。	60分
第14回	減数分裂の異常がもたらす生物の多様性	
	【予習】減数分裂のしくみを配布プリントで学習する。	60分
	【復習】減数分裂について、その仕組みを復習する。	60分
第15回	植物の多様性とヒトの多様性	
	【予習】これまで学習した植物の葉・果実・花の多様性全般について学習する。	60分
	【復習】ヒトを含めた動物、植物に多様性が存在する意義を考える。	60分

授業科目名	体育講義			科目コード	C515-11				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 健康・スポーツ		担当教員名	大森 宏一					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	生涯スポーツ								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	体育講義では、健康な生活を送るための身体と心の発達やトレーニングの方法について学びます。また初年次前期の講義であるためグループワークを通して協調性などを学びます								
学習目標	現代社会におけるスポーツ・健康に関する問題を捉えることができる。 運動処方の方法を理解する。 共に豊かに健康的に生きることについて理解し実践できるようにする。								
キーワード	健康、体力、運動、運動処方								
テキスト・ 参考書等	参考：倉・大森編 「子どもが育つ運動遊び」 みらい 2016年								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】生涯にわたって健康を維持するための身体活動・運動の必要性を理解している。健康診断、体力・運動能力、形態を客観的に評価する方法、目的にあわせた運動処方の理論と方法について理解している。								
LO-2	【技能】個人の健康・体力づくりに必要な情報を適切に評価し、自らの運動処方を行うことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】現代的なスポーツ・健康に関する問題を捉え、その実践的な問題解決の方法を主に身体活動・運動の視点から考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】自分の身体についての関心を高めさらに向上させようとすることができる。								
LO-5	【人間性・社会性】グループでのディスカッションなど仲間と共に活動することができる								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		70				30			100
LO-1		20							20
LO-2		30							30
LO-3		20							20
LO-4						15			15
LO-5						15			15
備考	小テストを行う。ミニツペーパーより質問等に答える。 その他：A LO-4・LO-5 ミニツペーパーによる関心度から考慮する。授業態度(グループへの関与)の参加度とする。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、「健康」「体力」の概念、現代社会における健康と体力に関する諸問題について	
	【予習】シラバスを読み、授業内容を把握する。現代における健康や体力に関する問題について調べる。	60分
	【復習】「健康」、「体力」の概念について理解する。現代における健康に関する問題を整理する。	90分
第2回	勝利至上主義と現代のスポーツの問題について。	
	【予習】スポーツにおける勝利至上主義とはどのようなものか考える。	90分
	【復習】勝利至上主義のスポーツについて自分の考えを整理しておく。	90分
第3回	粗協調の発生と定着・精協調の発生と定着・運動の自動化について	
	【予習】参考テキスト理論編を読んでおくこと。	0分
	【復習】粗協調の発生と定着・精協調の発生と定着・運動の自動化について整理しておく	0分
第4回	運動の3局面について	
	【予習】参考テキスト理論編を読んでおくこと。	0分
	【復習】運動の3局面について整理しておくこと	0分
第5回	体力について	
	【予習】体力の構成要素について自分なりに調べておくこと。	60分
	【復習】様々な体力要素について整理し、自分の体力について自己分析しておくこと。	90分
第6回	飲酒・薬物・喫煙と健康について	
	【予習】大学生の急性アルコール中毒について調べておく。	60分
	【復習】身体に悪影響を及ぼす薬物等について理解する	90分
第7回	子どものこころとからだの発達	
	【予習】子どもの発達をこころとからだから考えておく	60分
	【復習】子どもの成長を見守ることの重要性を理解する	90分
第8回	理解度についてのテストとする	
	【予習】これまでの講義を整理すること。	0分
	【復習】理解不足のところを整理すること。	0分

授業科目名	生涯スポーツ			科目コード	C515-12				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 健康・スポーツ		担当教員名	大森 宏一 立島 真					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	実技					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	生涯スポーツ(ゴルフコース) 生涯スポーツ(スノースポーツコース) 体育講義								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	基本ストローク（サービス、クリアー、ヘアピン、ドライブ、ドロップショット、スマッシュ）の技術の向上を図るとともに、バドミントンのゲームを楽しめ、審判もできるといったレベルを目指します。これまでの運動経験から受講生の技術に差があると予想されますが、レベル別のグルーピングや課題を設ける予定です。スポーツが苦手な人でも実践の中で大切な役割があるものです。お互いのレベルを認め合い、「皆で楽しむ」ことをテーマに工夫する能力も養いたいと思います。								
学習目標	生涯スポーツに結びつくようなスポーツの実践を通して、そのスポーツの技術特性、練習方法、身体への影響を理解するとともに、健康の維持・増進や体力・運動技術の向上を図り、将来において充実した運動生活を送る上での有用な知識と技術を高めます。								
キーワード	生涯スポーツ、バドミントン								
テキスト・ 参考書等	特に使用しない。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	バドミントンのルールや審判法を理解し、一人でゲームを進行できる。バドミントンの歴史やルールについてレポートできる。								
LO-2	バドミントンの基本ストローク（サービス、クリアー、ヘアピン、ドライブ、ドロップショット、スマッシュ）が一通りできる。								
LO-3	自らの基本ストロークの技能レベルを分析し、ゲームやラリー、ペアとのコンビネーションなど状況に応じた対応ができる。								
LO-4	健康の維持・増進や体力の向上に関心が高く、バドミントンに必要な技術の獲得に意欲的に取り組むことができる。安全やマナーに留意して練習・ゲーム等を行う態度がみられる。備品や用具の整理・整頓に協力的である。								
LO-5	グループ活動において人の気持ちを思いやり共感しながら活動できる。仲間と協調し安全で楽しい活動に取組める。バドミントンに必要な技術を教え、教わるなど仲間と切磋琢磨できる関係を持つことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			10			90			100
LO-1			10			10			20
LO-2						30			30
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						10			10
備考	LO1（期末レポートとルール審判法の理解）、LO2・LO3（基礎技能及びその応用パフォーマンス）、LO4・LO5（グループ活動における意欲や態度、仲間との協力） 期末レポートの評価等フィードバックについては個別に担当教員に問い合わせること。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス、シラバスの説明、健康状況調査、班編成、ストレッチ、トレーニング、ラケット・シャトルの扱い	
	【予習】シラバスを読み授業の流れと評価方法を調べる。	30分
	【復習】授業の到達目標と評価方法を理解する。	30分
第2回	基本ストローク（サービス、クリアー、ヘアピン、ドライブ、ドロップショット、スマッシュ）	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間のトレーニングを計画する。	30分
	【復習】	0分
第3回	基本ストローク半コートシングルスゲーム	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】	0分
第4回	ダブルスゲームと審判方法	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】	0分
第5回	チーム対抗団体戦（ダブルス）	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】	0分
第6回	チーム対抗団体戦（ダブルス）	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】	0分
第7回	チーム対抗団体戦（ダブルス）	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】	0分
第8回	チーム対抗団体戦（ダブルス）	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】	0分
第9回	チーム対抗団体戦（ダブルス）	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】	0分
第10回	シングルのゲームとレベル別班編成	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】	0分

第11回	レベル別班編成とダブルスゲーム	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】	0分
第12回	レベル別班編成とダブルスゲーム	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】	0分
第13回	レベル別班編成とダブルスゲーム	
	【予習】ストレッチ、トレーニングの中から自分に適した種目を選択し、週3日間、トータル最低限45分間を実行する。	45分
	【復習】	0分
第14回	レベル別班編成とダブルスゲーム	
	【予習】バドミントンの歴史やルールに関するレポートを作成する。	60分
	【復習】バドミントンの歴史やルールに関するレポートを作成する。	60分
第15回	レベル別班編成とダブルスゲーム	
	【予習】バドミントンの歴史やルールに関するレポートを作成する。	60分
	【復習】バドミントンの歴史やルールに関するレポートを最終授業時に提出する。	0分

授業科目名	生涯スポーツ（ゴルフ）			科目コード	C515-12				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 健康・スポーツ		担当教員名	立島 真					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	実技					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	生涯スポーツ(バドミントン) 生涯スポーツ(スノースポーツコース) 体育講義								
資格等 取得との関連									
授業の概要	ゴルフに関心のある学生を対象とし、基礎レッスン、ルール、マナーの講義や実習を通して、生涯スポーツとしてゴルフを楽しめるための基礎的能力を養います。授業は主に学外のゴルフ練習場で行い、移動の際は原則大学のバスを利用します。まとめとしてゴルフコースでのラウンド実習を行う予定です。授業経費10,000円程度は自己負担となります。								
学習目標	生涯スポーツに結びつくようなスポーツの実践を通して、そのスポーツの技術特性、練習方法、身体への影響を理解するとともに、健康の維持・増進や体力・運動技術の向上を図り、将来において充実した運動生活を送る上での有用な知識と技術を高めます。								
キーワード	生涯スポーツ、集中授業、ゴルフ								
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	コースのラウンドを進行するためのルールやマナーを理解している。								
LO-2	ショートアイアンでの基本的ショットができる。								
LO-3	自らのスイングを分析し、用意されたクラブを一通り使うことができる。								
LO-4	ゴルフに必要な技術の獲得に意欲的に取り組むことができる。安全やマナーに留意してレッスンを行う態度がみられる。備品や用具の整理・整頓に協力的である。								
LO-5	レッスンやコースラウンドにおいて人の気持ちを思いやり共感しながら活動できる。仲間と協調し、安全で楽しい活動に取り組める。ゴルフに必要な技術を教え、教わるなど仲間と切磋琢磨できる関係を持つことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス、シラバスの説明、健康状況調査（学内教室）	
	【予習】シラバスを読み授業の流れと評価方法を調べる。	30分
	【復習】授業の到達目標と評価方法を理解する。	30分
第2回	スイング理論とショートアイアのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】レッスン内容について確認する。	30分
第3回	スイング理論とショートアイアのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第4回	スイング理論とショートアイアのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第5回	スイング理論とミドルアイアのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第6回	スイング理論とミドルアイアのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第7回	スイング理論とウッドクラブのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第8回	スイング理論とウッドクラブのレッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第9回	スイング理論と総合レッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×2日間） レッスン内容について確認する。	50分
第10回	スイング理論と総合レッスン（古沢ゴルフ練習場）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】正しいセットアップ、スイング動作を意識してシャドーイングを行う。（1日10分×実習までの10日間） レッスン内容について確認する。	130分

第11回	ゴルフのマナーとルール、安全上の注意とラウンド予定（学内教室）	
	【予習】ゴルフのルール、マナーについて確認する	40分
	【復習】	0分
第12回	コースでの実践ラウンドに挑戦（小杉カントリー）	
	【予習】使用する用具、集合時間、場所を確認する。	5分
	【復習】	0分
第13回	コースでの実践ラウンドに挑戦（小杉カントリー）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	コースでの実践ラウンドに挑戦（小杉カントリー）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	コースでの実践ラウンドに挑戦（小杉カントリー）	
	【予習】	0分
	【復習】スコアカードの提出とともに、初ラウンドを振り返る。用具を確認し、返却する。	60分

授業科目名	生涯スポーツ(スノースポーツ)			科目コード	C515-12				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 健康・スポーツ		担当教員名	立島 真					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	実技					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	生涯スポーツ(バドミントン) 生涯スポーツ(ゴルフコース) 体育講義								
資格等 取得との関連									
授業の概要	スノースポーツに関心のある学生を対象として、スキー・スノーボードの基礎レッスンや講義を通して、生涯スポーツとしてスノースポーツを楽しめるための基礎的能力を養います。授業は二泊三日の集中授業で長野県・梅池高原スキー場で行います。授業に関わる経費22,000円程度(宿泊費・食費・交通費)とレンタル料、リフト代は自己負担となります。								
学習目標	生涯スポーツに結びつくようなスポーツの実践を通して、そのスポーツの技術特性、練習方法、身体への影響を理解するとともに、健康の維持・増進や体力・運動技術の向上を図り、将来において充実した運動生活を送る上での有用な知識と技術を高めます。								
キーワード	生涯スポーツ スキー スノーボード 集中授業								
テキスト・ 参考書等	特に使用しない								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	用具の安全管理やゲレンデにおけるマナーを理解している。								
LO-2	滑降に関する基本的な技能ができる。								
LO-3	自らの実習中に獲得した技能を分析し、滑降や斜面に応用して安全で楽しい滑降ができる。								
LO-4	スノースポーツに必要な技術の獲得、安全性やマナーなどに意欲的に取り組むことができる。								
LO-5	グループ活動において、人の気持ちを思いやり仲間と協調して活動に取り組める。スノースポーツに必要な技術を教え、教わるなど仲間と切磋琢磨できる関係を持つことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス、実習の説明、健康状況調査、事前トレーニングについて	
	【予習】シラバスを読み授業の流れと評価方法を調べる。	30分
	【復習】授業の到達目標と評価方法を理解する。	30分
第2回	滑走能力と班編成(講義)	
	【予習】2泊3日の実習に備えて事前トレーニングを行う。(スキー場での事前滑降を推奨する)	240分
	【復習】	0分
第3回	スキー場の危険性とマナー、装備や用具の重要性について(講義)	
	【予習】	0分
	【復習】レンタル用具及び自分の用具・装備を確認する。	60分
第4回	開校式、 班別での基本滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】	0分
第5回	班別での基本滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】班別ミーティングにおいて、レッスン内容や翌日の予定、怪我・体調管理を確認する。	30分
第6回	「楽しく安全なスノースポーツ」(講義)	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】講義内容を再確認する。	20分
第7回	班別での基本滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第8回	班別での基本滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第9回	班別での応用滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第10回	班別での応用滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】班別ミーティングにおいて、レッスン内容や翌日の予定、怪我・体調管理を確認する。	30分

第11回	「楽しく安全なスノースポーツ」(講義)	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】講義内容を再確認する。	20分
第12回	班別での応用滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第13回	班別での総合滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第14回	班別での総合滑降	
	【予習】ワックス掛けなど、用具の点検管理を行う。	30分
	【復習】レッスン内容と実習の予定を確認する。	10分
第15回	班別での総合滑降、閉講式	
	【予習】	0分
	【復習】レンタル用具やヘルメット、ゼッケンなどを確認し、返却する。	60分

授業科目名	英語			科目コード	C531-10				
科目区分	教養科目 - 外国語科目 - 英語		担当教員名	望月 健一					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	英語					
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	保育や幼児教育、児童福祉を学ぶ学生のために作成されたテキストに沿って授業を進める。世界の子どもたちが集まる架空の保育園で、保育実習生が遭遇する、さまざまな場面で使用される英語の表現を、リスニング、会話練習、英文解釈、英作文、マザー・グースの歌を使った聞き取り・発音練習など、多彩な活動を通して学ぶ。								
学習目標	総合的な英語力の向上を目指す。主に保育、幼児教育、児童福祉の分野で使われる表現を学ぶ。								
キーワード	保育の場面で使われる英語の語彙、会話表現、文章、作文、コミュニケーション								
テキスト・ 参考書等	Children's Garden 『保育英語』赤松直子（成美堂）¥2,400（税別）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育、幼児教育、児童福祉の分野で使われる英語の語彙を習得している。また、短くて易しい英語の会話表現や文章を理解できる。								
LO-2	【技能】保育、幼児教育、児童福祉のトピックについて簡単な英文を作ることができる。また、易しい英語の問いに答えることができる。								
LO-3									
LO-4	【関心・意欲・態度】保育・幼児教育の分野で使われる英語の語彙や表現に関心を持つことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】伝えたいことを英語で表現し、他者とコミュニケーションを図ることができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40	40				20			100
LO-1	20	20							40
LO-2	20	20							40
LO-3									
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	<p>【成績評価方法】 中間試験（40%程度）、最終試験（40%程度）、授業への参加・予習状況（20%程度）[その他、A]とする。 *試験については、採点后答案を返却し、解説を行う。</p> <p>【履修上の注意点等】</p>								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業オリエンテーション、英語実力診断テスト	
	【予習】 なし。	0分
	【復習】 英語実力診断テスト問題の正解を確認し、理解する。	40分
第2回	Chapter 1 Children's Garden こども園保育園(1) - 1-1 Judging from Pictures (イラストを見て質問に答える), 1-2 Listening Comprehension (保育の場面の会話: リスニング), 1-3 Advice for the Internship (実習のためのアドバイス)	
	【予習】 1-1 Judging from Pictures の英語の問いに英語で答えられるようにしておく。また、1-3 Advice for the Internship の英文和訳、語句整序問題の答えを教科書に書き込む、またはノートに書く。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第3回	Chapter 1 Children's Garden こども園保育園(2) - 1-4 Conversation (保育の場面の会話: 会話練習), 1-5 Reading and Listening (日誌を読む), 1-6 Good Time with Nursery Rhymes (マザーグースの歌・手遊び歌)	
	【予習】 1-4 Conversation の会話文で正しい語を選び、会話の内容の理解に努める。また、1-5 Reading and Listening の英文に出てくる語や語句の意味を確認し、英文の意味や設問の答えを考えておく。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第4回	Chapter 2 The First Day of the Internship 実習初日(1) - 2-1 Judging from Pictures, 2-2 Listening Comprehension, 2-3 Advice for the Internship	
	【予習】 2-1 Judging from Pictures の英語の問いに英語で答えられるようにしておく。また、2-3 Advice for the Internship の英文和訳、語句整序問題の答えを教科書に書き込む、またはノートに書く。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第5回	Chapter 2 The First Day of the Internship 実習初日(2) - 2-4 Conversation, 2-5 Reading and Listening, 2-6 Good Time with Nursery Rhymes	
	【予習】 2-4 Conversation の会話文で正しい語を選び、会話の内容の理解に努める。また、2-5 Reading and Listening の英文に出てくる語や語句の意味を確認し、英文の意味や設問の答えを考えておく。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第6回	Chapter 3 Out We Go! さあ、出かけましょう! (1) - 3-1 Judging from Pictures, 3-2 Listening Comprehension, 3-3 Advice for the Internship	
	【予習】 3-1 Judging from Pictures の英語の問いに英語で答えられるようにしておく。また、3-3 Advice for the Internship の英文和訳、語句整序問題の答えを教科書に書き込む、またはノートに書く。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第7回	Chapter 3 Out We Go! さあ、出かけましょう! (2) - 2-4 Conversation, 2-5 Reading and Listening, 2-6 Good Time with Nursery Rhymes	
	【予習】 3-4 Conversation の会話文で正しい語を選び、会話の内容の理解に努める。また、3-5 Reading and Listening の英文に出てくる語や語句の意味を確認し、英文の意味や設問の答えを考えておく。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。また、中間試験に向けて、教科書 Chapter 1 - 3 の総復習を行う。	120分
第8回	中間試験、Chapter 4 Splish, Splash バンシャバンシャ、水しぶき(1) - 4-1 Judging from Pictures	
	【予習】 4-1 Judging from Pictures の英語の問いに英語で答えられるようにしておく。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第9回	Chapter 4 Splish, Splash バンシャバンシャ、水しぶき(2) - 4-2 Listening Comprehension, 4-3 Advice for the Internship, 4-4 Conversation	
	【予習】 4-3 Advice for the Internship の英文和訳、語句整序問題の答えを教科書に書き込む、またはノートに書く。また、4-4 Conversation の会話文で正しい語を選び、会話の内容の理解に努める。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第10回	Chapter 4 Splish, Splash バンシャバンシャ、水しぶき(3) - 4-5 Reading and Listening, 4-6 Good Time with Nursery Rhymes	
	【予習】 4-5 Reading and Listening の英文に出てくる語や語句の意味を確認し、英文の意味や設問の答えを考えておく。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分

第11回	Chapter 5 Pancake Day ホットケーキの日(1) - 5-1 Judging from Pictures, 5-2 Listening Comprehension, 5-3 Advice for the Internship	
	【予習】 5-1 Judging from Pictures の英語の問いに英語で答えられるようにしておく。また、5-3 Advice for the Internship の英文和訳、語句整序問題の答えを教科書に書き込む、またはノートに書く。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第12回	Chapter 5 Pancake Day ホットケーキの日(2) - 5-4 Conversation, 5-5 Reading and Listening, 5-6 Good Time with Nursery Rhymes	
	【予習】 5-4 Conversation の会話文で正しい語を選び、会話の内容の理解に努める。また、5-5 Reading and Listening の英文に出てくる語や語句の意味を確認し、英文の意味や設問の答えを考えておく。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第13回	Chapter 6 Read Me, Tell Me Stories 本を読んで、お話を聞かせて(1) - 6-1 Judging from Pictures, 6-2 Listening Comprehension, 6-3 Advice for the Internship	
	【予習】 6-1 Judging from Pictures の英語の問いに英語で答えられるようにしておく。また、6-3 Advice for the Internship の英文和訳、語句整序問題の答えを教科書に書き込む、またはノートに書く。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第14回	Chapter 6 Read Me, Tell Me Stories 本を読んで、お話を聞かせて(2) - 6-4 Conversation, 6-5 Reading and Listening, 6-6 Good Time with Nursery Rhymes	
	【予習】 6-4 Conversation の会話文で正しい語を選び、会話の内容の理解に努める。また、6-5 Reading and Listening の英文に出てくる語や語句の意味を確認し、英文の意味や設問の答えを考えておく。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第15回	学習のまとめ	
	【予習】 なし	0分
	【復習】 最終試験に向けて、教科書 Chapter 4 Splish, Splash, Chapter 5 Pancake Day, Chapter 6 Read Me, Tell Me Stories の復習を行う。	120分

授業科目名	英語			科目コード	C531-11				
科目区分	教養科目 - 外国語科目 - 英語		担当教員名	望月 健一 シェリー・スキャンラン					
実務経験									
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	英語		後継科目	なし。					
関連科目	キャンパス&ホームステイプログラム								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	望月：保育や幼児教育の場面で使用される表現の習得に重点を置く。1年次後期に使用したテキスト Children's Garden の後半の章を取り上げる。 Scanlan：Each week students will learn new vocabulary and grammatical patterns in stories. Students will practice their reading skills by reading books aloud to each other. Finally, with the final project, students will be expected to put their								
学習目標	望月：総合的な英語力の向上を目指す。主に保育の分野で使われる表現を学ぶ。 Scanlan：This class helps students improve their English by analysing fairy tales. Additionally, students work to think critically as they analyse characters in stories. Finally, students write their own story with illustrations to present to the class. (この授業では、学生がおとぎ話を分析することによって英語力を伸ばすことを支援する。また、学生はおとぎ話に出て								
キーワード	保育、幼児教育の分野、おとぎ話、絵本で使われる英語の語彙、表現								
テキスト・ 参考書等	Children's Garden 『保育英語』赤松直子(成美堂) ¥2,400(税別)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育・幼児教育の分野で使われる英語の語彙や表現を習得している。また、短くて易しい英語の会話や文章を理解できる。								
LO-2	【技能】短い文章やおとぎ話を書くことができる。また、簡単な英語の問いに答えることができる。								
LO-3									
LO-4	【関心・意欲・態度】保育・幼児教育の分野で使われる英語の語彙や表現に関心を持つことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】適切にコミュニケーションをはかる意欲と能力があり、授業での活動において他の学生と協力することができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	30			40		30			100
LO-1	30					10			40
LO-2				20					20
LO-3									
LO-4						10			10
LO-5				20		10			30
備考	【成績評価方法】 望月：最終試験(60%程度)、授業への参加・予習状況[その他、A](40%程度)とする。 Scanlan：Grades will be based on 20% class participation (including attendance) [A] and 80% on the final book.								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Chapter 7 Activities with Watermelons すいかで遊ぼう(1) - 7-1 Judging from pictures, 7-2 Listening Comprehension	
	【予習】 7-1 Judging from Pictures の英語の問いに英語で答えられるようにしておく。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第2回	Chapter 7 Activities with Watermelons すいかで遊ぼう(2) - 7-3 Advice for the Internship, 7-4 Conversation	
	【予習】 7-3 Advice for the Internship の英文和訳、語句整序問題の答えを教科書に書き込む、またはノートに書く。また、7-4 Conversation の会話文で正しい語を選び、会話の内容の理解に努める。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第3回	Chapter 7 Activities with Watermelons すいかで遊ぼう(3) - 7-5 Reading and Listening, 7-6 Fun Times with Nursery Rhymes	
	【予習】 7-5 Reading and Listening の英文に出てくる語や語句の意味を確認し、英文の意味や設問の答えを考えておく。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第4回	Chapter 8 Happy Birthday お誕生日おめでとう(1) - 8-1 Judging from pictures, 8-2 Listening Comprehension, 8-3 Advice for the Internship	
	【予習】 8-1 Judging from Pictures の英語の問いに英語で答えられるようにしておく。また、8-3 Advice for the Internship の英文和訳、語句整序問題の答えを教科書に書き込む、またはノートに書く。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第5回	Chapter 8 Happy Birthday お誕生日おめでとう(2) - 8-4 Conversation, 8-5 Reading and Listening, 8-6 Fun Times with Nursery Rhymes	
	【予習】 8-4 Conversation の会話文で正しい語を選び、会話の内容の理解に努める。また、8-5 Reading and Listening の英文に出てくる語や語句の意味を確認し、英文の意味や設問の答えを考えておく。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第6回	Chapter 9 Children at Play 子どもと遊び(1) - 9-1 Judging from pictures, 9-2 Listening Comprehension, 9-3 Advice for the Internship	
	【予習】 9-1 Judging from Pictures の英語の問いに英語で答えられるようにしておく。また、9-3 Advice for the Internship の英文和訳、語句整序問題の答えを教科書に書き込む、またはノートに書く。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第7回	Chapter 9 Children at Play 子どもと遊び(2) - 9-4 Conversation, 9-5 Reading and Listening, 9-6 Fun Times with Nursery Rhymes	
	【予習】 9-4 Conversation の会話文で正しい語を選び、会話の内容の理解に努める。また、9-5 Reading and Listening の英文に出てくる語や語句の意味を確認し、英文の意味や設問の答えを考えておく。	40分
	【復習】 予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	20分
第8回	Introduction to class/practice reading (イントロダクション / 読む練習)	
	【予習】 None (なし)	0分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson (授業で学んだ語彙や表現の復習)	20分
第9回	New vocabulary/character analysis (1) (新しい語彙 / 登場人物・動物の性格分析(1))	
	【予習】 Work on the homework assigned in the last lesson (前回の授業で出された宿題に取り組む)	40分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson (授業で学んだ語彙や表現の復習)	20分
第10回	New vocabulary/character analysis (2) (新しい語彙 / 登場人物・動物の性格分析(2))	
	【予習】 Work on the homework assigned in the last lesson	40分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson	20分

第11回	New vocabulary/character analysis (3) (新しい語彙 / 登場人物・動物の性格分析(3))	
	【予習】 Work on the homework assigned in the last lesson	40分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson	20分
第12回	original story writing (1) (オリジナルのストーリーを書く(1))	
	【予習】 Work on original story books with illustrations (挿絵の入ったオリジナルの絵本を製作する)	60分
	【復習】 Work on original story books with illustrations	60分
第13回	original story writing (2) (オリジナルのストーリーを書く(2))	
	【予習】 Work on original story books with illustrations	60分
	【復習】 Work on original story books with illustrations	60分
第14回	Final presentation to the class (教室で最終プレゼンテーションを行う)	
	【予習】 prepare for the final presentation (最終プレゼンテーションの準備を行う)	60分
	【復習】 feedback of the presentation (プレゼンテーションのフィードバックを行う)	30分
第15回	学習のまとめ	
	【予習】 なし	0分
	【復習】 最終試験に向けて、教科書 Chapter 5-5, 6 Pancake Day, Chapter 6 Read Me, Tell Me Stories, Chapter 7 Activities with Watermelons の総復習を行う。	120分

授業科目名	基礎演習			科目コード	C551-10				
科目区分	教養科目 - 基礎演習		担当教員名	高木 三郎					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	自然と人間 コミュニケーションと情報 現代社会と人間								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	学びのための学び。幼児教育学を学ぶために必要な話す・聞く・読む・書く・調べる・考えるの6つの基礎力を中心に、感性の磨き方から、プレゼンテーションの方法まで、学びの基礎的な知識、技能に習熟する。								
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に学ぶ姿勢を持ち続ける。 学びに必要な表現・コミュニケーション・思考に関わる技能を身につける。 保育をめぐる事象に関心を持ち、課題を設定することができる。 課題解決のための基本的な方法技術を身につける。 								
キーワード	学び スタディースキル 表現・コミュニケーション クリティカルシンキング								
テキスト・ 参考書等	・特になし。各回の講義ごとにプリントを配布する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	<ul style="list-style-type: none"> 保育について学ぶことへの構えを持っている。 教授内容を理解し、まとめる言語能力を持っている。 								
LO-2	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや感情を的確に文章や音声に表現できる技術を身につけている。 他者との望ましい人間関係を築くための技法を身につけている。 								
LO-3	<ul style="list-style-type: none"> 保育に関わる課題を論理的にとらえ、的確に表現することができる。 情報を批判的にとらえ、主体的に判断することができる。 								
LO-4	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価、相互評価をとおして、自らの成長に生かすことができる。 新聞、書物などの読書、資料収集をとおして、保育者としての生き方を深めることができる。 								
LO-5	<ul style="list-style-type: none"> 班別の協議、発表、作業に積極的にに関わり、自らを表現することにより、他者との協働を図ることができる。 他者との共感性をもって関わることができる。 								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			35	35	20	10			100
LO-1			15	15					30
LO-2			10	10	10				30
LO-3			10	10	10				30
LO-4						5			5
LO-5						5			5
備考	<ul style="list-style-type: none"> その他Aは班別作業への参加。 成果発表については、コメントを返す。 提出されたレポートや作品については、優秀なものを学生に提示し、学びを深める機会とする。 								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	・授業の概要説明 ・保育者に必要な感性について説明する。	
	【予習】シラバスに目を通しておく	10分
	【復習】・保育者に必要な感性についてまとめておく。	20分
第2回	・感性を磨く技術を鍛える。 感性を磨く方法として、リフレーミングと傾聴の技法を説明し、練習する。	
	【予習】・自分の聞き方の個性を整理しておく	10分
	【復習】リフレーミングと傾聴の技法について、整理しておく。	20分
第3回	・説明の基本 ・コミュニケーションスタイルにリポートトークとラポールトークがあることを説明し、その使い分けができるようにする。 わかりやすい説明の順序を説明し、練習する。	
	【予習】自分のコミュニケーションスタイルの個性を整理しておく	20分
	【復習】・リポートトークとラポールトークの違いを整理しておく。 ・わかりやすい説明の順序を整理しておく。	20分
第4回	・説明の基本 報連相の基本を理解し、自己紹介文の作成を通じて、報告の方法を練習する。	
	【予習】自己紹介文の案を考えておく	20分
	【復習】報連相の基本をまとめてお。後日発表する自己紹介文を完成しておく	30分
第5回	野鳥観察を通して、感性を磨き、分かりやすい報告にまとめる。	
	【予習】観察場所について、下調べをしておく。	20分
	【復習】報告書をまとめる	20分
第6回	・ゼミ授業(1回目) 先生や学生に向かって、伝えたい内容を、わかりやすく、正確に、要領よく話す練習をする。 内容は、自己紹介、野鳥観察報告	
	【予習】発表する内容を整理し、事前練習をしておく	20分
	【復習】講義中での評価を整理し、自己の課題を整理しておく	20分
第7回	パソコン操作の基本を学ぶ。	
	【予習】自己のパソコン技術を確認しておく	20分
	【復習】パソコン技術の基本を復習しておく。	30分
第8回	まとめる技術 絵本紹介用レジュメの作成を通して、伝えたい内容をわかりやすく要領よくまとめる練習をする。 レジュメはワードで作成する。	
	【予習】紹介したい絵本を考えておく。	20分
	【復習】レジュメを完成しておく	20分
第9回	・話す技術 絵本紹介ゲームの実践をとおして、相手の興味関心を高めるような話し方を練習する。 非言語コミュニケーションの重要性について理解し、練習する。	
	【予習】自分の話し方の特徴を確認しておく。	30分
	【復習】相手の興味関心を高める話し方を整理しておく。	20分
第10回	・ゼミ授業(2回目) 先生や学生に向かって絵本の内容を紹介することで、話し方の技術向上をめざす。	
	【予習】発表内容を整理し、事前練習をしておく	30分
	【復習】講義中での評価を整理し、自己の課題を整理しておく	20分

第11回	・読む技術、書く技術 「はじめに」「おわりに」、目次を利用して、本の概要を知る方法を説明し、本の概要レジュメの作成を通して、要領よくまとめる練習をする。	
	【予習】自分の本の読み方の個性を振り返る	10分
	【復習】レジュメ作成を完成させる	30分
第12回	・調べる技術 メディアの利用方法とメディア・リテラシーについて説明する、論文の探し方、アブストラクトによる概要把握の方法について説明し、実際に探してみる。	
	【予習】自分のメディアとの関わりを整理しておく	10分
	【復習】課題をまとめ、整理しておく	30分
第13回	・書く技術 レポートを書くための基本的なルールを説明する。各自、テーマを決めて報告型レポートを書く準備をする。	
	【予習】大学におけるレポートの位置づけについて、考えておく	10分
	【復習】レポートの作成を進める	30分
第14回	・書く技術 レポート作成を進める。	
	【予習】レポートの進捗状況を確認し、今後の日程を考える	30分
	【復習】レポートを完成させる	30分
第15回	・ゼミ授業（3回目） 先生や学生に向かってレポート内容を説明し、お互いに評価し合う。	
	【予習】レポートの発表の仕方を考え、事前練習しておく	60分
	【復習】講義中での評価を整理し、自己の課題を整理しておく 講義内容を整理しておく	35分

授業科目名	国語表現			科目コード	C551-20				
科目区分	教養科目 - 基礎演習		担当教員名	奥野 美友紀					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	国語表現					
関連科目	保育内容(言葉、言葉) 音楽表現 造形表現 身体表現								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な言語活動の場面を想定し、それに即した実践的かつ総合的な表現能力を身につけるよう演習する。 班やグループ活動による相互評価・意見交換・共同作業を通して、コミュニケーションスキルの伸長を図る。 実践的な側面にとどまらず、創作等も行行うことで、保育現場での言語生活や子どもの言語発達をより深く理解するため 								
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの言語表現に寄り添い、その発達をうながすことができるよう、保育者自身の言語感覚を養う。 他者と協働していくための適切なコミュニケーションスキルを身につける。 客観的な視点をもって考え、自ら分析・判断することができる。 								
キーワード	言葉、言語・非言語、コミュニケーションスキル、論理的、思考力、自己評価・相互評価、リテラシー								
テキスト・ 参考書等	『日本語表記ルールブック 第2版』(日本エディタースクール、2015) この他、必要に応じて随時プリントを配布する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	<ul style="list-style-type: none"> ことば遊びや絵本の読み聞かせなどについての知識を持っている。 新聞や書物などに述べられている幼児教育・保育に関する課題に関心を持ち、把握することができる。 								
LO-2	<ul style="list-style-type: none"> 問題を分析的にとらえ、論理的にわかりやすく表現することができる。 社会人としてふさわしい言語表現のありかたについて習熟している。 								
LO-3	<ul style="list-style-type: none"> 言語表現について、論理的・客観的に読み取り(聞き取り)、書く(話す)ことができる 場面や相手を意識した、適切な社会活動を行うことができる。 								
LO-4	<ul style="list-style-type: none"> 言語表現を通して、自己評価・相互評価をそれぞれ習慣づけるとともに、自らのありようや生きかたについて考えることができる。 								
LO-5	<ul style="list-style-type: none"> グループによる協議・発表・作業に積極的にかかわり、自らを表現すると同時に他者との協働を図ることができる。 社会生活における他者への共感性を身につけている。 								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			20	60		20			100
LO-1				20					20
LO-2			10	20					30
LO-3			10	20					30
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	Aは、グループワークへの参加・発表態度。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	イントロダクション この授業の概要と目的について。アンケート記入。 自己紹介。	
	【予習】シラバスを読み、授業内容を理解する。 自分の言語生活を振り返る。	30分
	【復習】授業の全体像の確認。 国語表現を学ぶ目的についてまとめる。 教科書に目を通しておく。	60分
第2回	話すスキルと聴くスキル さまざまな場面を想定した役割演技を通し、互いにつながるための技法を身につける。 適切なことば(内容・表現)を選んで、他者に伝える練習をする。	
	【予習】配付資料を読み、内容を整理する。	60分
第3回	【復習】課題プリントを仕上げる。	60分
	「紹介」してみよう わたしの1冊 「わたしの1冊(絵本)」を選び、紹介する。 絵本の選び方とその意義について学び、ふさわしい読み方についても理解を深める。	
第3回	【予習】印象に残っている絵本について、ふりかえっておく。 または、選んでおく。 紹介したいポイントについて整理しておく。	120分
	【復習】絵本についての考えをまとめる。 紹介文を完成させる。	120分
第4回	日本語の表記の基礎 文章作成の基礎となるルール(仮名遣い、表記法、句読点の打ち方等)について、ふりかえるとともに理解を深める。	
	【予習】課題プリントを仕上げておく。	60分
	【復習】日本語表記のルールについて再確認し、プリントで間違えた箇所については、なぜ間違えたのかを理解したうえで習熟する。	60分
第5回	敬語の基礎 敬語の分類とそれぞれの性格・はたらきについて学ぶ。	
	【予習】「日常生活の中で敬語をつかうことはあるか」「どのようなときに、どのような相手に対して敬語をつかうか」「なぜ敬語をつかうのか」など、敬語と自分の関わりについてまとめておく。	30分
	【復習】授業の内容をふりかえり、間違いやすい点について、なぜそうなるのかを理解したうえで確認しておく。 課題プリントを仕上げる。	60分
第6回	敬語の基礎 さまざまな場面における敬語とその用法について学ぶ。	
	【予習】課題プリントを仕上げておく。	60分
	【復習】授業の内容をふりかえり、間違いやすい点を確認しておく(小テストに向けての復習)。	60分
第7回	小テスト(敬語) メールの書き方 社会人としてふさわしいメール作成のルールを習得する。	
	【予習】課題プリントを仕上げておく。	60分
	【復習】授業の内容を確認しておく。	30分
第8回	メールの書き方 さまざまなコミュニケーションのあり方を知り、時と場合によって使い分けるとの重要性について学ぶ。	
	【予習】配布資料を読み、課題プリントを仕上げておく。	60分
	【復習】授業の内容をふりかえり、間違いやすい点について確認しておく。	30分
第9回	わかりやすい話し方・説明のしかた 具体的な場面を例に、口頭で伝達・説明する際に考慮しなければならない点について考え、学ぶ。	
	【予習】話し言葉でうまく説明できた・できなかった経験について例を挙げ、その理由についてまとめておく。 課題プリントを仕上げておく。	60分
	【復習】授業の内容をふりかえっておく。	30分
第10回	論理的に考える 社会生活の基礎となる、論理的な思考のしかたについて学ぶ。	
	【予習】配付資料を読み、課題に取り組んでおく。	60分
	【復習】課題プリントを完成させる。	60分

第11回	論理的に考える 情報を客観的に捉え、物事を多面的な視点から捉えることの重要性を学ぶ。また、意見や主張の根拠を吟味し、検証することに習熟する。	
	【予習】課題プリントを完成させる。	60分
	【復習】授業の内容を確認しておく。	30分
第12回	文章作成の基礎 身近なテーマを例に、いままで学習した内容をふまえて1,000字程度の文章を作成する。 また、相互に添削・点検を行う。	
	【予習】テーマに沿った文章を作成する。	120分
	【復習】作成した文章について、相互批評をもとに再度推敲し、改稿のうえ完成させる。	90分
第13回	改稿した文章の再チェック 自分を知る ワークシートを通して自分を客観的に捉える。自分について知り、理解することで、社会人としてのありようについて考えるきっかけとする。	
	【予習】自分自身についてふりかえり、まとめておく。	60分
	【復習】ワークシートについて、具体的かつ過不足なく完成させる。	60分
第14回	レポートの書き方 レポート作成における基本的ルールを学ぶとともに、論理の展開のしかたや効果的な文章の組み立て方について学ぶ。	
	【予習】配布プリントを熟読し、課題を完成させておく。	60分
	【復習】授業の内容を確認しておく。	30分
第15回	レポートの書き方 まとめ	
	【予習】学期末レポートの作成を視野に入れて、情報収集を行う。	120分
	【復習】全15回で学んだ内容をふまえ、学期末レポート作成のための基礎とする。	60分

授業科目名	コミュニケーションと情報			科目コード	C551-30				
科目区分	教養科目 - 基礎演習		担当教員名	吉牟田 裕					
実務経験									
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要	情報システムの基礎について学ぶとともに、情報伝達や情報活用に関する技能を習得します。具体的には、ワープロや表計算、プレゼンテーションと、情報社会を生きるためのセキュリティの知識とモラルについても身につけることを目指します。								
学習目標	Windows、インターネット、オフィスツールの基本操作方法を習得するとともに、情報を取り扱ううえで必要なセキュリティと情報モラルを身につけます。								
キーワード	パソコン、ワープロ、表計算、プレゼンテーション、インターネット								
テキスト・ 参考書等	「イチからしっかり学ぶ! Office 基礎と情報モラル」noa出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	パソコン操作とセキュリティに関する基礎知識を身につける。								
LO-2	パソコンにより、効率的なドキュメント・スプレッドシートを作成し、プレゼンテーションをすることができる。								
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		20		60	20				100
LO-1		20							20
LO-2				60	20				80
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業の進め方、学習の目標、 xパソコン教室の使い方、xタッチタイピング 5月11日(月)	
	【予習】	0分
	【復習】タッチタイピングの練習	45分
第2回	xパソコンを起動しよう Zoomミーティングに参加する	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】ウィンドウの操作を復習する	25分
第3回	x 基本編 Word チラシを作成しよう Zoomミーティングに参加する	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】ファイルとフォルダの操作に習熟する	25分
第4回	タイピング/ワープロの基礎 【実習室】タイピングの練習 http://drill.noa-ness.jp/?gc=380784 【知識】教科書P.60～79を読み、以下のウェブサイトの「テスト」STEP2 文書作成の Lesson1 確認テスト1 確認テスト2を回答しなさい。	
	【予習】教科書のP.37 タッチタイピングを予習する	45分
	【復習】教科書を見ないで、確認テスト 1/2 で正答率 80% を目指す	0分
第5回	文書の作成の基本	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】文書の作成を完了する	25分
第6回	社外文書の作成	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】ワープロの課題を完成させる	25分
第7回	インターネットの活用	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第8回	表計算の基礎	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第9回	表の作成	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】練習問題の回答を作成する	25分
第10回	グラフ・図形の作成	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】表計算の課題を完成させる	25分

第11回	プレゼンテーションの基礎	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第12回	プレゼンテーションの作成	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】基本的なプレゼンテーションを作成する	25分
第13回	図表およびアニメーションを利用したプレゼンテーション	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】プレゼンテーション課題を完成させる	25分
第14回	情報のセキュリティ 被害者にならないために	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第15回	情報モラル 加害者にならないために	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	20分
	【復習】情報セキュリティ・モラルについて、レポートを作成する	25分